

# 滋賀県立大学 A 3 ・ A 4 棟空調設備改修工事

## 図面リスト

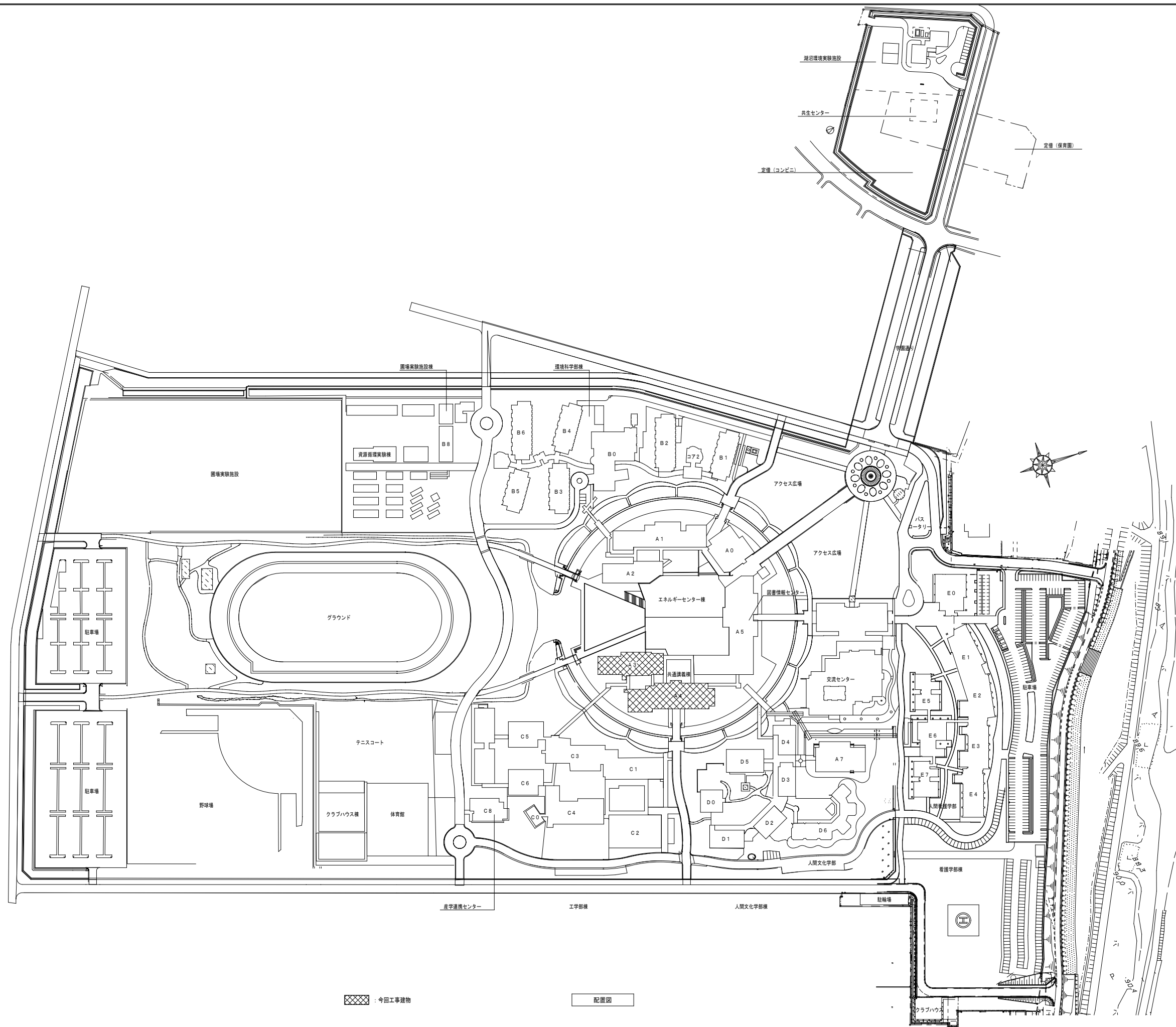
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
00	表紙・図面リスト	-	E01	電気設備工事特記仕様書1	-	A01	建築工事特記仕様書(1)	-
M01	機械設備工事特記仕様書(1)	-	E02	電気設備工事特記仕様書2	-	A02	建築工事特記仕様書(2)	-
M02	機械設備工事特記仕様書(2)	-	E03	配置図	1/1500	A03	配置図	1/1500
M03	配置図	1/3000	E04	エネルギーセンター棟特高電気室 受変電設備改修図	-	A04	共通講義棟A3棟 1階平面図(天井改修範囲図)	1/200
M04	センター棟 建物立面図(1)	1/600	E05	空調変圧器盤・開閉器盤図 開閉器所平面詳細図	1/20	A05	共通講義棟A3棟 2階平面図(天井改修範囲図)	1/200
M05	センター棟 建物立面図(2)	1/600	E06	動力・幹線設備 動力制御盤リスト(1)	-	A06	共通講義棟A3棟 3階平面図(天井改修範囲図)	1/200
M06	センター棟 1階全体平面図	1/600	E07	動力・幹線設備 動力制御盤リスト(2)	-	A07	共通講義棟A3棟 1階平面図(室外機基礎)	1/100
M07	センター棟 2階全体平面図	1/600	E08	動力・幹線設備 A棟1階平面図	1/200	A08	共通講義棟A3棟 室外機基礎 詳細図	1/100
M08	センター棟 3階全体平面図	1/600	E09	動力設備 共通講義棟A3棟1階平面図(改修)	1/100	A09	共通講義棟A4棟 1階平面図(西)(天井改修範囲図)	1/200
M09	センター棟 全体屋根伏図	1/600	E10	動力設備 共通講義棟A3棟2階平面図(改修)	1/100	A10	共通講義棟A4棟 1階平面図(東)(天井改修範囲図)	1/200
M10	空調設備 共通講義棟A3棟 機器表(新設)(再利用)	-	E11	動力設備 共通講義棟A3棟3階平面図(改修)	1/100	A11	共通講義棟A4棟 2階平面図(天井改修範囲図)	1/200
M11	空調設備 共通講義棟A3棟 系統図(改修)	-	E12	動力設備 共通講義棟A4棟1階(西)平面図(改修)	1/100	A12	共通講義棟A4棟 3階平面図(天井改修範囲図)	1/200
M12	空調設備 共通講義棟A3棟 1階平面図(改修)	1/200	E13	動力設備 共通講義棟A4棟1階(東)平面図(改修)	1/100	A13	共通講義棟A4棟 1階平面図(西)(室外機基礎)	1/100
M13	空調設備 共通講義棟A3棟 2階平面図(改修)	1/200	E14	動力設備 共通講義棟A4棟2階平面図(改修)	1/100	A14	共通講義棟A4棟 1階平面図(東)(室外機基礎)	1/100
M14	空調設備 共通講義棟A3棟 3階平面図(改修)	1/200	E15	動力設備 共通講義棟A4棟3階平面図(改修)	1/100	A15	共通講義棟A4棟 室外機基礎 詳細図	1/100
M15	自動制御設備 共通講義棟A3棟 1階平面図(改修)	1/200	E16	動力設備 共通講義棟A4棟1階平面図(撤去)	1/100			
M16	自動制御設備 共通講義棟A3棟 2階平面図(改修)	1/200	E17	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A3棟1階平面図	1/100			
M17	自動制御設備 共通講義棟A3棟 3階平面図(改修)	1/200	E18	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A3棟2階平面図	1/100			
M18	屋外配管図(撤去・新設)	1/200	E19	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A3棟3階平面図	1/100			
M19	空調設備 共通講義棟A3棟 1・2階平面断面詳細図	1/100	E20	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A4棟1階(西)平面図	1/100			
M20	空調設備 共通講義棟A3棟 3階平面断面詳細図	1/100	E21	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A4棟1階(東)平面図	1/100			
M21	空調設備 共通講義棟A4棟 機器表1(新設)	-	E22	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A4棟2階平面図	1/100			
M22	空調設備 共通講義棟A4棟 機器表2(新設)(撤去)(再利用)	-	E23	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A4棟3階平面図	1/100			
M23	空調設備 共通講義棟A4棟 系統図(西)(改修)	-	E24	中央監視制御設備 A棟1階平面図(1)	1/200			
M24	空調設備 共通講義棟A4棟 系統図(東)(改修)	-	E25	中央監視制御設備 A棟1階平面図(2)	1/200			
M25	空調設備 共通講義棟A4棟 1階平面図(西)(改修)	1/200	E26	中央監視制御設備 システム構成図	-			
M26	空調設備 共通講義棟A4棟 1階平面図(東)(改修)	1/200	E27	中央監視制御設備 入出力回路図	-			
M27	空調設備 共通講義棟A4棟 2階平面図(改修)	1/200	E28	中央監視制御設備 既存中央管理点入出力一覧表	-			
M28	空調設備 共通講義棟A4棟 3階平面図(改修)	1/200	E29	中央監視制御設備 新規中央管理点入出力一覧表	-			
M29	空調設備 共通講義棟A4棟 1階平面図(撤去)	1/200						
M30	自動制御設備 共通講義棟A4棟 1階平面図(西)(改修)	1/200						
M31	自動制御設備 共通講義棟A4棟 1階平面図(東)(改修)	1/200						
M32	自動制御設備 共通講義棟A4棟 2階平面図(改修)	1/200						
M33	自動制御設備 共通講義棟A4棟 3階平面図(改修)	1/200						
M34	空調設備 共通講義棟A4棟 3階平面断面詳細図	1/100						
M35	防雷ネット参考図	1/12						
M36	保温施工標準図No.1	-						
M37	保温施工標準図No.2	-						

滋賀県立大学財務課  
株式会社 総合設備コンサルタント

令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課				株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称 滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	図面No. 00
						図面名称 表紙・図面リスト	設計日 2023年3月



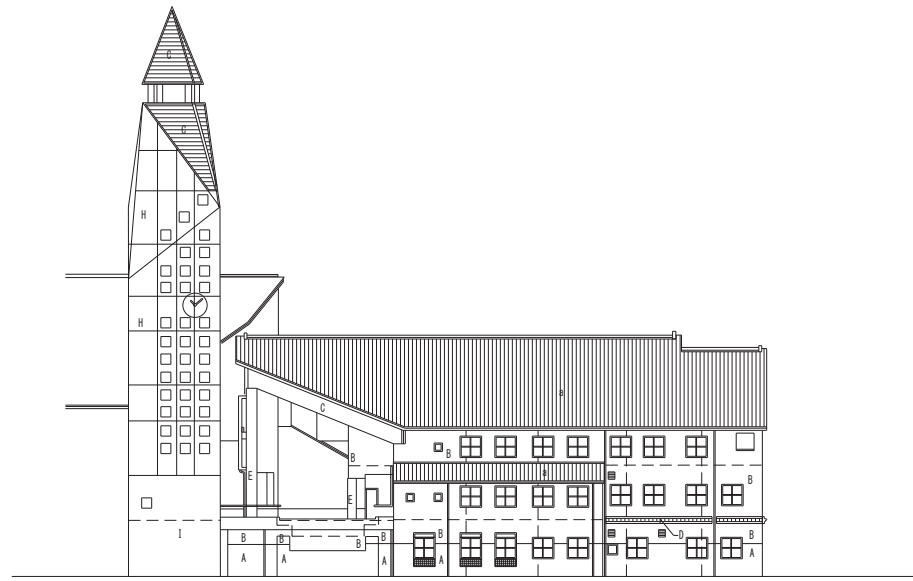




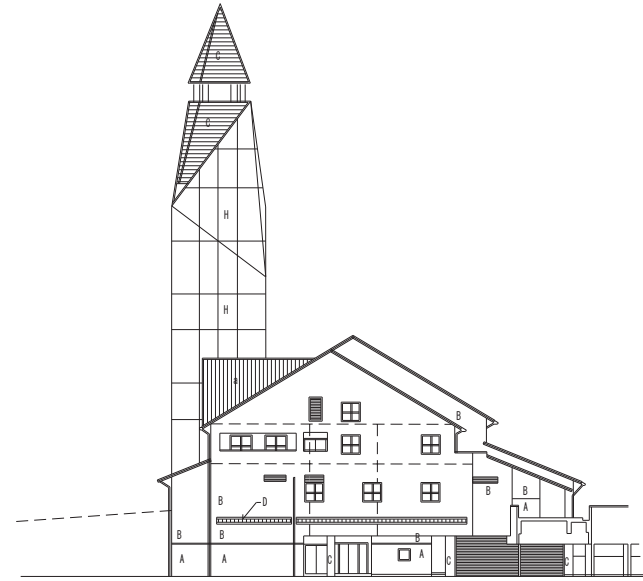
⊠ : 今回工事建物

□ : 配置図

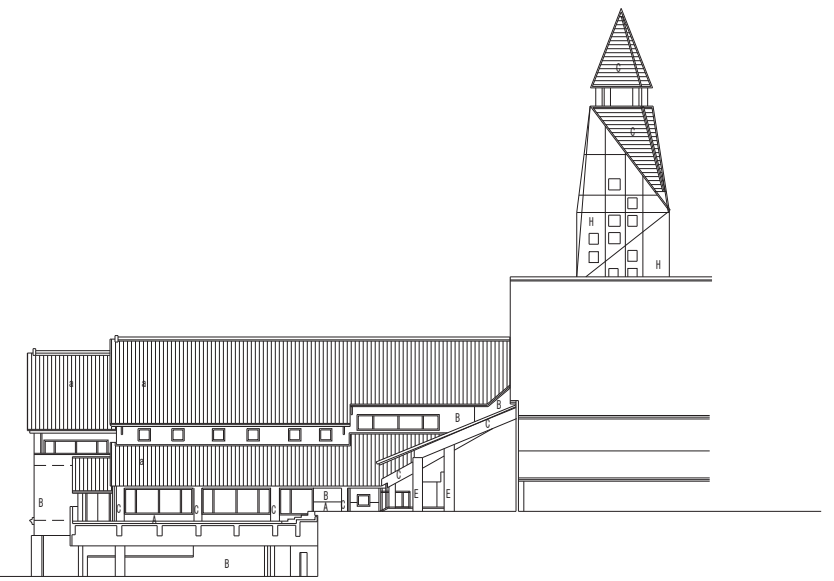
令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課			株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称 滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	図面No. M03
					図面名称 配置図	設計日 2023年3月
					S=1/3000	



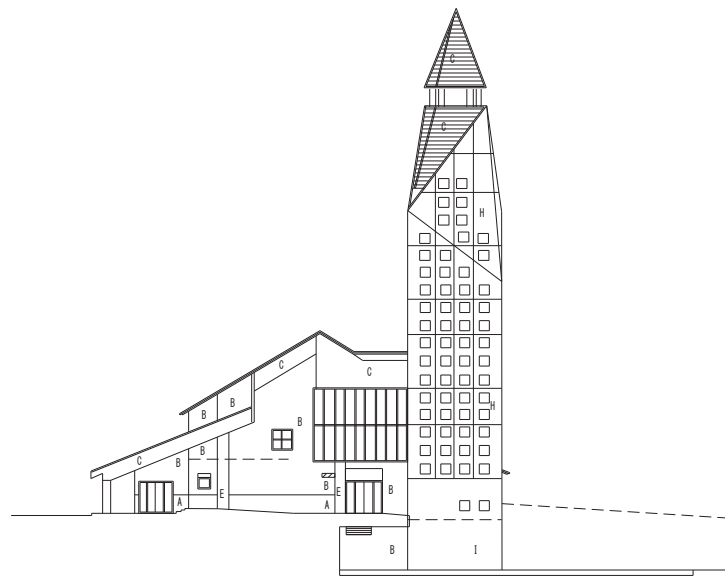
北立面図



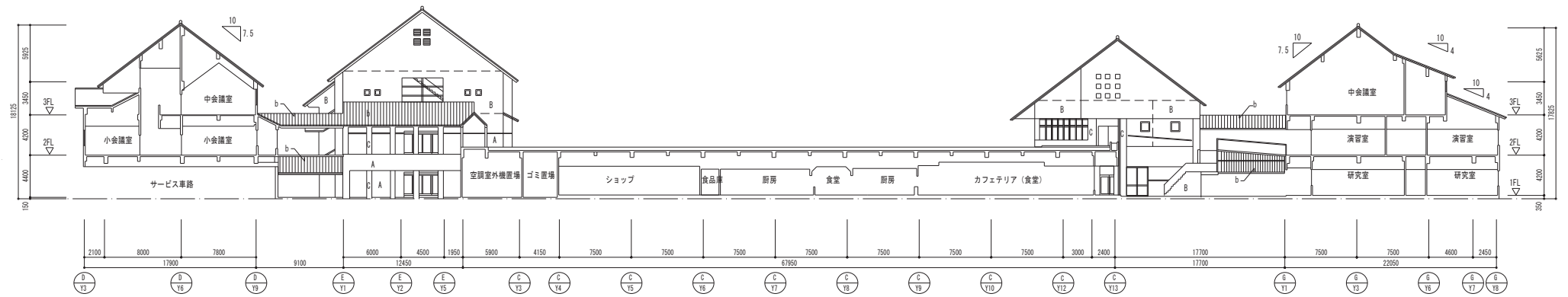
西立面図



南立面図



東立面図



共通講義棟 A4棟

共通講義棟 A3棟 北立面図

学生ホール A2棟 北立面図

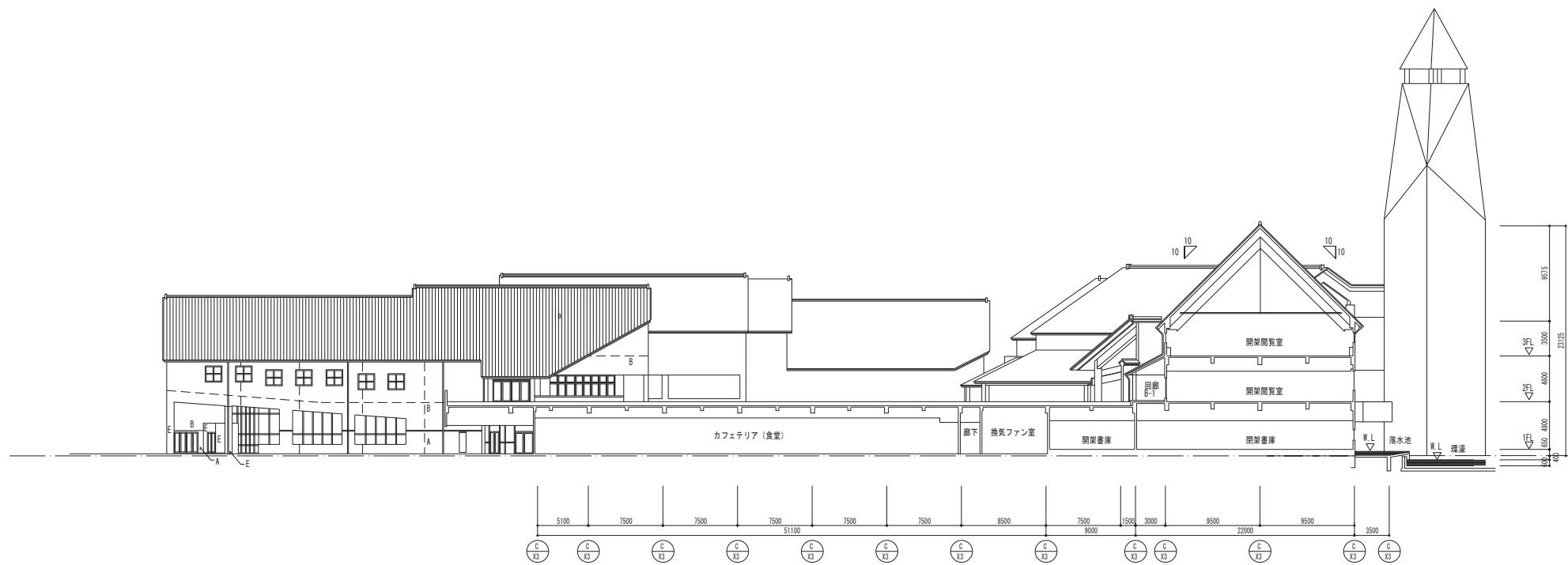
講義棟 A1



学生ホール A2棟

講義棟 A1棟 北立面図

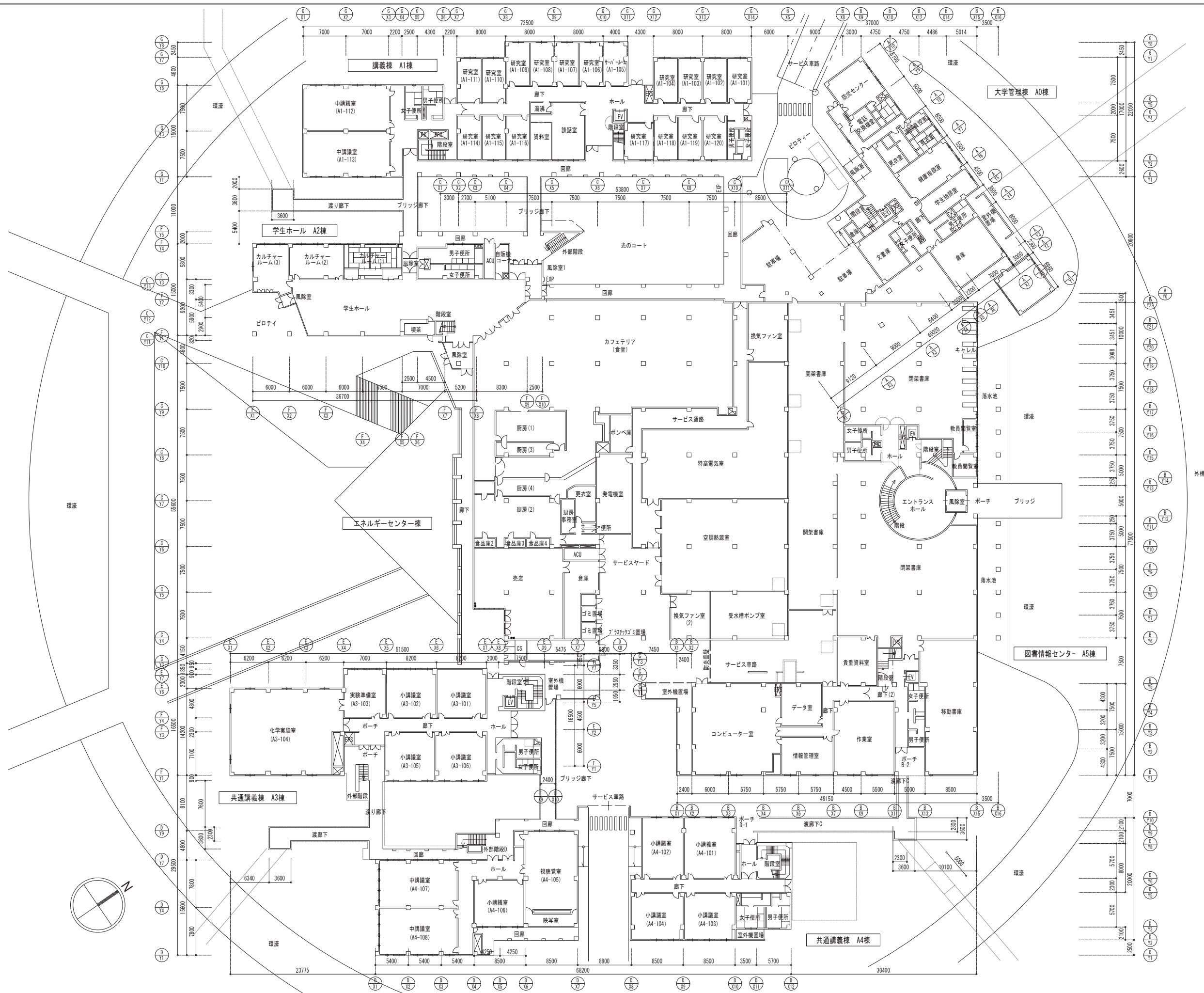
講義棟 A1棟 東立面図

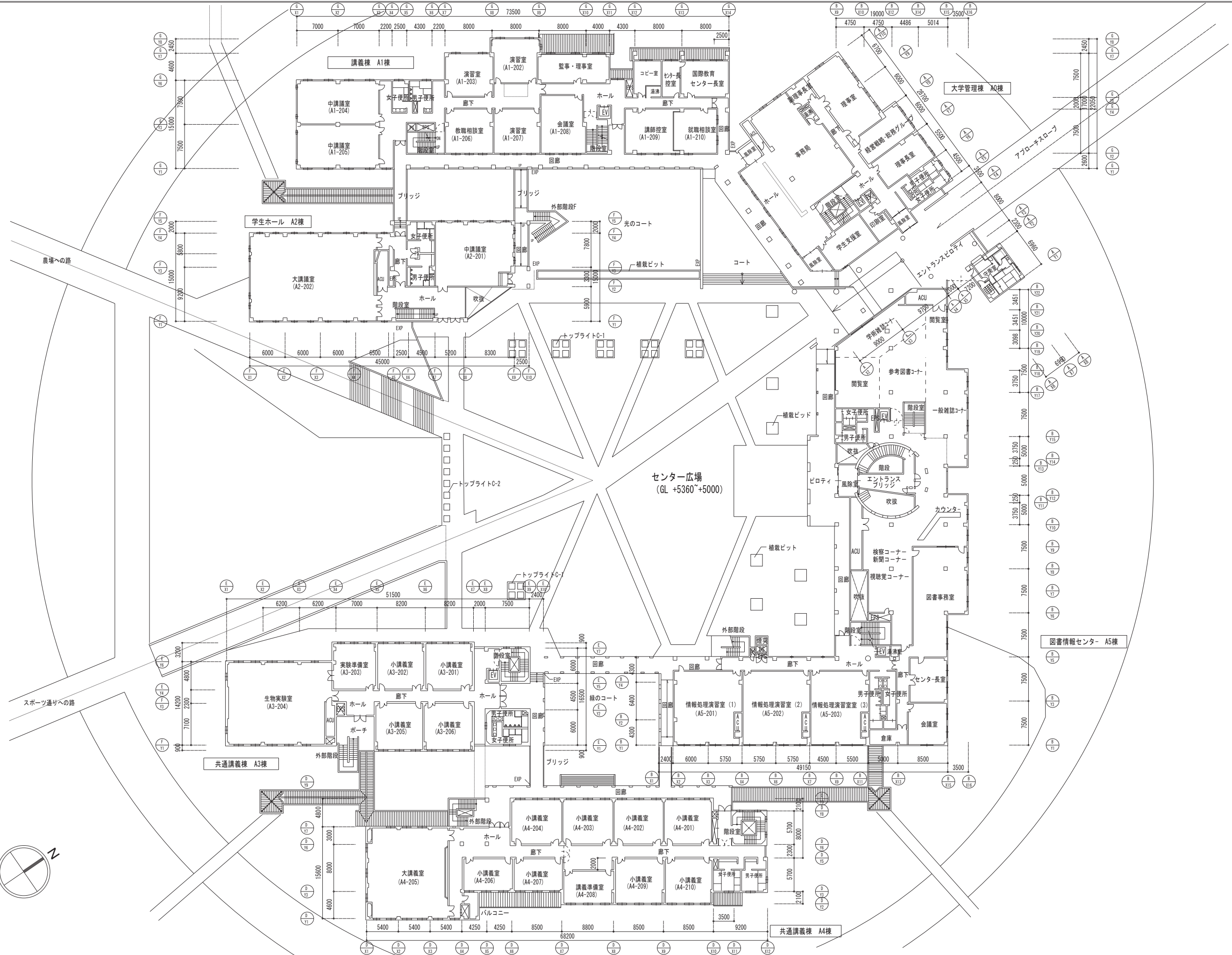


学生ホール A2棟 東立面図

エネルギーセンター棟

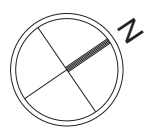
図書情報センター A5棟



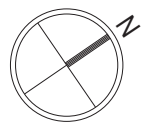
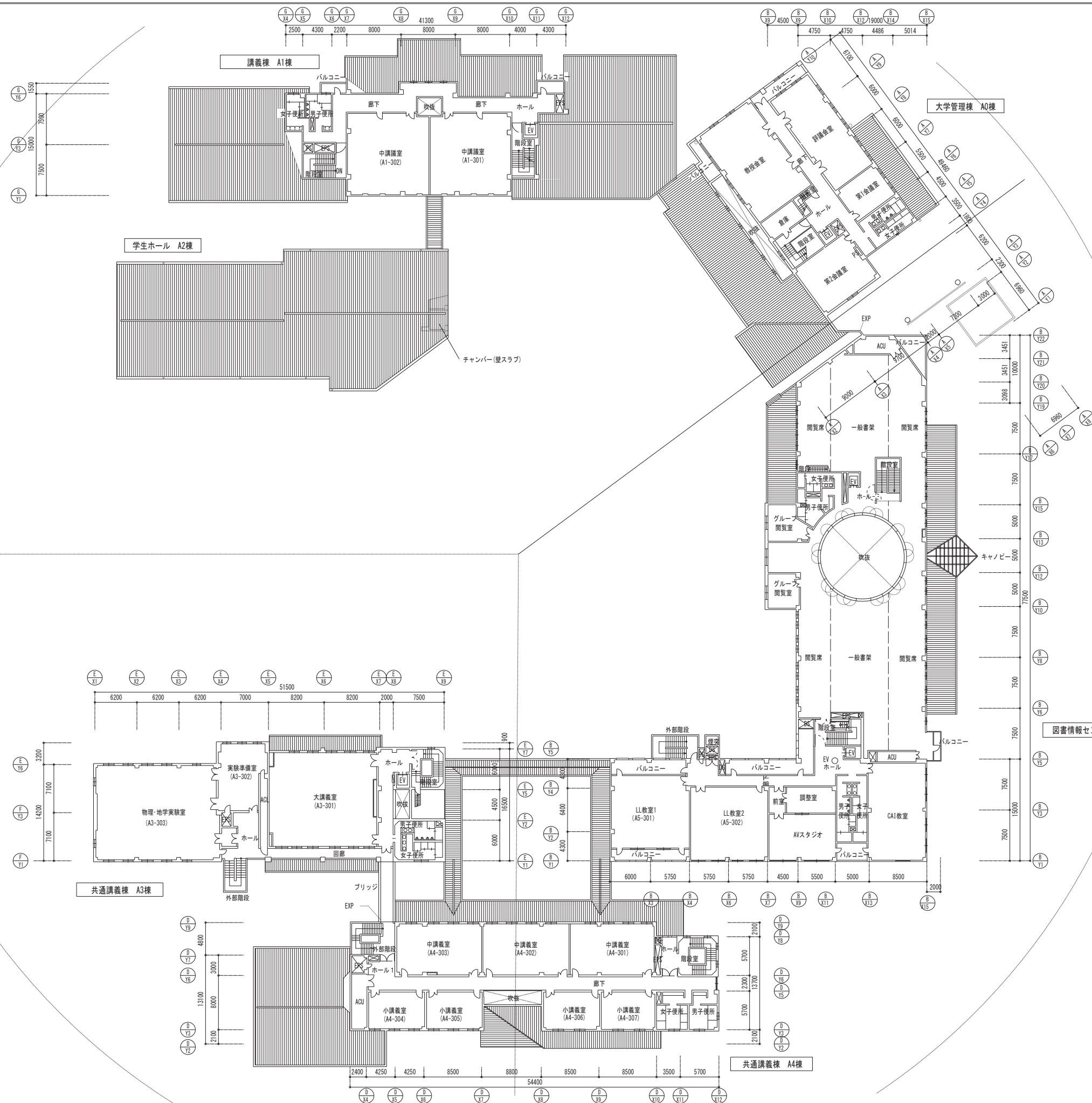


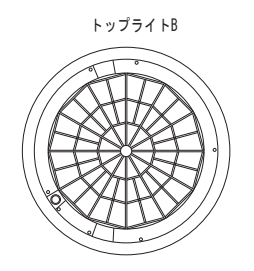
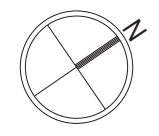
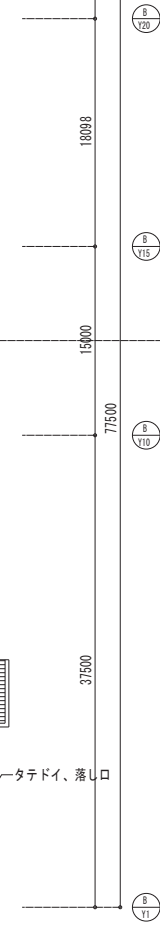
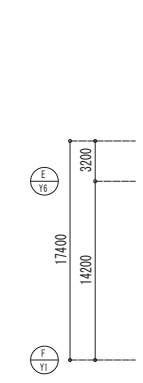
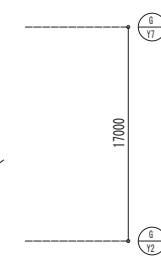
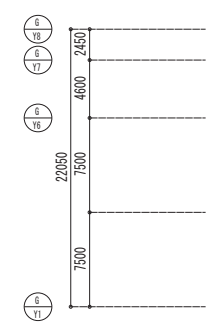
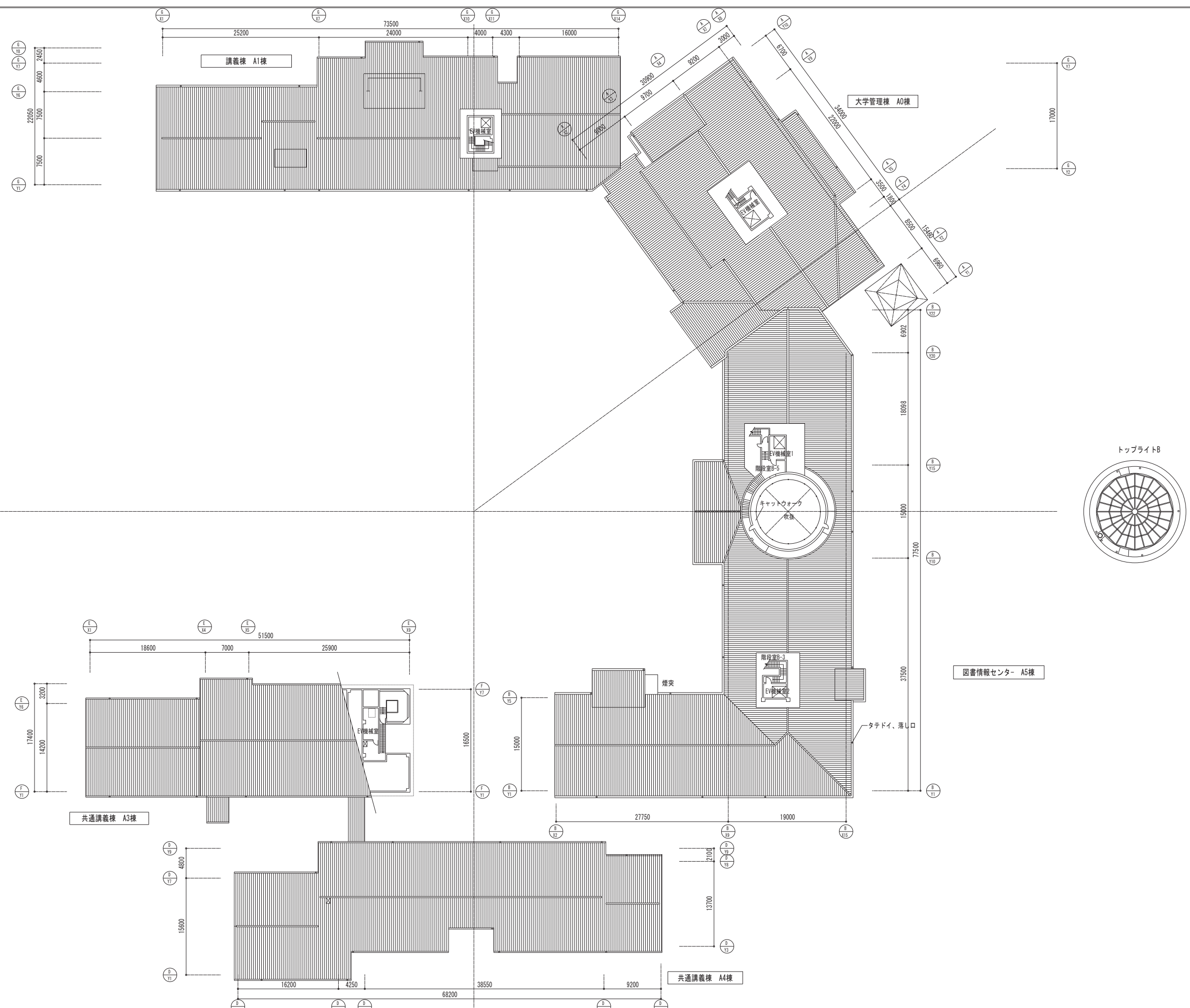
農場への路

スポーツ通りへの路



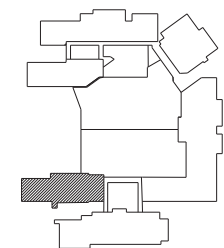






令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課	株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称 滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	図面番号 M09
			図面名称 センター棟 全体屋根図	縮尺 S=1/600
				設計日 2023年3月





キープラン

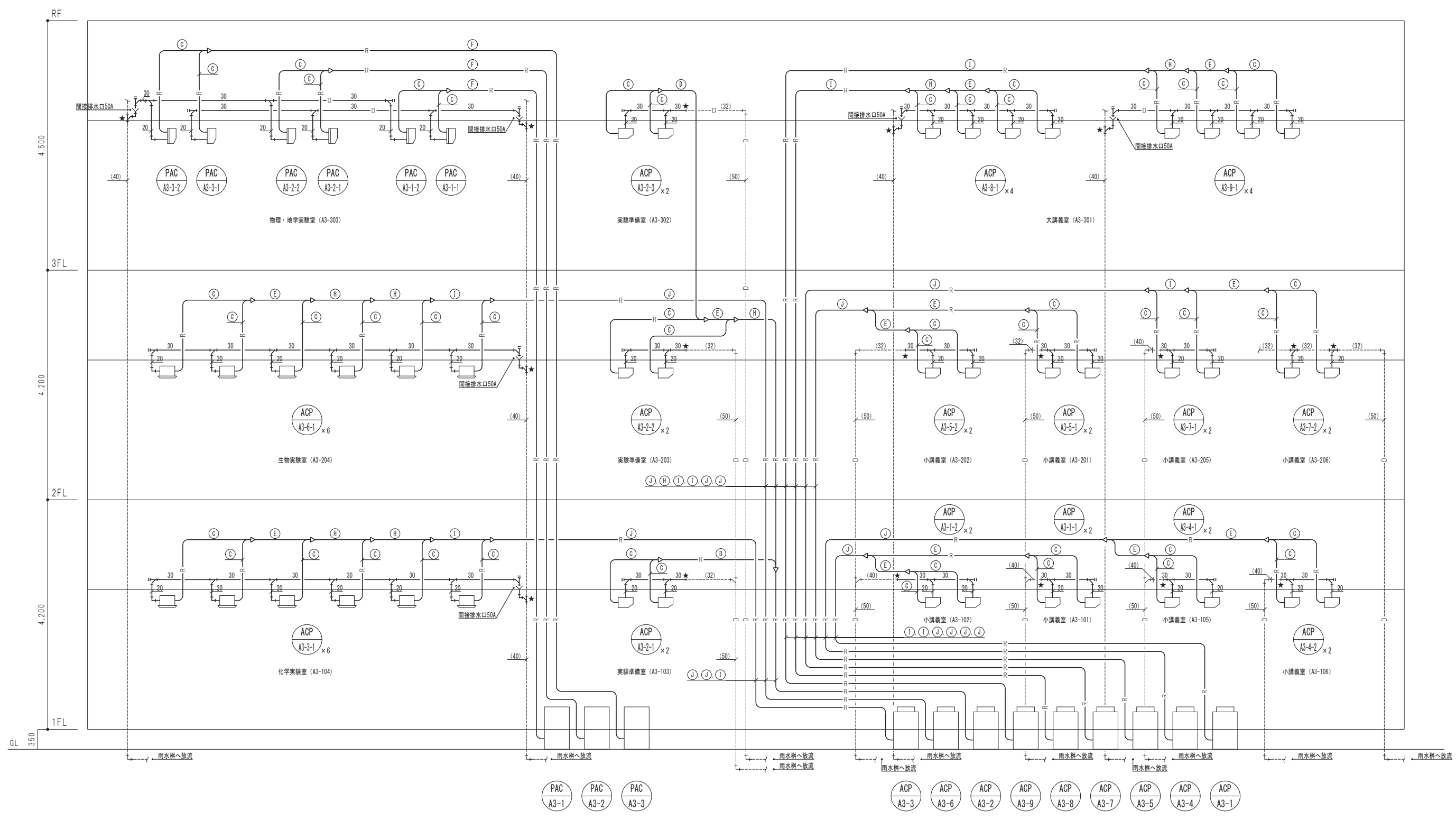
凡例

シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線 (天井内コゴシ)	EM-CCE1 25 <sup>o</sup> -20 ※立下り部は一種金属製編み (A型)内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	

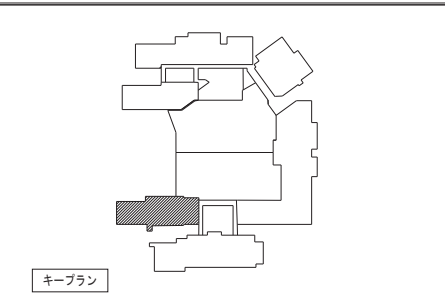
冷媒サイズリスト

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-CCE 1.25<sup>o</sup>-20共巻、  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-CEZ 0<sup>o</sup>-30共巻とする。

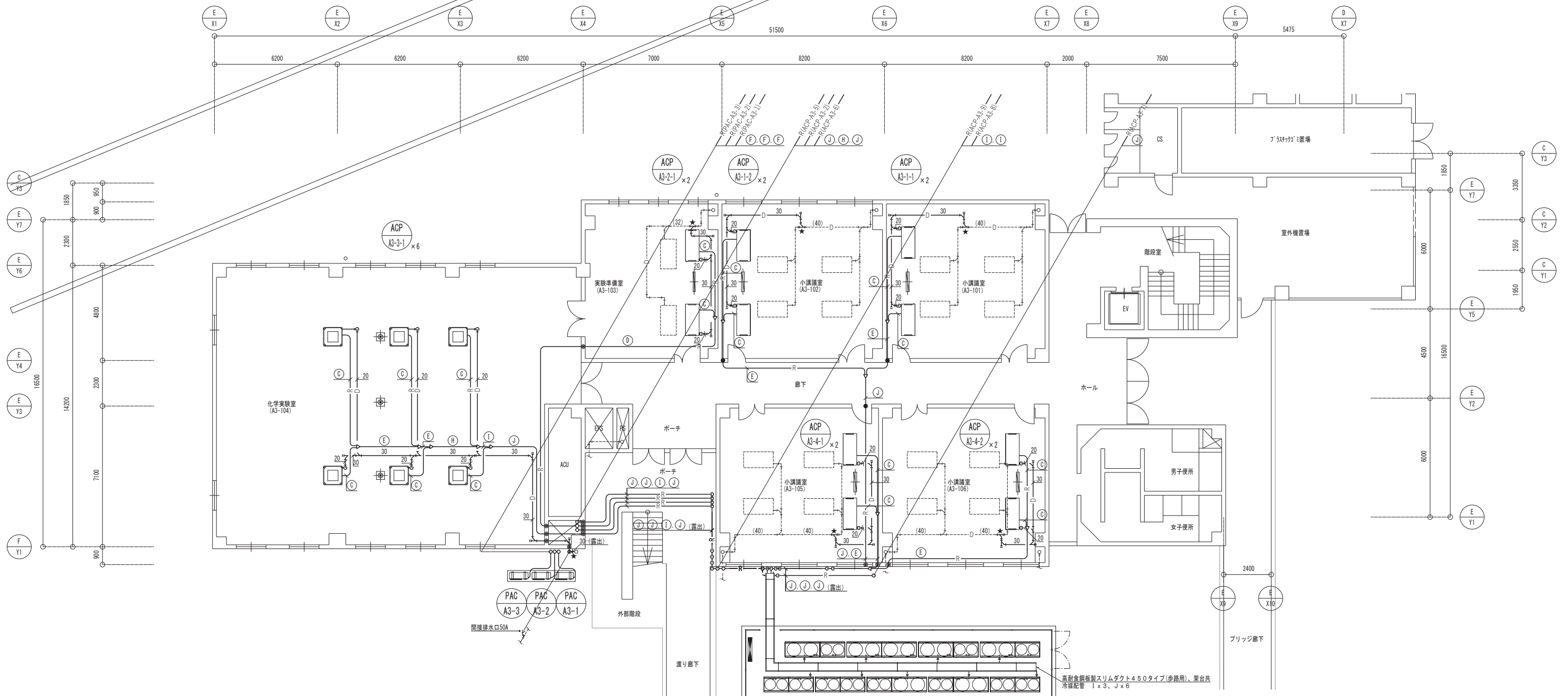
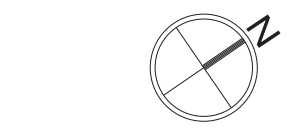


系統図 A3棟



制気口リスト 取外し再取付

室名	小講義室(A3-101)	室名	実験準備室(A3-103)	室名	小講義室(A3-105)
器具名	HS 1000×150	器具名	HS 1000×100	器具名	HS 1000×150
風量	×1	風量	×1	風量	×1
室名	小講義室(A3-102)	室名	科学実験室(A3-104)	室名	小講義室(A3-106)
器具名	HS 1000×150	器具名	E2 #25	器具名	HS 1000×150
風量	×1	風量	×3	風量	×1



冷媒サイズリスト

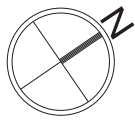
記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制鋼線EM-GEE 1.25 -20巻、  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-GEE 2.0 -30巻とする。

凡例

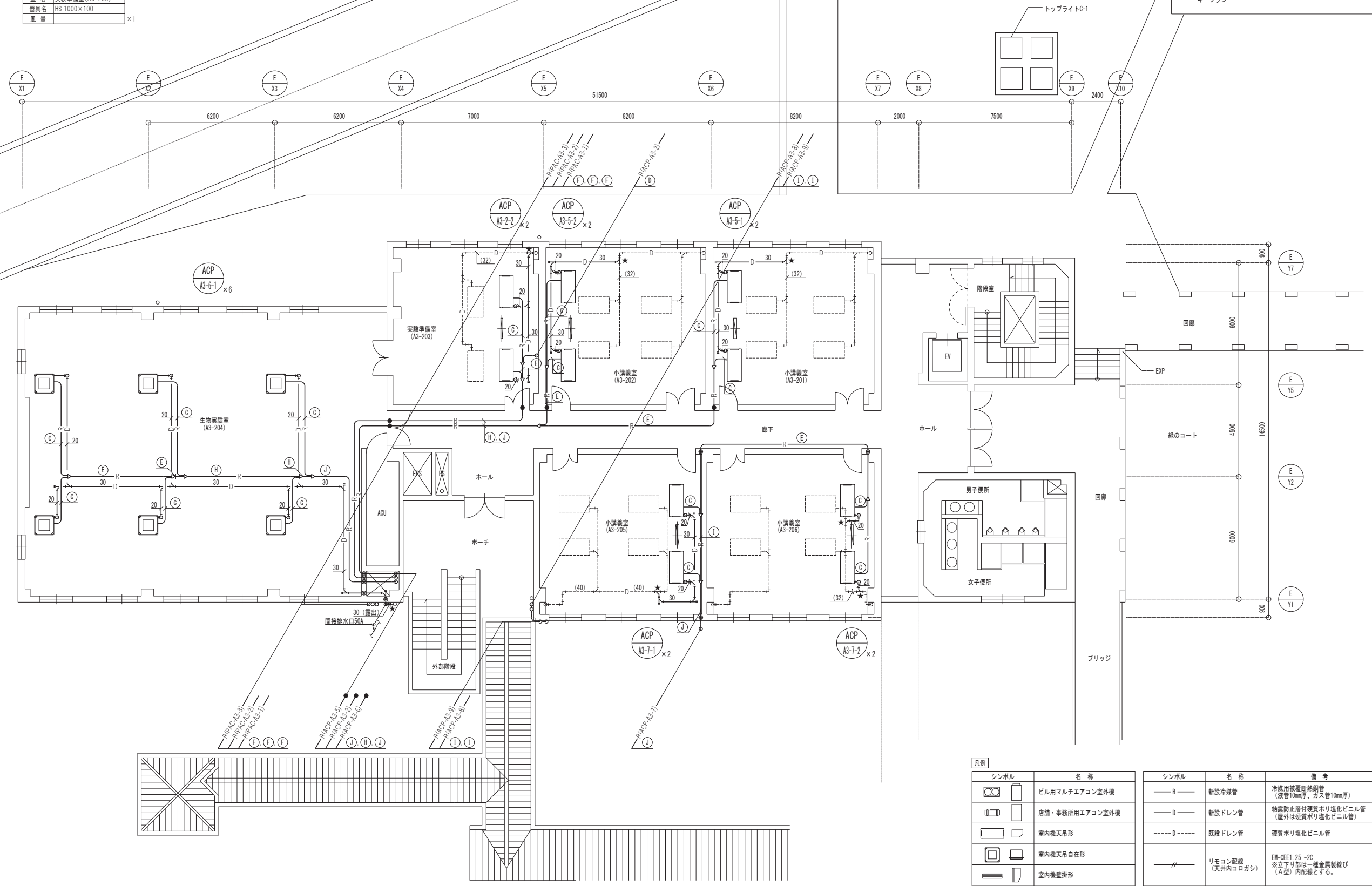
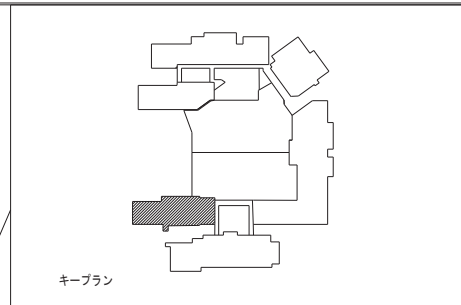
シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線 (天井内コゴシ)	EM-GEE1.25-20 ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2箱用ボックス共)		はつり	

共通講義棟 A3棟 ※特記なきは、天井内とする。



制気口リスト 取外し再取付

室名	小講義室(A3-201)	器具名	HS 1000×150	風量	×1
室名	小講義室(A3-202)	器具名	HS 1000×150	風量	×1
室名	実験準備室(A3-203)	器具名	HS 1000×100	風量	×1
室名	小講義室(A3-205)	器具名	HS 1000×150	風量	×1
室名	小講義室(A3-206)	器具名	HS 1000×150	風量	×1



冷媒サイズリスト

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(L)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制鋼線EM-GEE 1.25-20共巻、  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-GE2.0-30共巻とする。

凡例

シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (層外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線 (天井内コゴシ)	EM-GEE1.25-20 ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2種用ボックス共)		はつり	

共通講義棟 A3棟

※特記なきは、天井内とする。

令和5年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

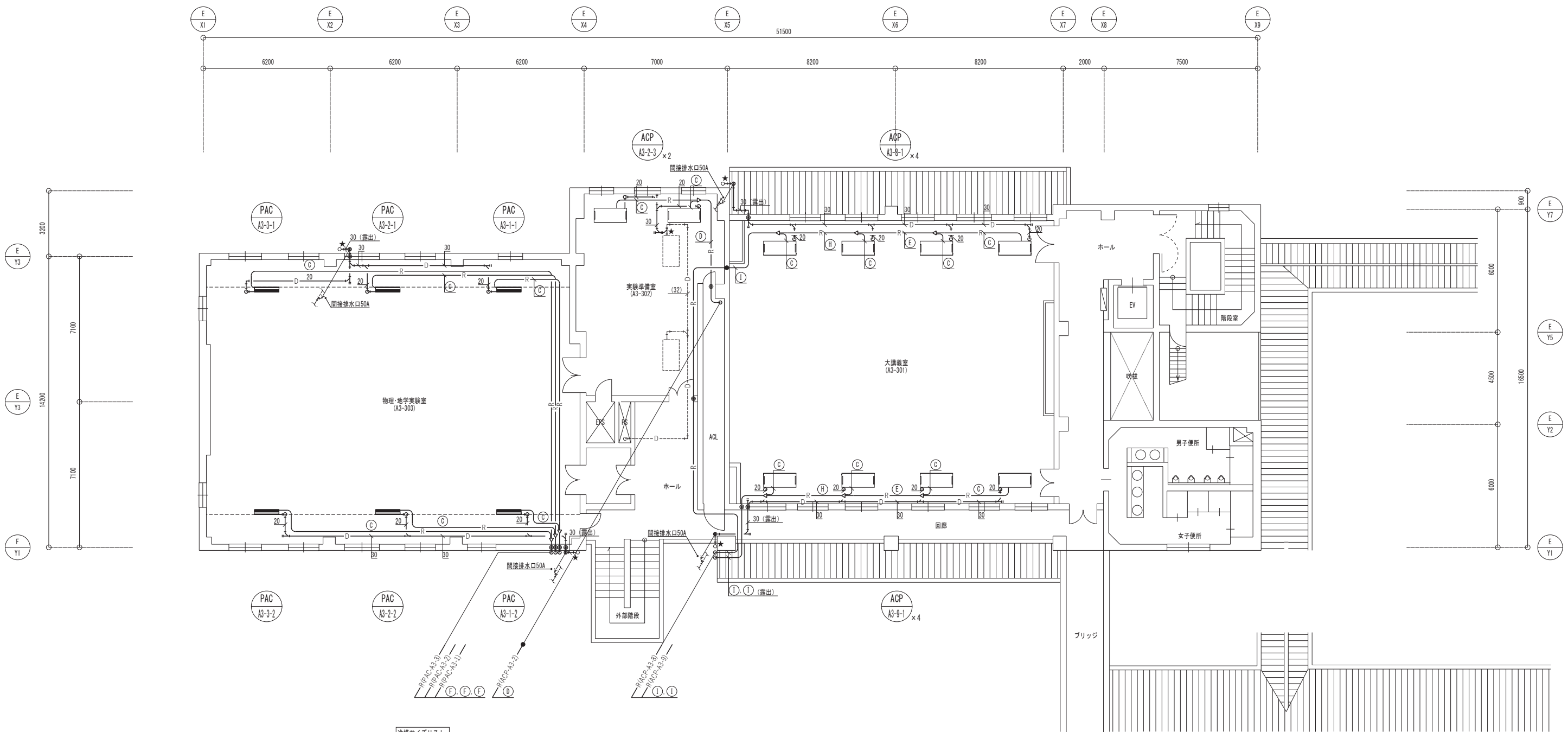
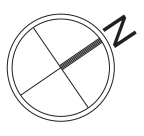
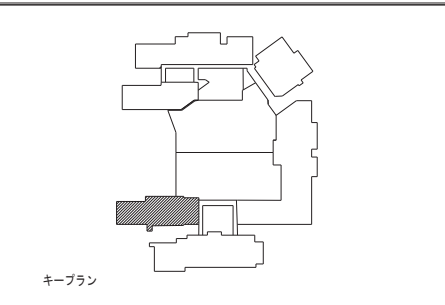
工事名称 滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事

図面番号 M13

図面名称 空調設備 共通講義棟A3棟 2階平面図 (改修)

縮尺 S=1/200

設計日 2023年3月

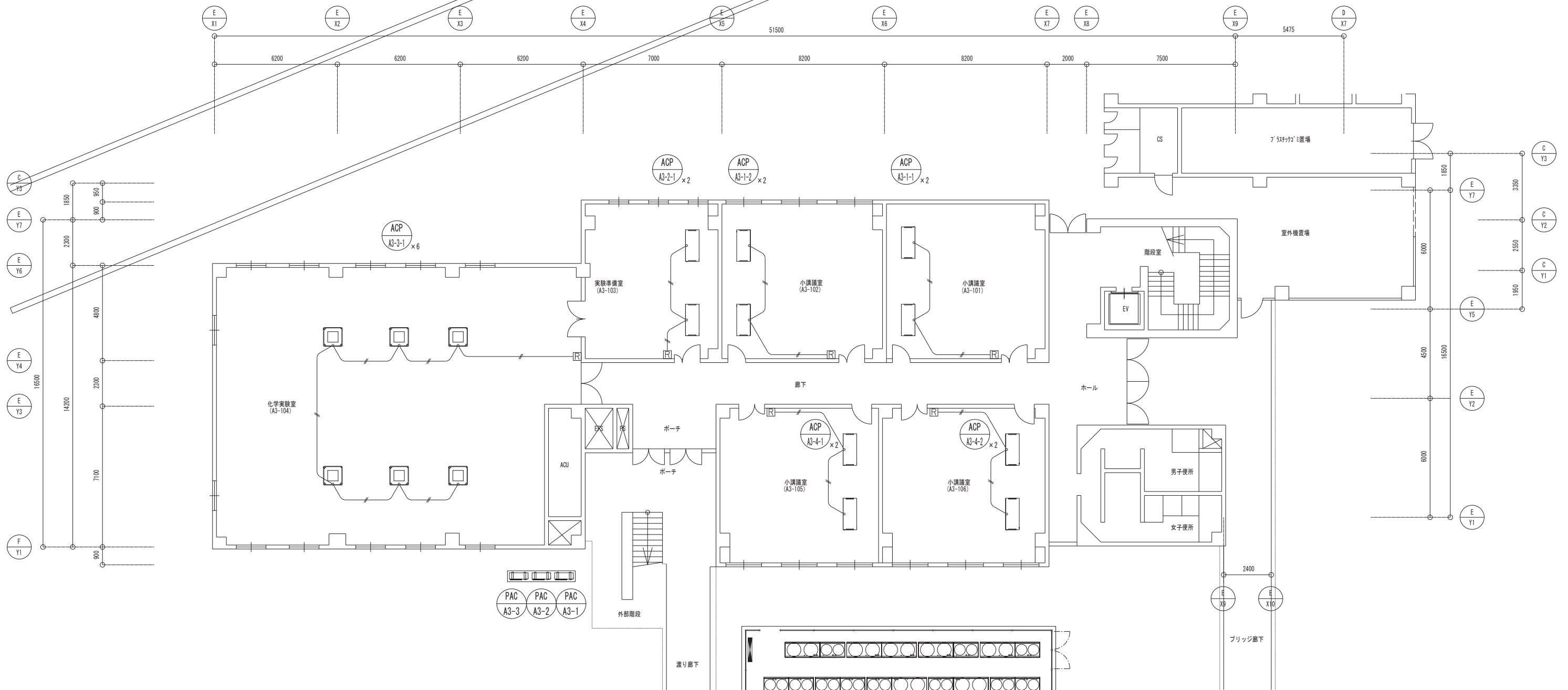
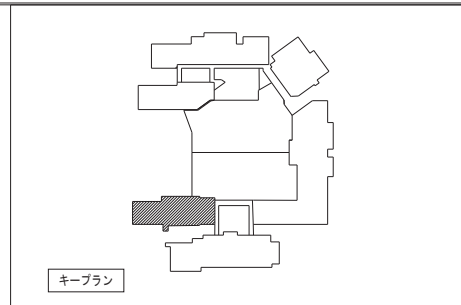


シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井吊形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井吊自在形		リモコン配線 (天井内コロガシ)	EM-OEE1: 25-2C ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2用ボックス共)		はつり	

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-OEE 1.25-2C共巻、  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-OEE 2.0-3C共巻とする。

共通講義棟 A3棟 ※特記なきは、天井内とする。



冷媒サイズリスト

記号	ガス管	液管
A	9.5φ	6.4φ
B	12.7φ	6.4φ
C	15.9φ	9.5φ
D	19.1φ	9.5φ
E	22.2φ	9.5φ
F	25.4φ	9.5φ
G	25.4φ	12.7φ
H	28.6φ	12.7φ
I	28.6φ	15.9φ
J	31.8φ	19.1φ
K	38.1φ	19.1φ

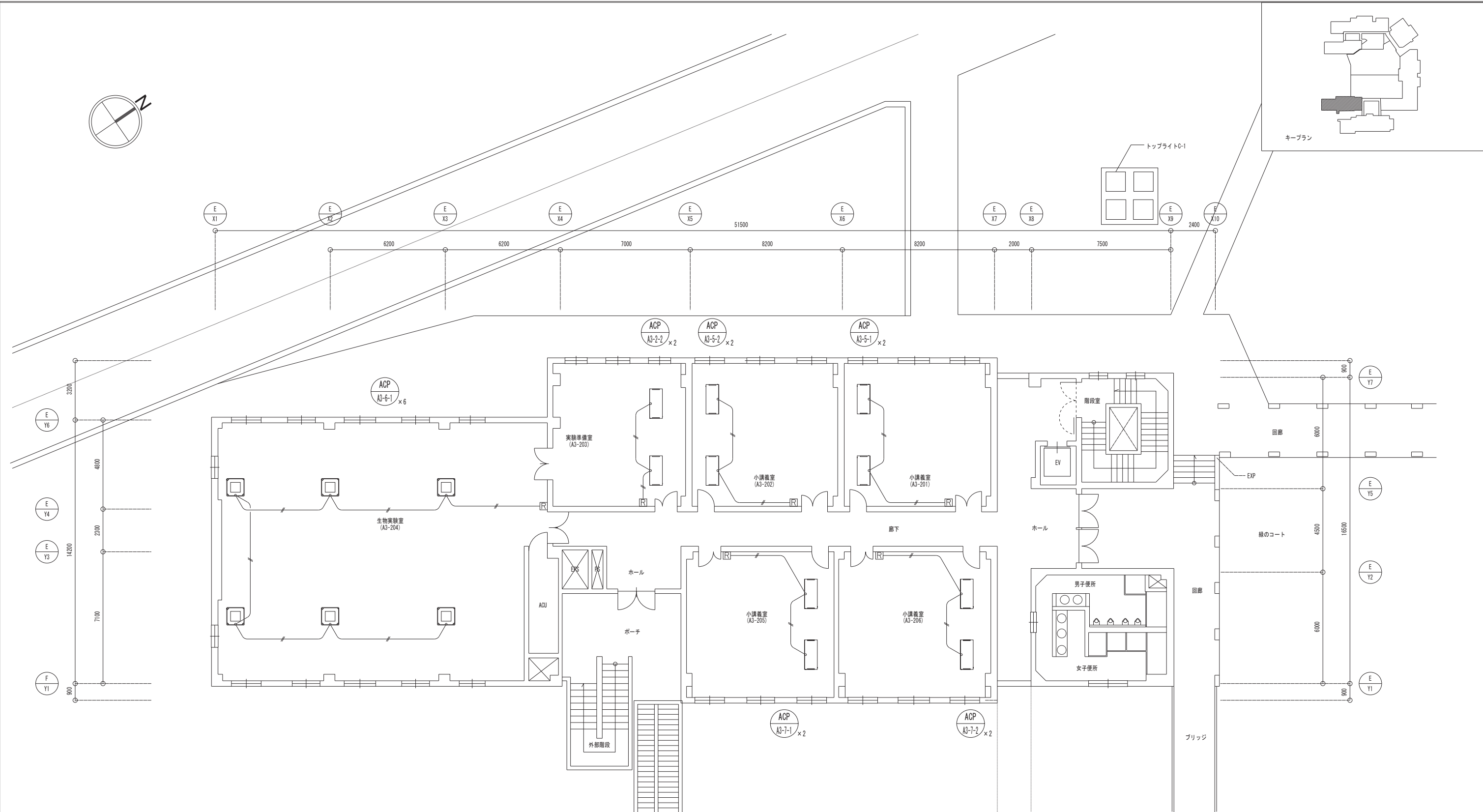
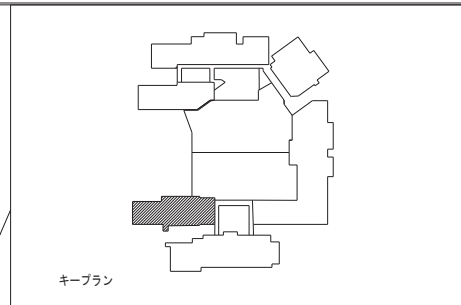
※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-CCE 1.25-2C共巻、店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-CE2.0-3C共巻とする。

凡例

シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井吊形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線 (天井内コシ)	EM-CCE1.25-2C ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2種用ボックス共)		はつり	

共通講義棟 A3棟 ※特記なきは、天井内とする。





冷媒サイズリスト

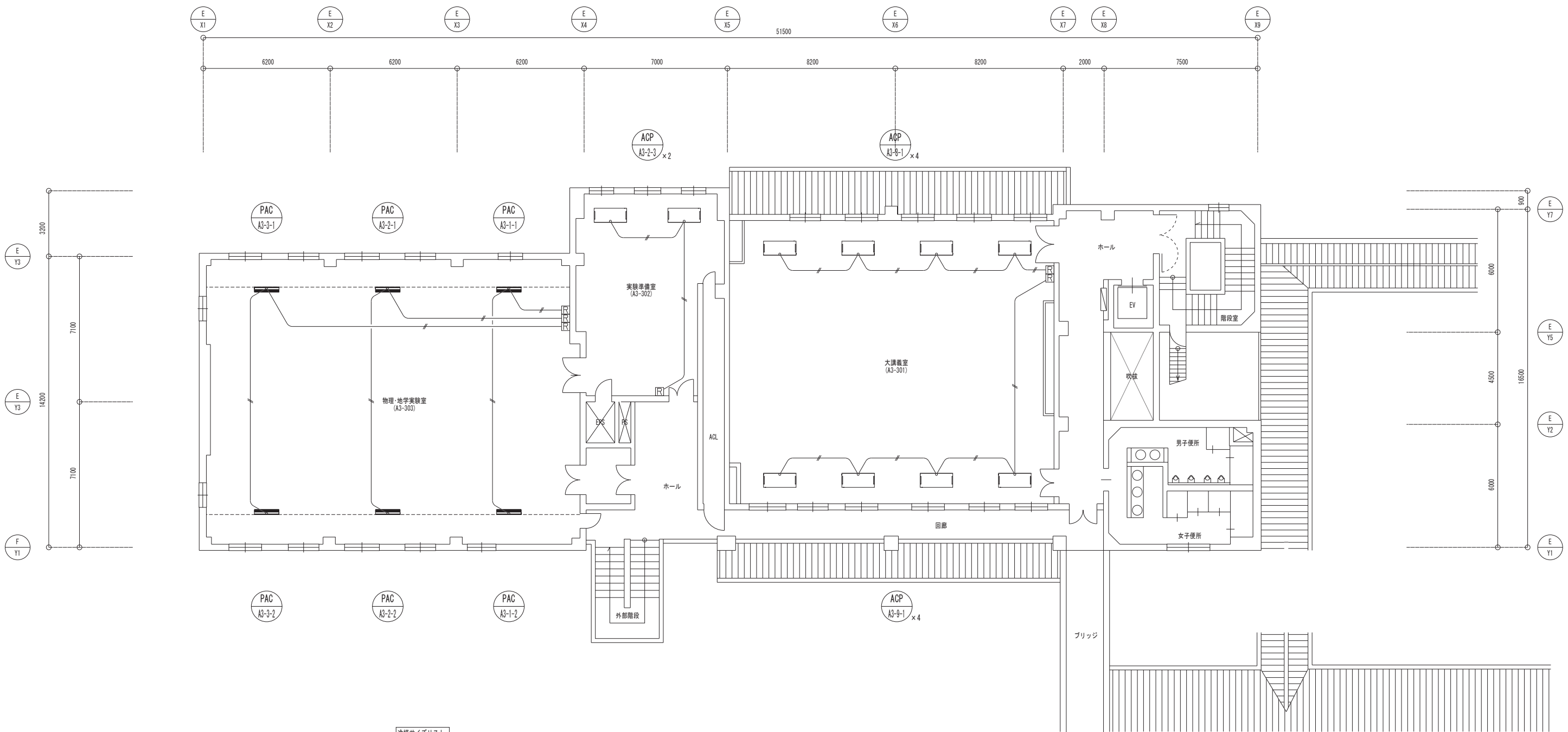
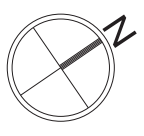
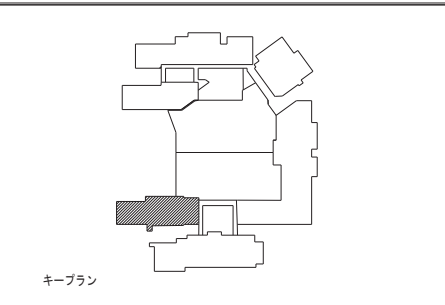
記号	ガス管	液管
A	9.5φ	6.4φ
B	12.7φ	6.4φ
C	15.9φ	9.5φ
D	19.1φ	9.5φ
E	22.2φ	9.5φ
F	25.4φ	9.5φ
G	25.4φ	12.7φ
H	28.6φ	12.7φ
I	28.6φ	15.9φ
J	31.8φ	19.1φ
K	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-CSE 1.25-20共巻、店舗・事務用エアコンの冷媒管には電源線EM-CE2.0-30共巻とする。

凡例

シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (層外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線 (天井内コゴシ)	EM-CSE1.25-20 ※立下り部は一種金属製編み (A型) 内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2用ボックス共)		はつり	

共通講義棟 A3棟 ※特記なきは、天井内とする。

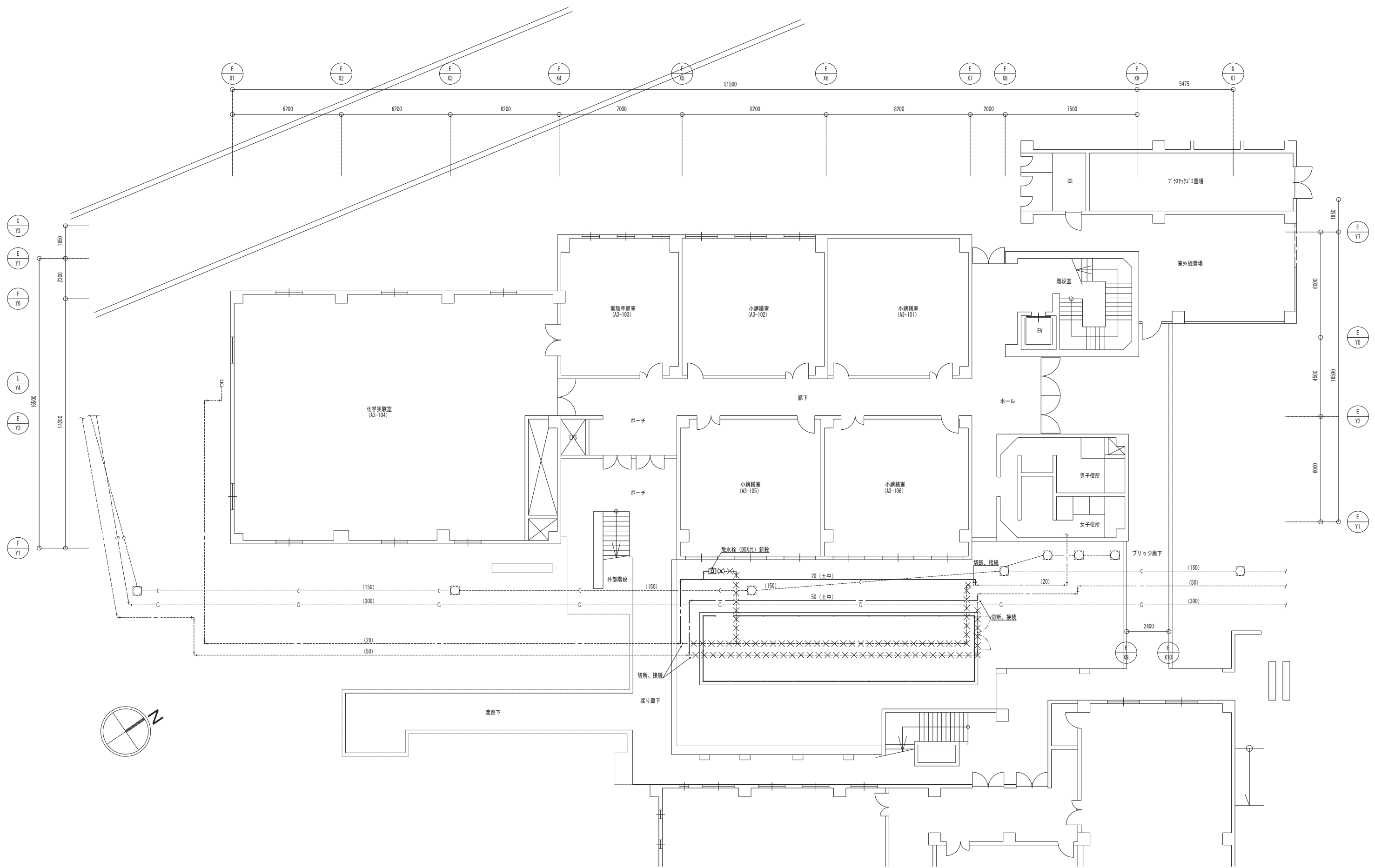


凡例	シンボル	名称	シンボル	名称	備考
		ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
		店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
		室内機天吊形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
		室内機天吊自在形		リモコン配線	EM-OEE1: 25-2C ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
		室内機壁掛形		既設管接続	
		既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
		空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	

冷媒サイズリスト		
記号	ガス管	液管
Ⓐ	9.5φ	6.4φ
Ⓑ	12.7φ	6.4φ
Ⓒ	15.9φ	9.5φ
Ⓓ	19.1φ	9.5φ
Ⓔ	22.2φ	9.5φ
Ⓕ	25.4φ	9.5φ
Ⓖ	25.4φ	12.7φ
Ⓗ	28.6φ	12.7φ
Ⓘ	28.6φ	15.9φ
Ⓚ	31.8φ	19.1φ
Ⓛ	38.1φ	19.1φ

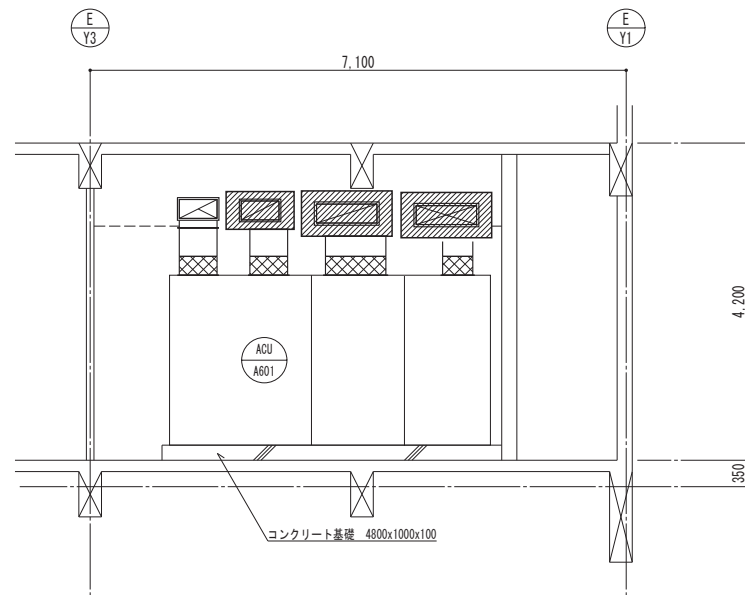
※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-OEE 1.25-2C共巻、店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-OEE2.0-3C共巻とする。

共通講義棟 A3棟 ※特記なきは、天井内とする。

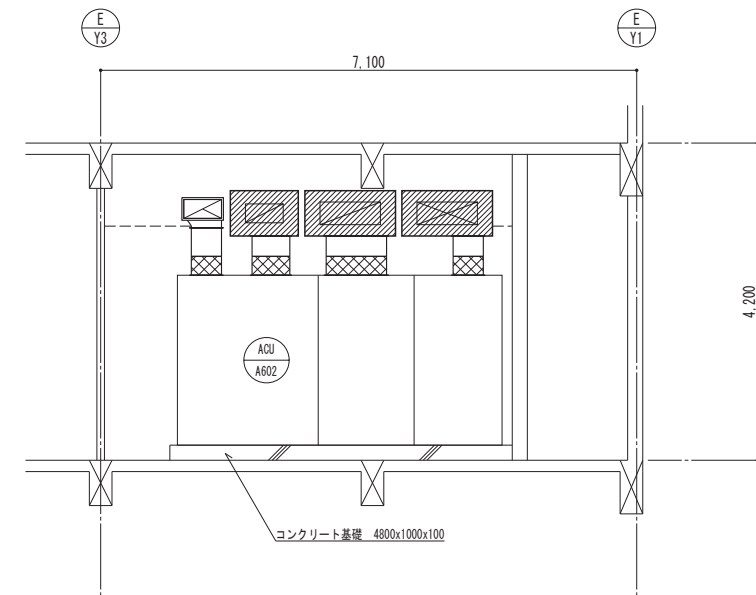


※ : 撤去を示す。

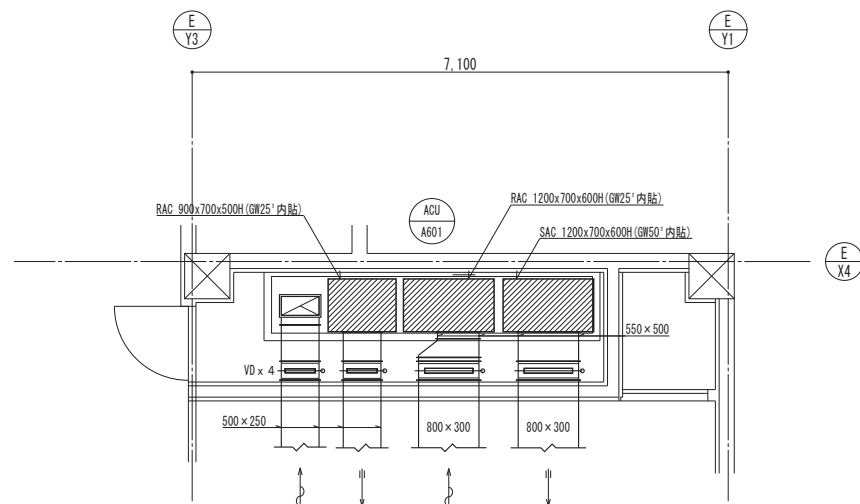
令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課			株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称 滋賀県立大学 A3・A4 棟空調設備改修工事	図面番号 M18
					図面名称 屋外配管図 (撤去・新設)	縮尺 S=1/200
						設計日 2023年3月



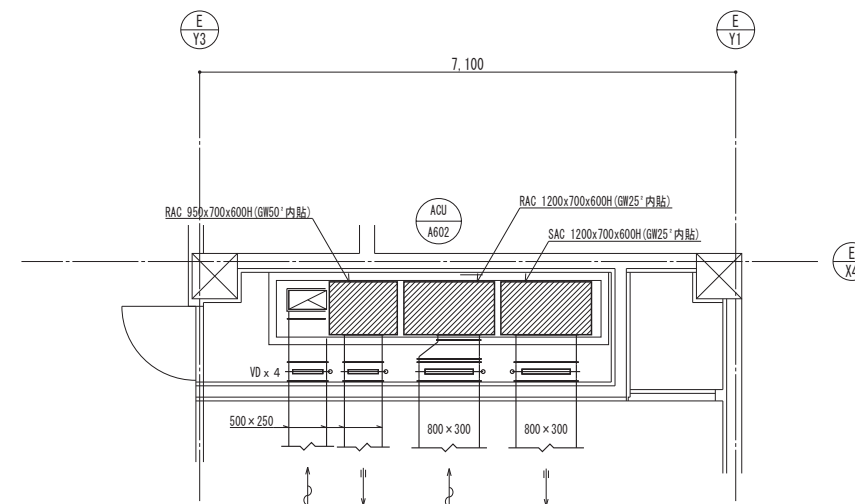
1階空調機械室 断面詳細図 1:100



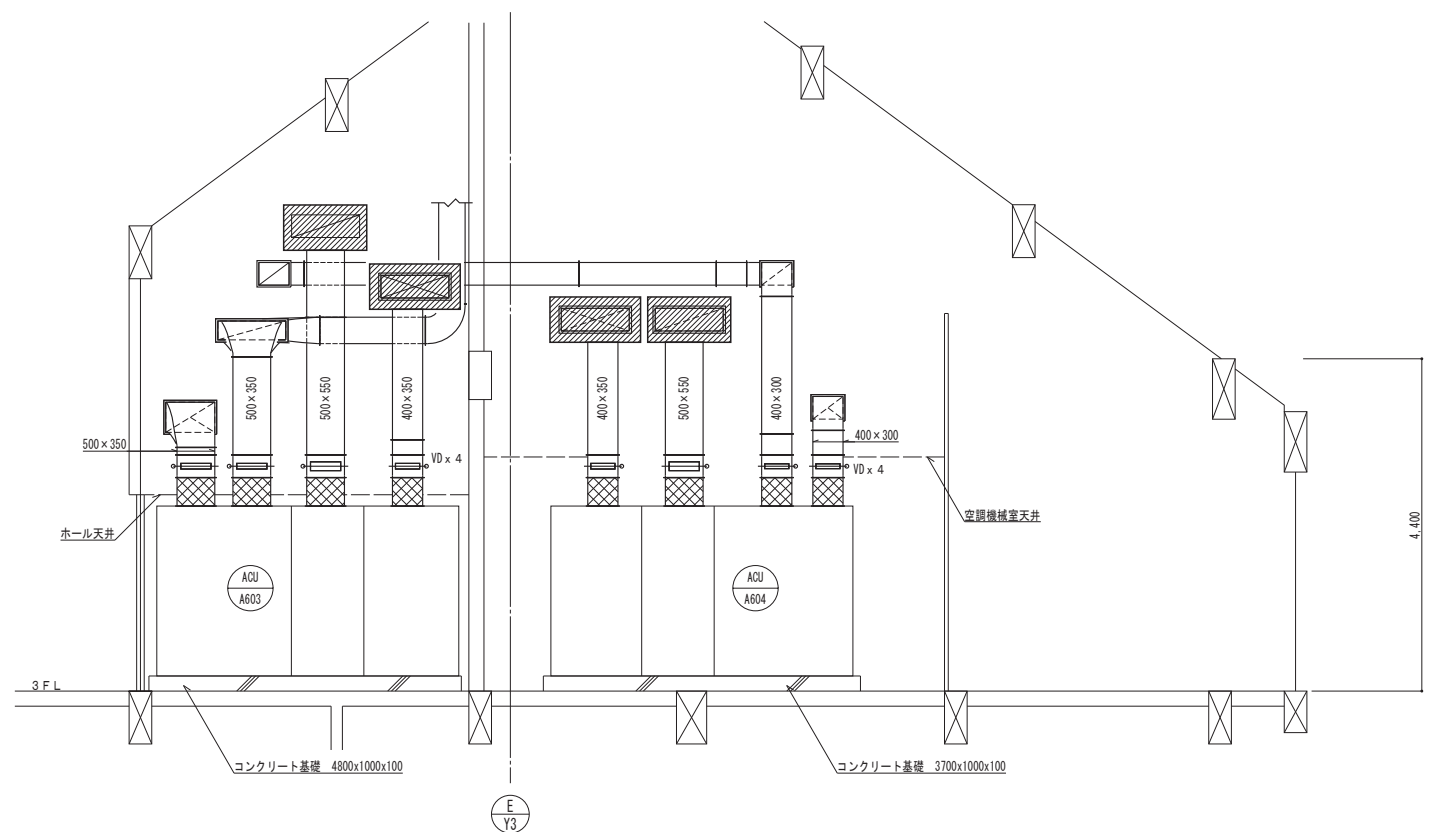
2階空調機械室 断面詳細図 1:100



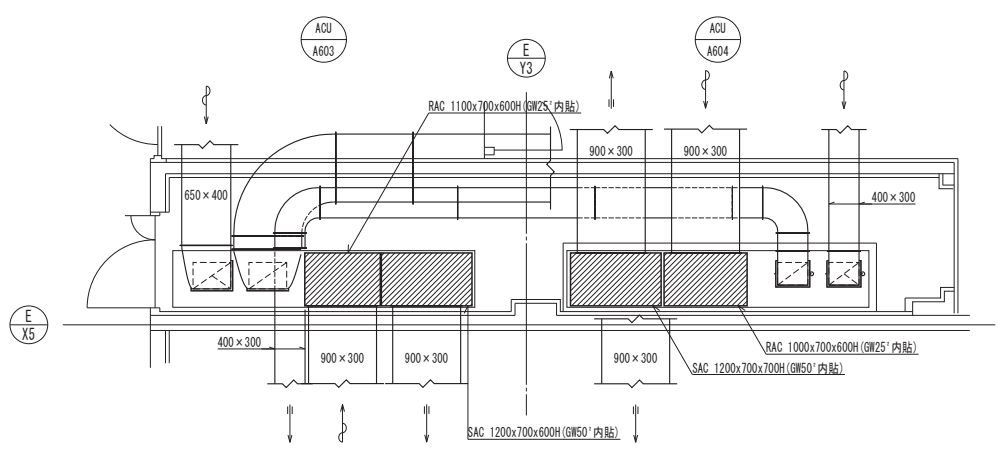
1階空調機械室 平面詳細図 1:100



2階空調機械室 平面詳細図 1:100



3階空調機室 断面詳細図 (A3棟) 1:100



3階空調機室 平面詳細図 (A3棟) 1:100



空調設備機器表2 (新設)

機器番号	機器名称	型式	設置階	室NO.	設置室名	台数	冷房能力 kW	暖房能力 kW	電源容量				付属品 ○ 印							備考		
									電源 相-V	消費電力 (kW)		送風機出力 kW	圧縮機出力 kW	ワイヤードリモコン	標準フィルター	ドレンアップメカ	防護架台 (減震機付)	置台 H=300	防雪ネット (吹出側)		保護網 (吸込側3面)	
										定格冷房	定格暖房											
PAC-A4-10	店舗・事務用エアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	14.0	16.0	3-200	4.92	4.78	0.186	3.08						○ (防振フレーム付)	○	○	
PAC-A4-10-1.2	店舗・事務用エアコン 室内機	壁掛形	3階	304	小講義室	2	7.1	8.0	1-200	-	-	0.048	-	1個/2台	○	○						
PAC-A4-11	店舗・事務用エアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	14.0	16.0	3-200	4.92	4.78	0.186	3.08						○ (防振フレーム付)	○	○	
PAC-A4-11-1.2	店舗・事務用エアコン 室内機	壁掛形	3階	305	小講義室	2	7.1	8.0	1-200	-	-	0.048	-	1個/2台	○	○						
PAC-A4-12	店舗・事務用エアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	14.0	16.0	3-200	4.92	4.78	0.186	3.08						○ (防振フレーム付)	○	○	
PAC-A4-12-1.2	店舗・事務用エアコン 室内機	壁掛形	3階	306	小講義室	2	7.1	8.0	1-200	-	-	0.048	-	1個/2台	○	○						
PAC-A4-13	店舗・事務用エアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	14.0	16.0	3-200	4.92	4.78	0.186	3.08						○ (防振フレーム付)	○	○	
PAC-A4-13-1.2	店舗・事務用エアコン 室内機	壁掛形	3階	307	小講義室	2	7.1	8.0	1-200	-	-	0.048	-	1個/2台	○	○						

■特記事項

- |                                       |                               |  |
|---------------------------------------|-------------------------------|--|
| 1) 冷房・暖房能力は標準条件時 (JIS B 8616) の能力を示す。 | 5) インバーター制御機器は、高調波対応を行うこと。    | 8) 防災センター (A0棟) の既設集中コントローラーに接続する。(別途電気設備工事)         |
| 2) 電源周波数は60Hzとする。                     | 冷房能力2.4kW以上の屋外機にアクティブフィルター設置。 | 9) ビル用マルチエアコンには、室内機1台ごとに1個 (2.4kW以下用) 増設バルブキット付属とする。 |
| 3) グリーン購入法適合品とする。                     | 6) 室外機間の電源渡りは、電気工事とする。        |  |
| 4) 機器は新冷媒対応品とする。                      | 7) 室外機はハイグレードモデルとする。          |  |

空調設備機器表 (撤去)

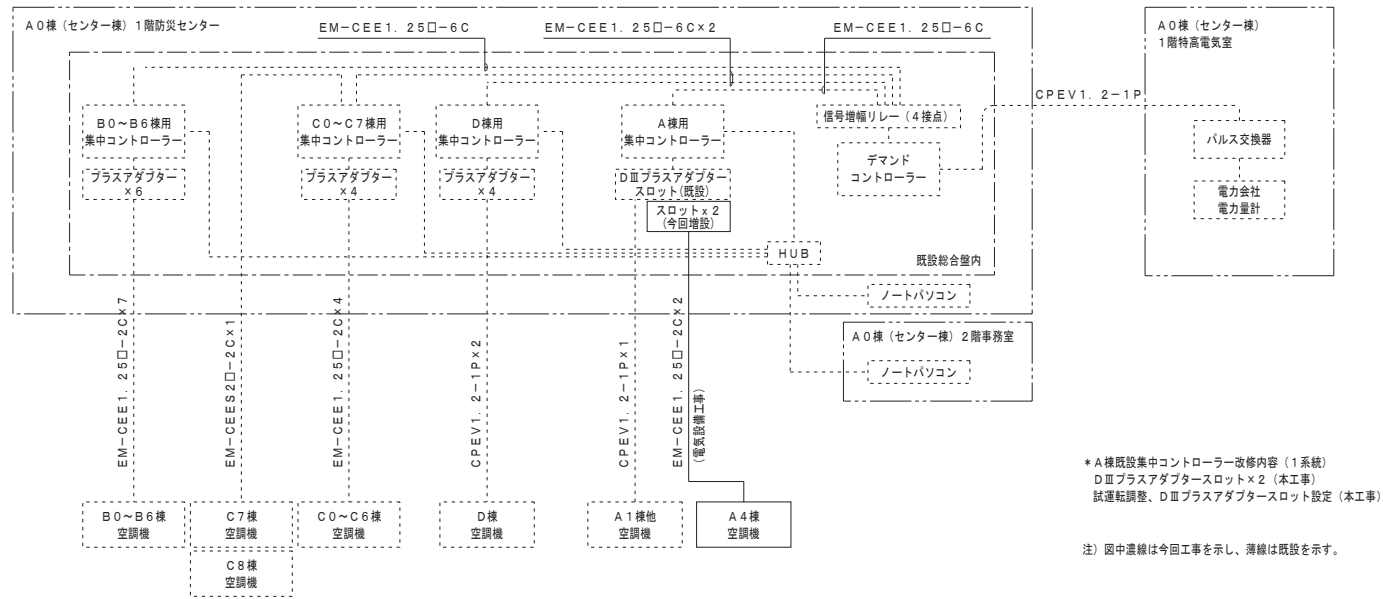
記号	名称 (系統名)	仕様	電源	電気容量 Kw	台数	設置場所	備考
ACP-A702	パッケージ形空調機 室内機 (A4棟)	形式 : 室内機 14.0Kw 冷房能力 : 12.5Kw 暖房能力 : 14.0Kw 附属品 : ワイヤードリモコン (1個/1台)	3φ200V		2	1F視聴覚室	既設冷媒管 撤去
ACP-A702	マルチパッケージ形空調機 室外機 (A4棟)	形式 : マルチ室外機 6HP 冷房能力 : 14.000Kcal/h 暖房能力 : 15.700Kcal/h 附属品 : 防振ゴム	3φ200V	3.9 (室外機圧縮機) 0.2 (室外機送風機)	2	1F室外機置場	RSXY6H (ダイキン) 既設冷媒管 撤去・残置

空調設備機器表 (再利用)

\* 下記空調和機は換気機器として再利用とする。  
\* 中央監視ポイントの削除を行うこと。(別途電気設備工事)

記号	名称 (系統名)	仕様	電源	電気容量 Kw	台数	設置場所	備考

空調集中制御及びデマンド制御システム構成図



\* A棟既設集中コントローラー改修内容 (1系統)  
DIIIプラスアダプター・スロットx2 (本工程)  
誤運転調整、DIIIプラスアダプター・スロット設定 (本工程)

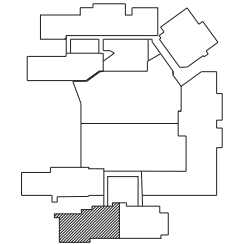
凡例

シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (漆管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井吊形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配機 (天井内コロガシ)	EM-CCE1.25 <sup>0</sup> -2C ※立下り部は一種金属製継ぎ (A型)内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	

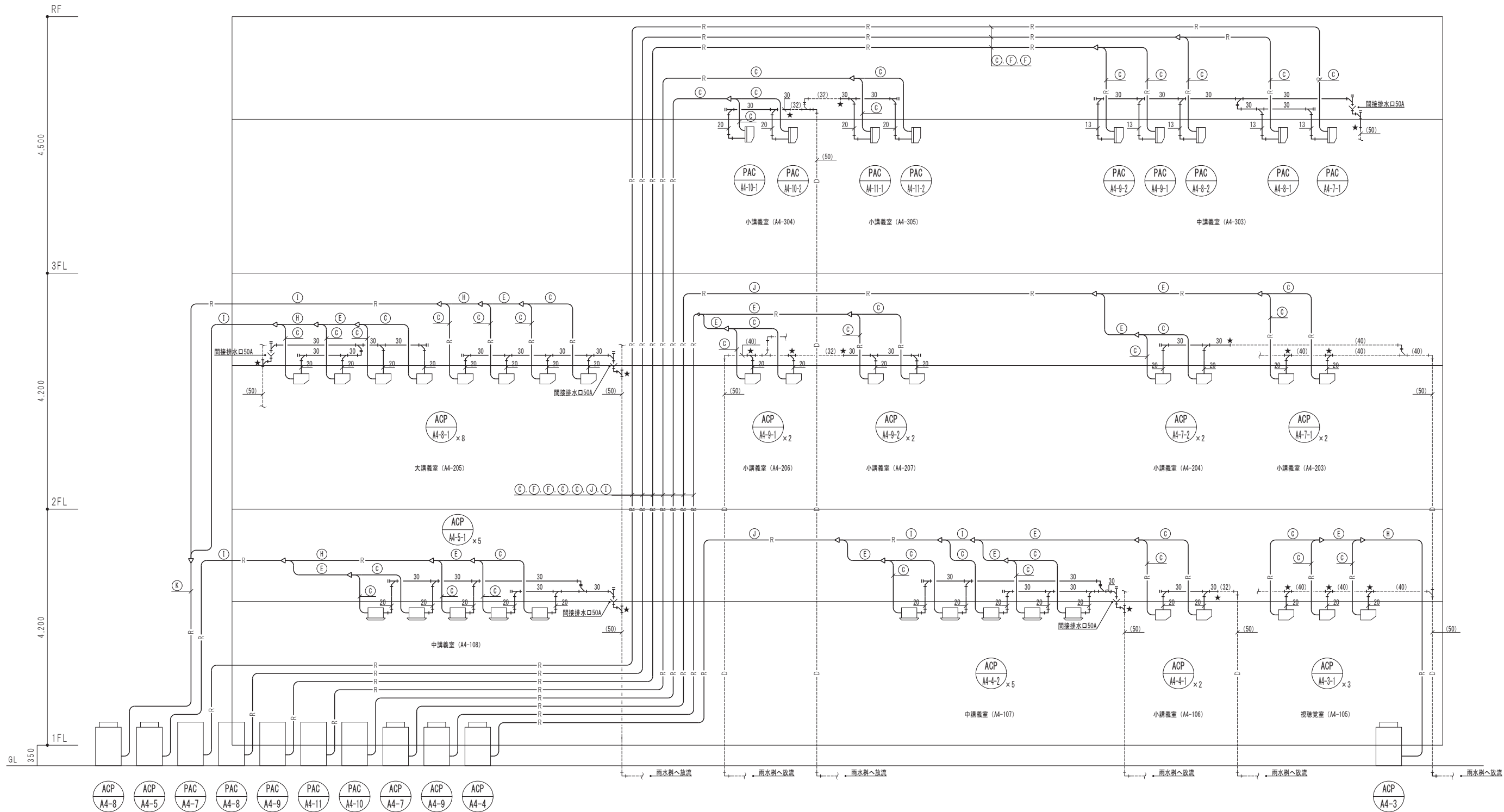
冷媒サイズリスト

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-CCE 1.25<sup>0</sup>-2C共巻、  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-CEZ 0<sup>0</sup>-3C共巻とする。



キープラン



系統図 A4棟 (西)



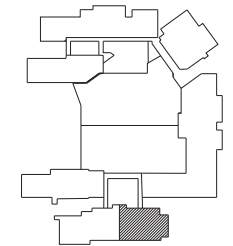
凡例

シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (漆管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井吊形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配機 (天井内コロン)	EM-CCE1.25 <sup>0</sup> -2C ※立下り部は一種金属製線び (A型)内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	

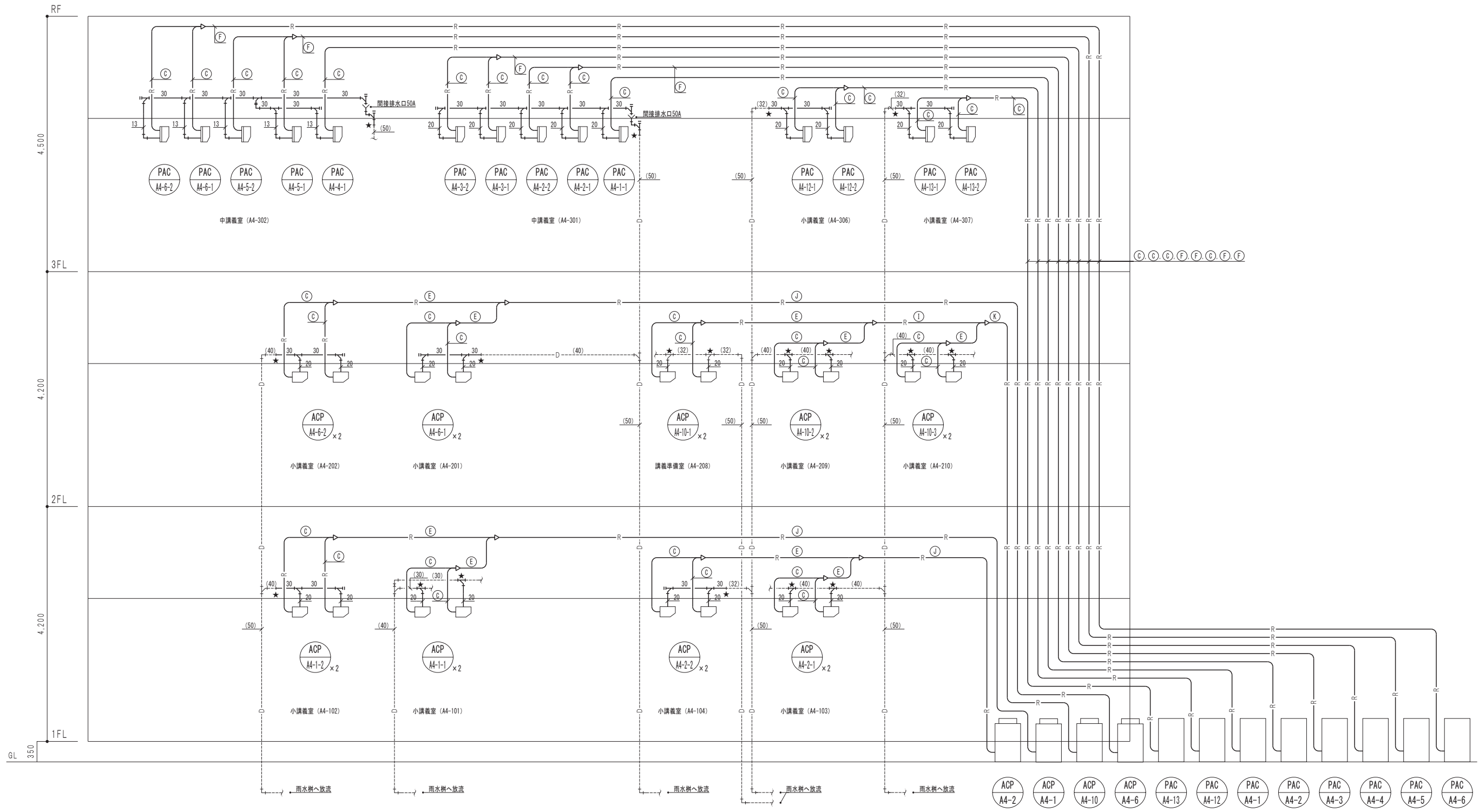
冷媒サイズリスト

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

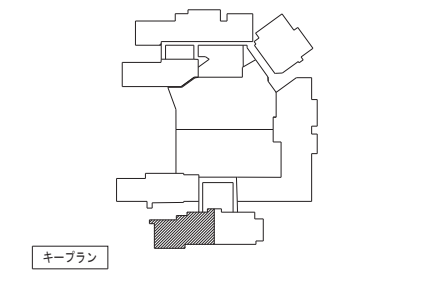
※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-CCE 1.25<sup>0</sup>-2C共巻、  
店舗・事務用エアコンの冷媒管には電源線EM-CE2.0<sup>0</sup>-3C共巻とする。



キープラン

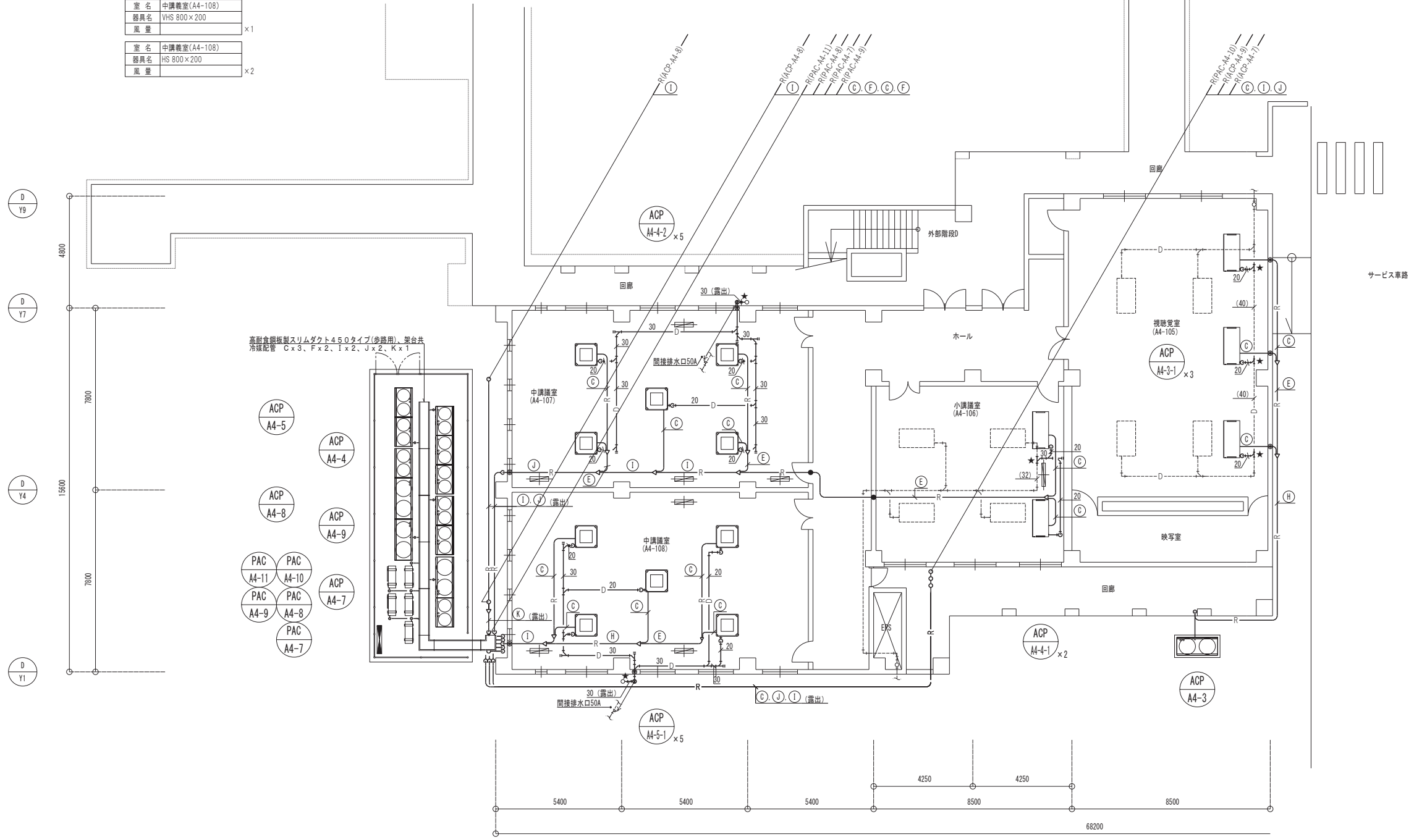
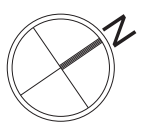


系統図 A4棟(東)



制気口リスト 取外し再取付

室名	小講義室(A4-106)	
器具名	HS 1000×150	x1
風量		
室名	中講義室(A4-107)	
器具名	VHS 800×200	x1
風量		
室名	中講義室(A4-107)	
器具名	HS 800×200	x3
風量		
室名	中講義室(A4-108)	
器具名	VHS 800×200	x1
風量		
室名	中講義室(A4-108)	
器具名	HS 800×200	x2
風量		



高耐食鋼板製スリムダクト450タイプ(歩路用) 受合共  
冷媒配管 Cx3, Fx2, Ix2, Jx2, Kx1

- ACP A4-5
- ACP A4-4
- ACP A4-8
- ACP A4-9
- PAC A4-11
- PAC A4-10
- PAC A4-9
- PAC A4-8
- PAC A4-7
- ACP A4-7

凡例	シンボル	名称	シンボル	名称	備考
		ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
		店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
		室内機天吊形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
		室内機天吊自在形		リモコン配線 (天井内コロガシ)	EM-OEE1 25-2C ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
		室内機壁掛形		既設管接続	
		既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
		空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	

冷媒サイズリスト

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

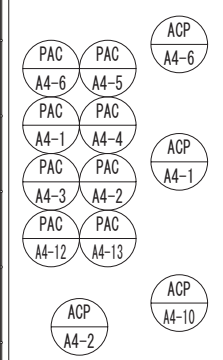
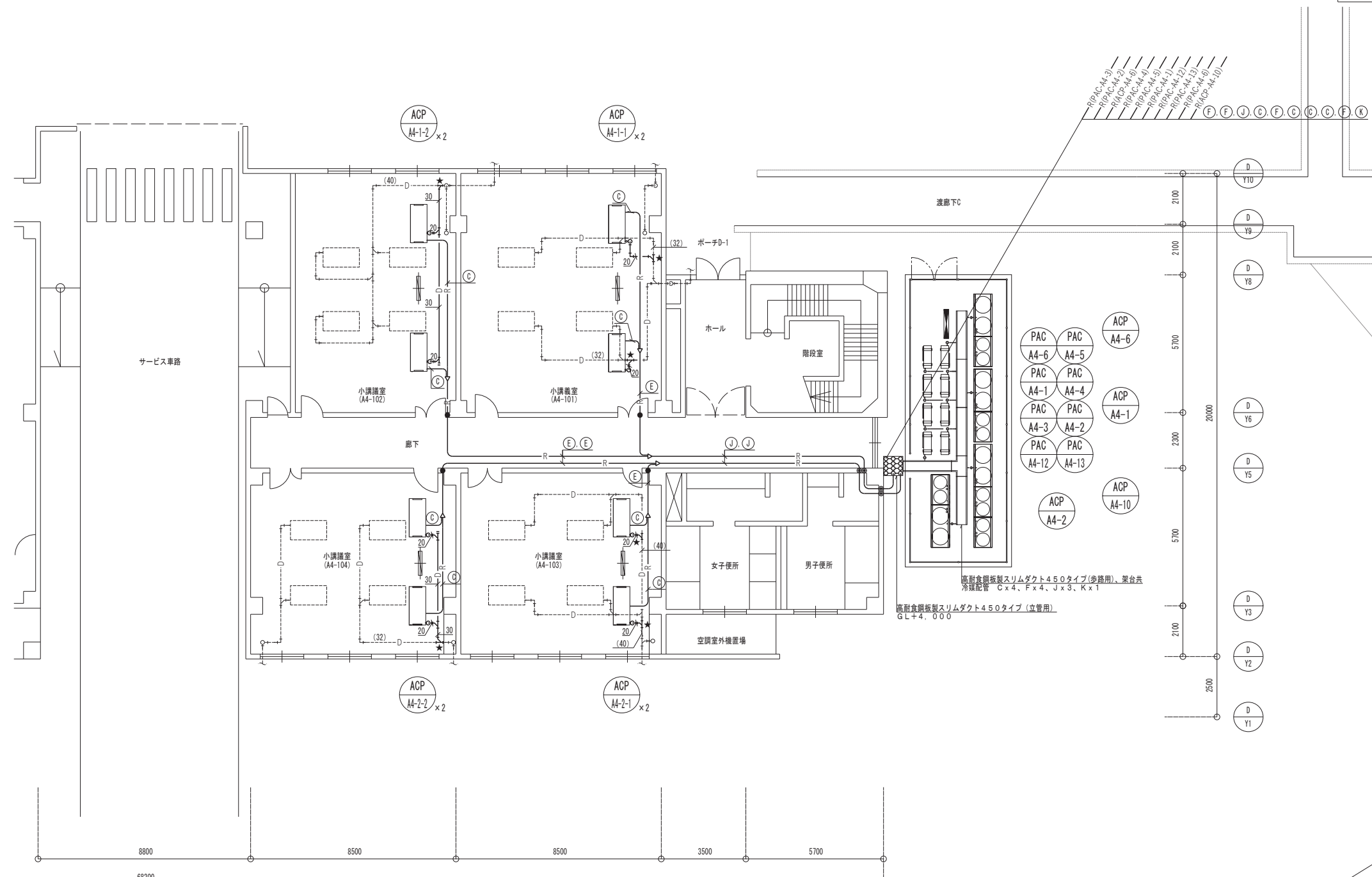
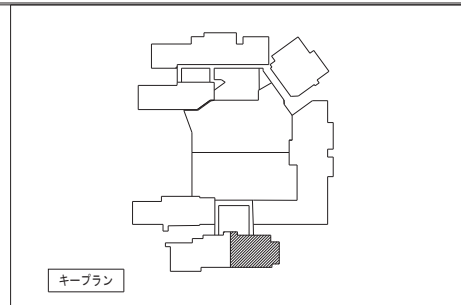
※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-OEE 1.25-2C共巻、  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-OEE 0-3C共巻とする。

共通講義棟 A4棟 ※特記なきは、天井内とする。



制気口リスト 取外し再取付

室名	小講義室(A4-101)	室名	小講義室(A4-103)
器具名	HS 1000×150	器具名	HS 1000×150
風量	×1	風量	×1
室名	小講義室(A4-102)	室名	小講義室(A4-104)
器具名	HS 1000×150	器具名	HS 1000×150
風量	×1	風量	×1



最新食糧板製スリムダクト450タイプ(歩路用)、渠台共  
冷媒配管 C×4、F×4、J×3、K×1

最新食糧板製スリムダクト450タイプ(立管用)  
GL+4.000

冷媒サイズリスト

記号	ガス管	液管
A	9.5φ	6.4φ
B	12.7φ	6.4φ
C	15.9φ	9.5φ
D	19.1φ	9.5φ
E	22.2φ	9.5φ
F	25.4φ	9.5φ
G	25.4φ	12.7φ
H	28.6φ	12.7φ
I	28.6φ	15.9φ
J	31.8φ	19.1φ
K	38.1φ	19.1φ

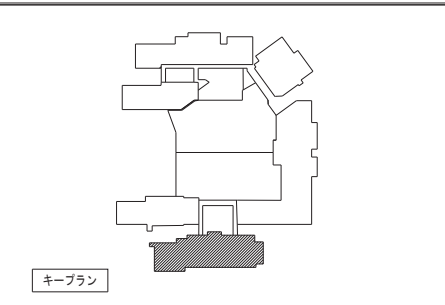
※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制鋼線EM-GEE 1.25-20共巻、  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-CE2.0-30共巻とする。

凡例

シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線 (天井内コログシ)	EM-GEE1.25-20 ※立下り部は一種金属製線び (A型)内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2箱用ボックス共)		はつり	

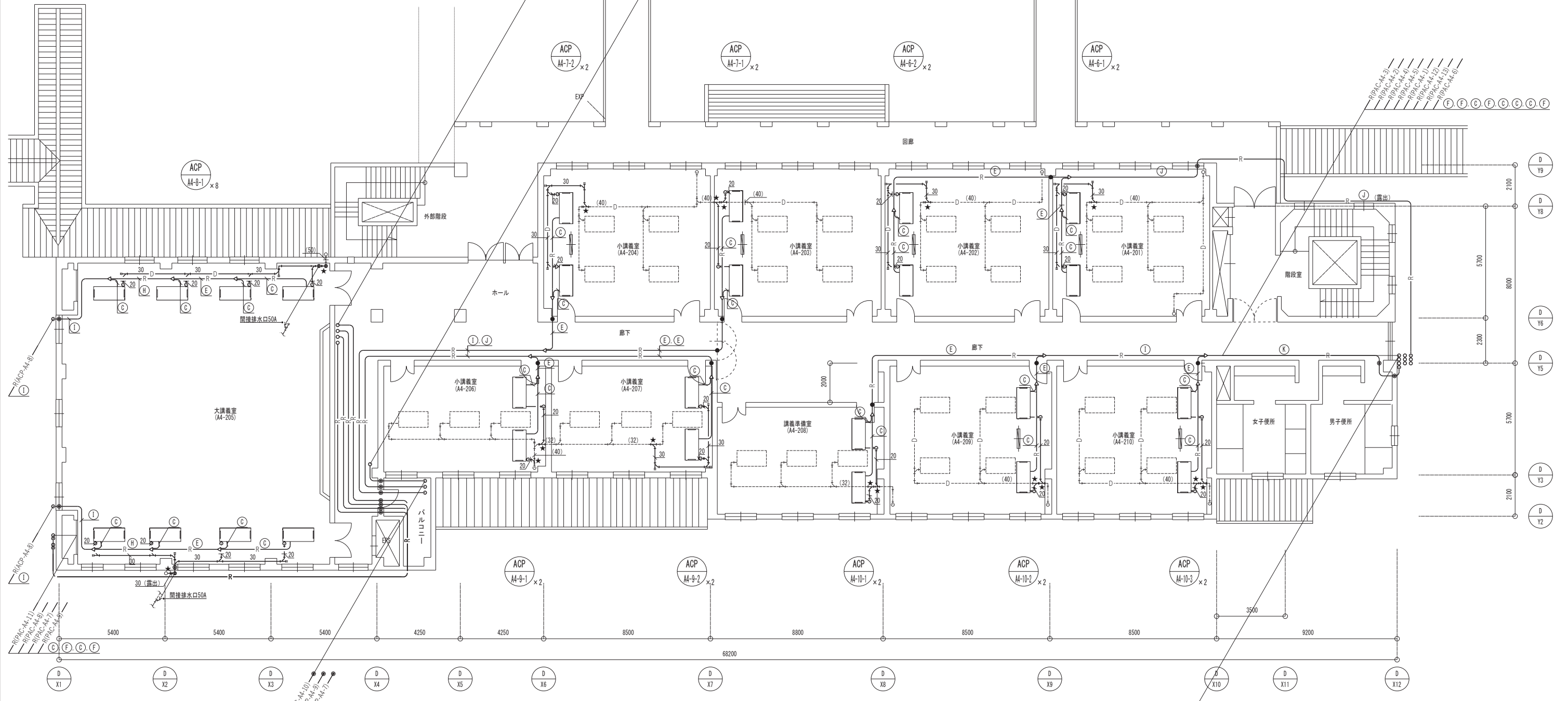
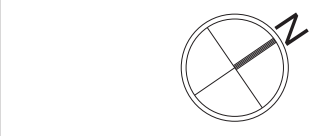
共通講義棟 A4棟

※特記なきは、天井内とする。



制気口リスト 取外し再取付

室名	小講義室(A4-201)	器具名	HS 1000×150	風量	x1
室名	小講義室(A4-202)	器具名	HS 1000×150	風量	x1
室名	小講義室(A4-203)	器具名	HS 1000×150	風量	x1
室名	小講義室(A4-204)	器具名	HS 1000×150	風量	x1
室名	小講義室(A4-209)	器具名	HS 1000×150	風量	x1
室名	小講義室(A4-210)	器具名	HS 1000×150	風量	x1



凡例

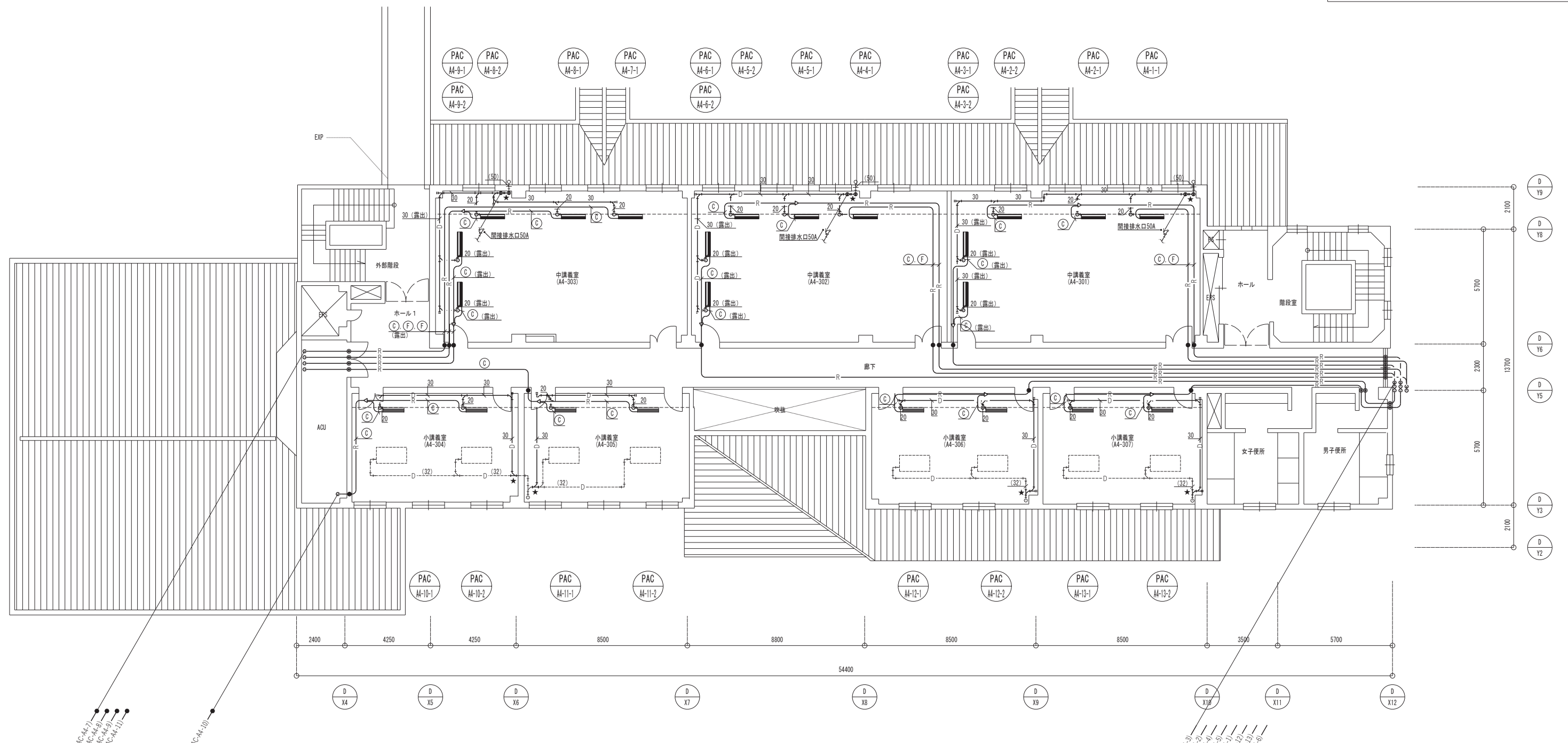
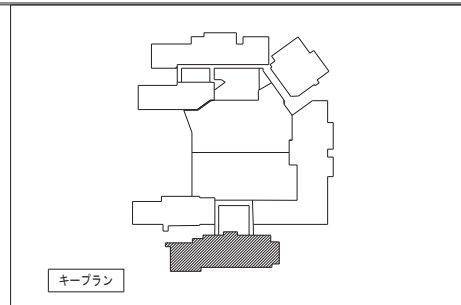
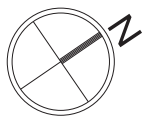
シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天吊形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天吊自在形		リモコン配線	EM-OEE1 25-2C ※立下り部は一種金属製線び (A型)内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	

冷媒サイズリスト

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-OEE 1.25-2C共巻。  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-CE2.0-3C共巻とする。

共通講義棟 A4棟 ※特記なきは、天井内とする。

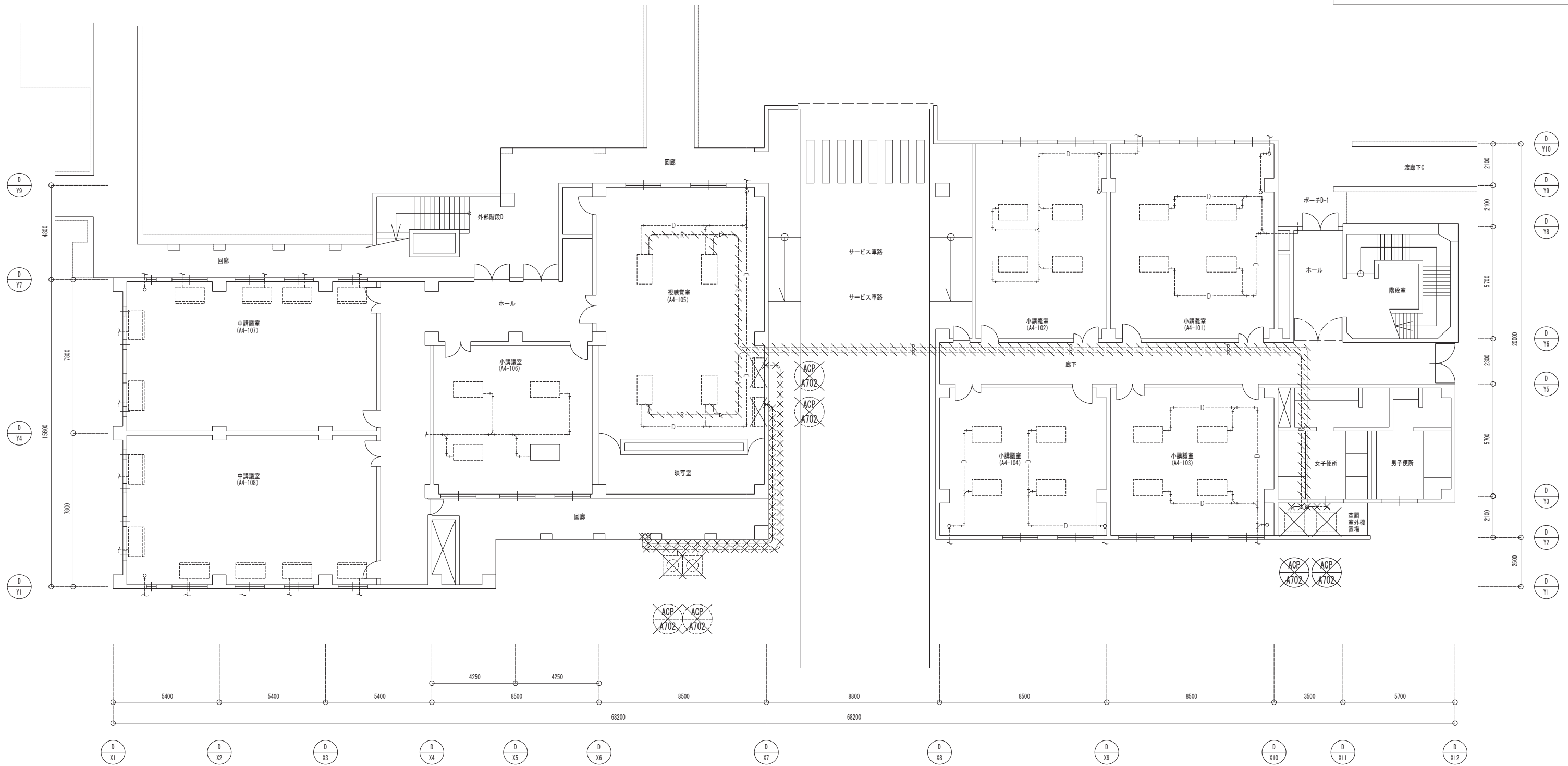
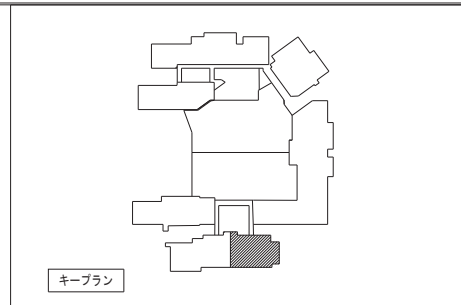


シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線	EM-CEE1 25-2C ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-CEE 1.25-2C共巻、  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-CEE2.0-3C共巻とする。

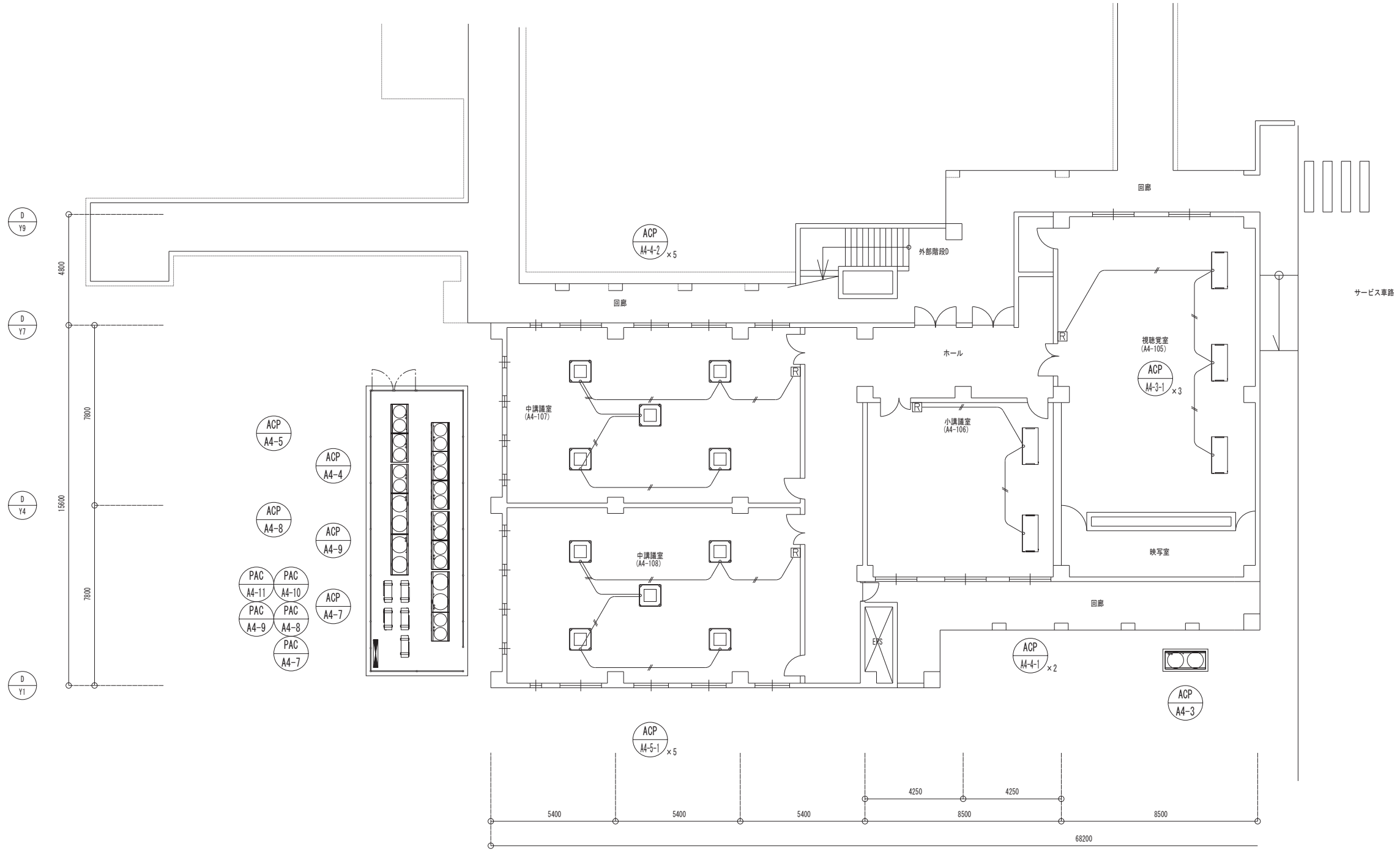
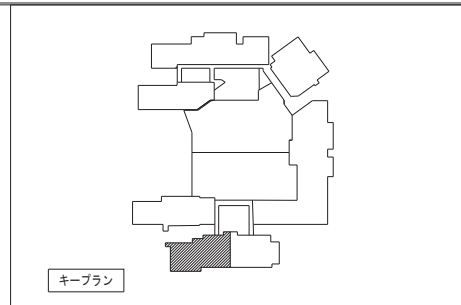
共通講義棟 A4棟 ※特記なきは、天井内とする。



共通講義棟 A4棟

令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課	株式会社 総合設備コンサルタント	工事名称 滋賀県立大学 A3・A4 棟空調設備改修工事	図面番号 M29
			図面名称 空調設備 共通講義棟 A4 棟 1階平面図 (撤去)	資料日 2023年3月

※ ---: 設置を示す。  
---: 撤去を示す。

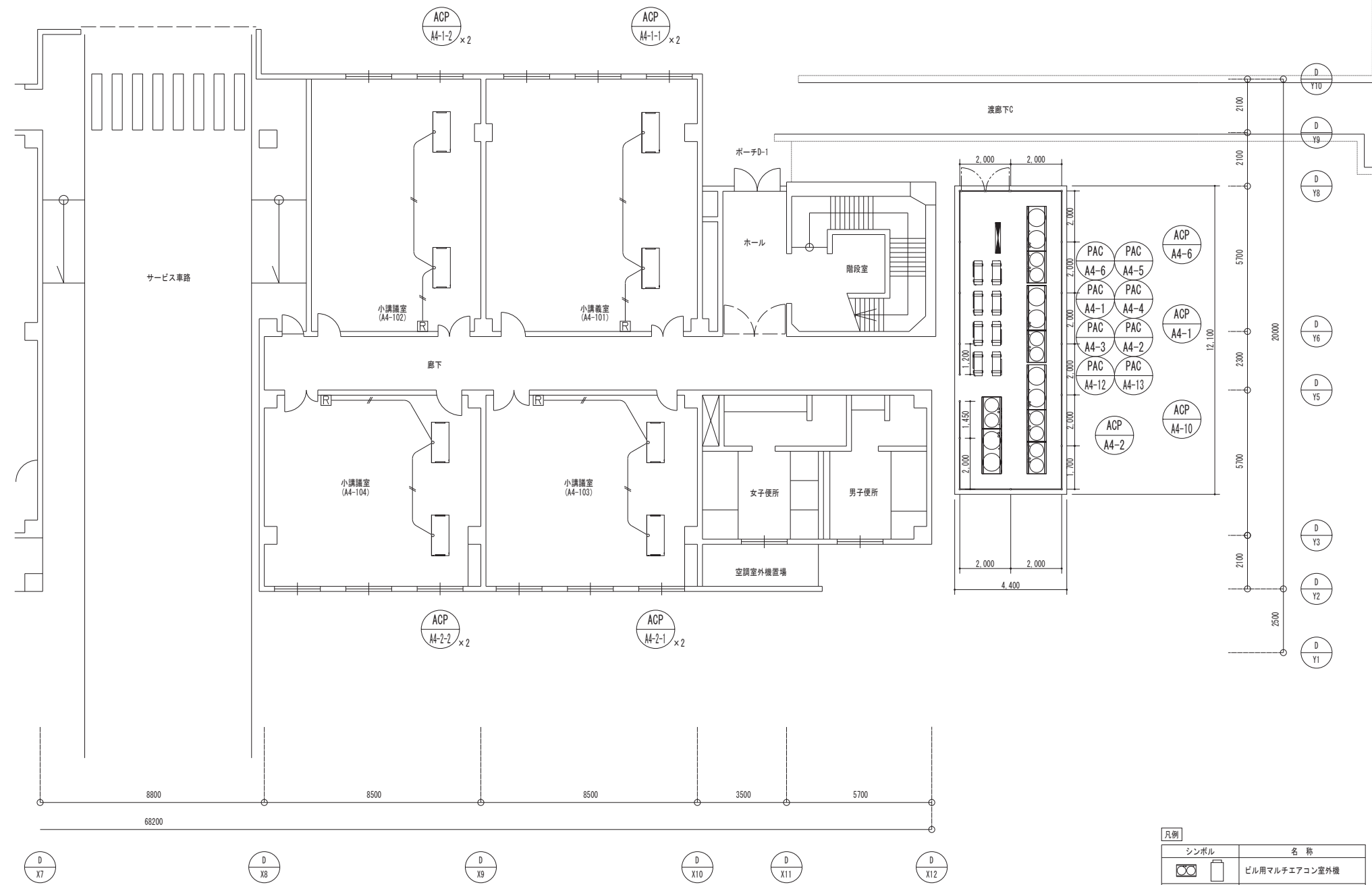
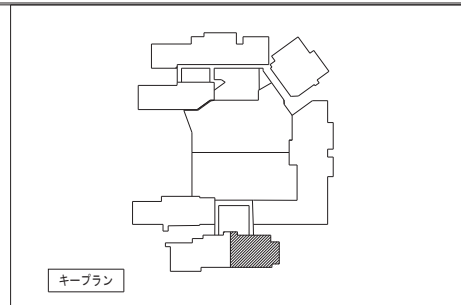


凡例	シンボル	名称	シンボル	名称	備考
		ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
		店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
		室内機天井形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
		室内機天井自在形		リモコン配線 (天井内コログジ)	EM-OEE1 25-2C ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
		室内機壁掛形		既設管接続	
		既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
		空調リモコン (2用ボックス共)		はつり	

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-OEE 1.25-2C共巻、店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-OEE 2.0-3C共巻とする。

共通講義棟 A4棟 ※特記なきは、天井内とする。



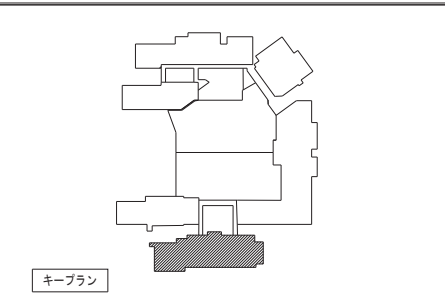
記号	ガス管	液管
A	9.5φ	6.4φ
B	12.7φ	6.4φ
C	15.9φ	9.5φ
D	19.1φ	9.5φ
E	22.2φ	9.5φ
F	25.4φ	9.5φ
G	25.4φ	12.7φ
H	28.6φ	12.7φ
I	28.6φ	15.9φ
J	31.8φ	19.1φ
K	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-GEE 1.25-20共巻、店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-CE2.0-30共巻とする。

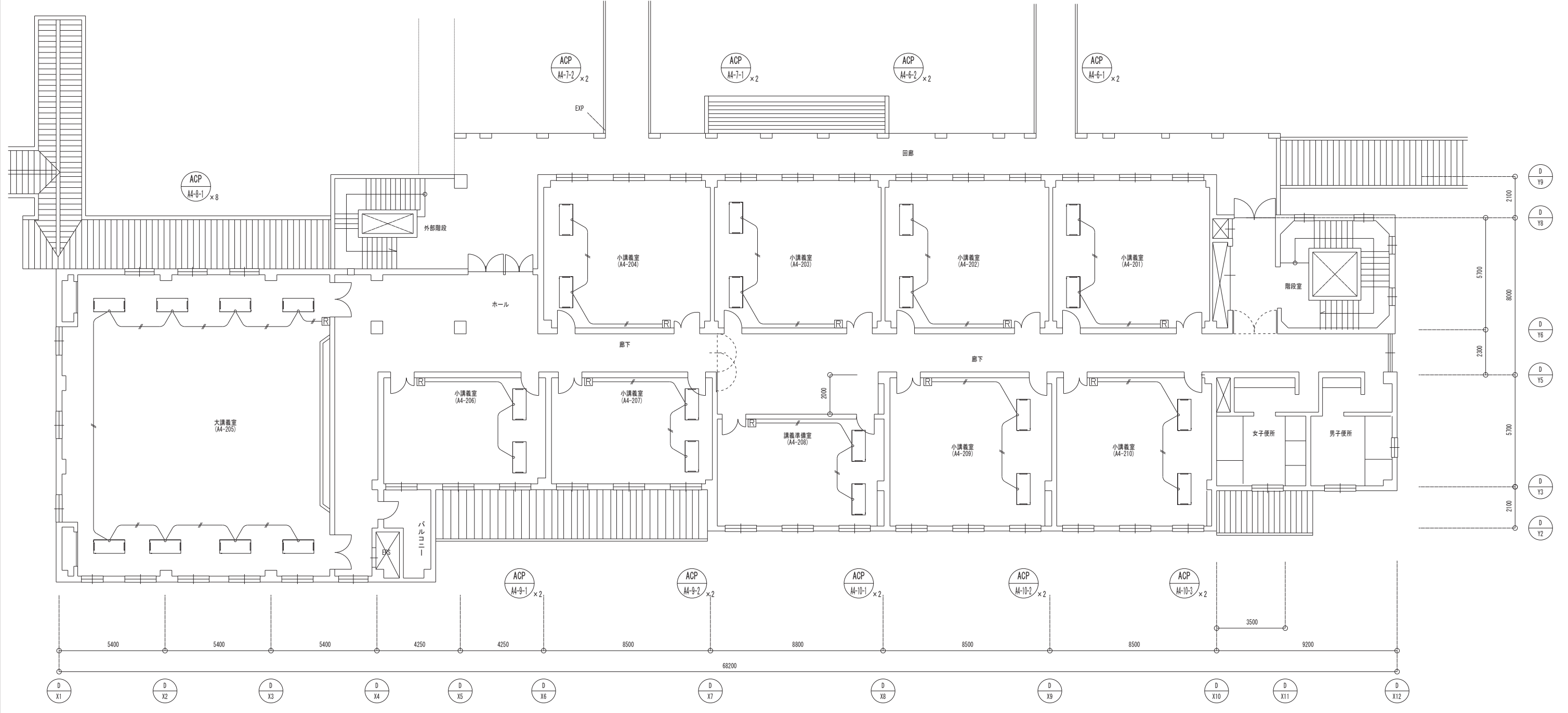
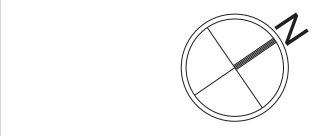
共通講義棟 A4棟 ※特記なきは、天井内とする。

シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井吊形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線 (天井内コログシ)	EM-GEE1.25-20 ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	





キープラン

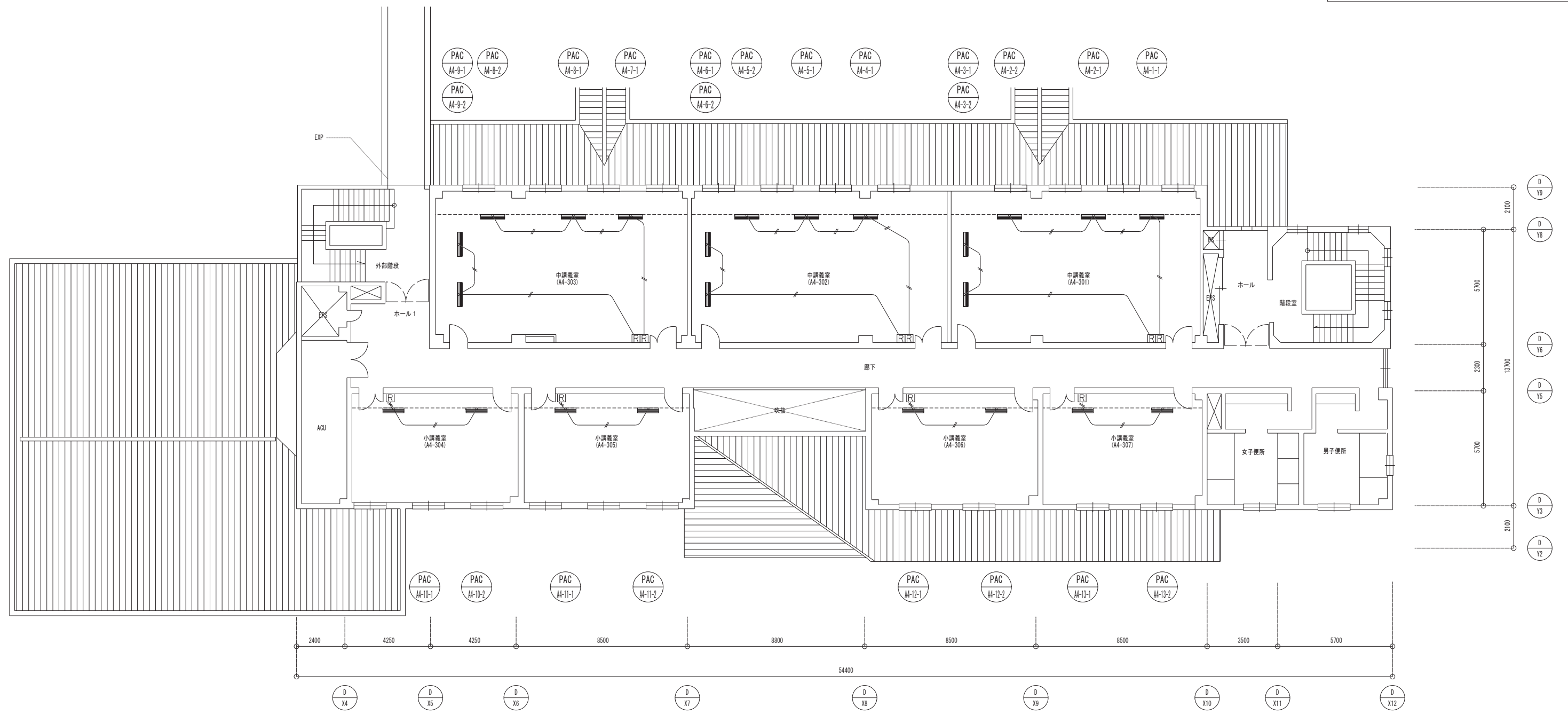
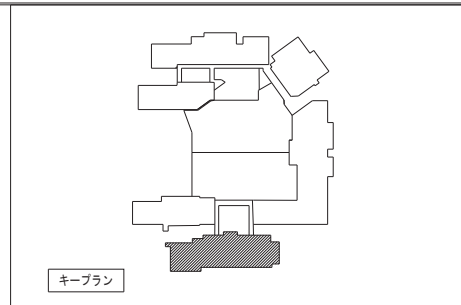


シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線	EM-OEE1 25-2C ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	

記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-OEE 1.25-2C巻、店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-OEE 0-3C巻とする。

共通講義棟 A4棟 ※特記なきは、天井内とする。

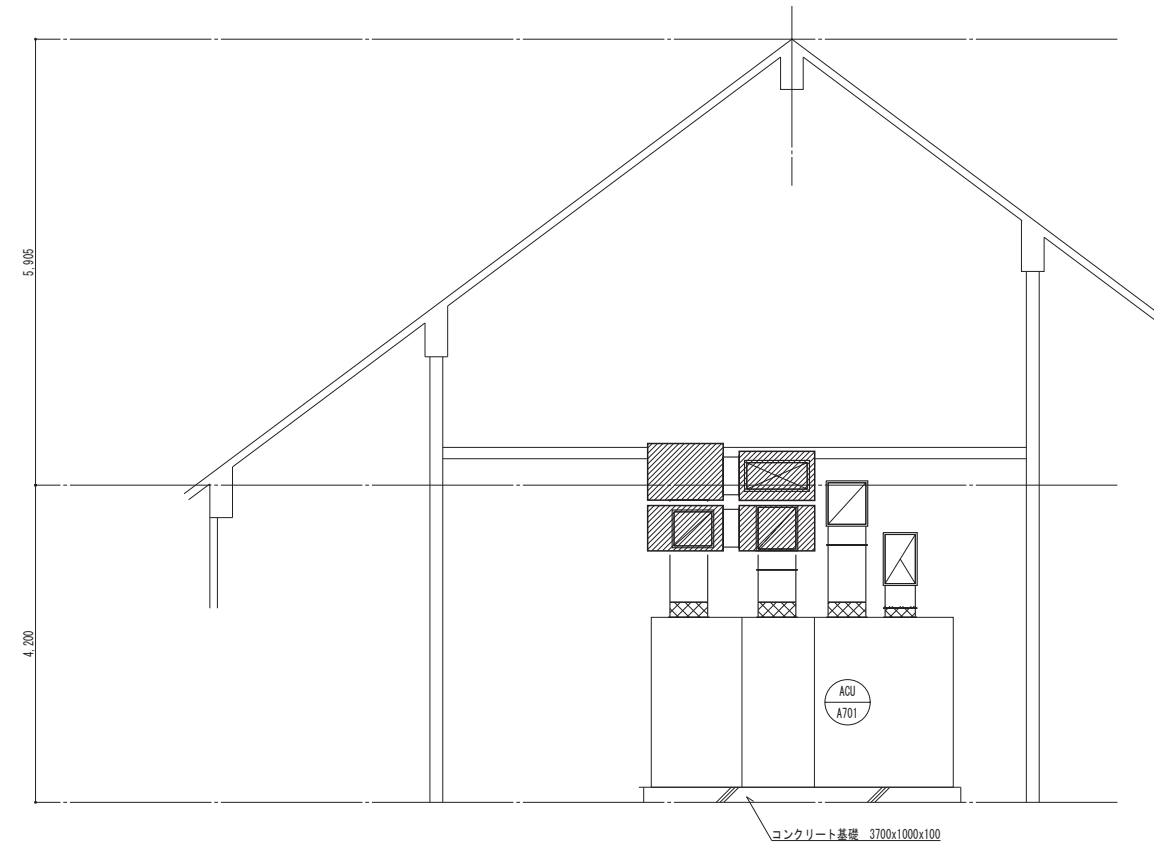


シンボル	名称	シンボル	名称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天井形		既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天井自在形		リモコン配線	EM-OEE1 25-2C ※立下り部は一種金属製線び (A型) 内配線とする。
	室内機壁掛形		既設管接続	
	既設ファンコイルユニット		区画貫通処理	
	空調リモコン (2個用ボックス共)		はつり	

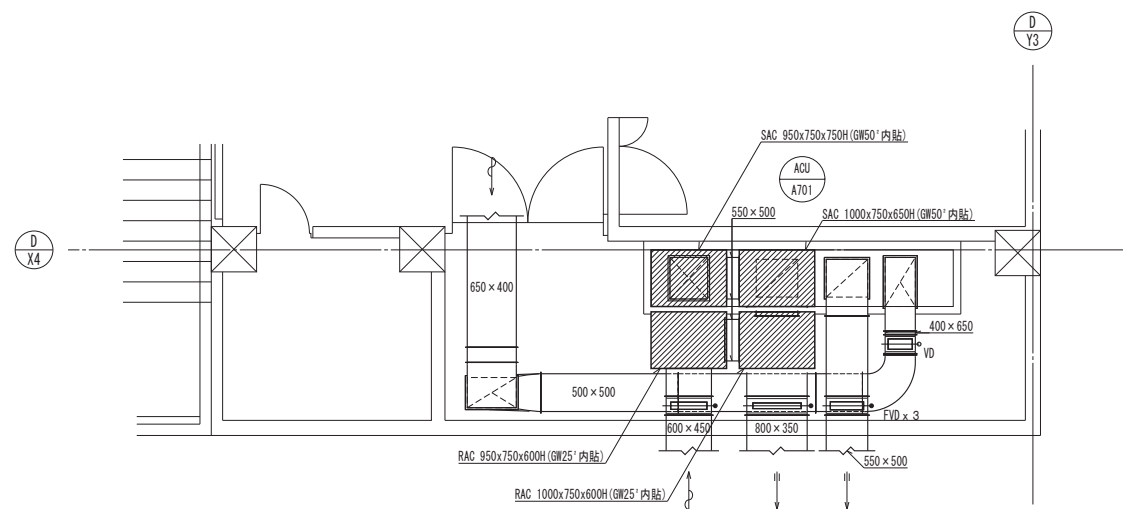
記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
(B)	12.7φ	6.4φ
(C)	15.9φ	9.5φ
(D)	19.1φ	9.5φ
(E)	22.2φ	9.5φ
(F)	25.4φ	9.5φ
(G)	25.4φ	12.7φ
(H)	28.6φ	12.7φ
(I)	28.6φ	15.9φ
(J)	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1φ

※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-OEE 1.25-2C巻、  
店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-OEE 2.0-3C巻とする。

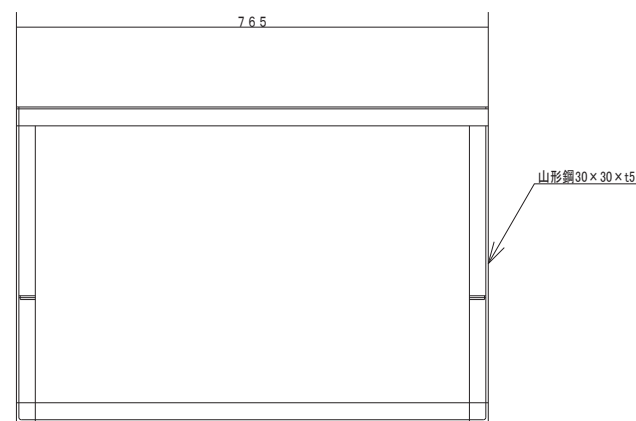
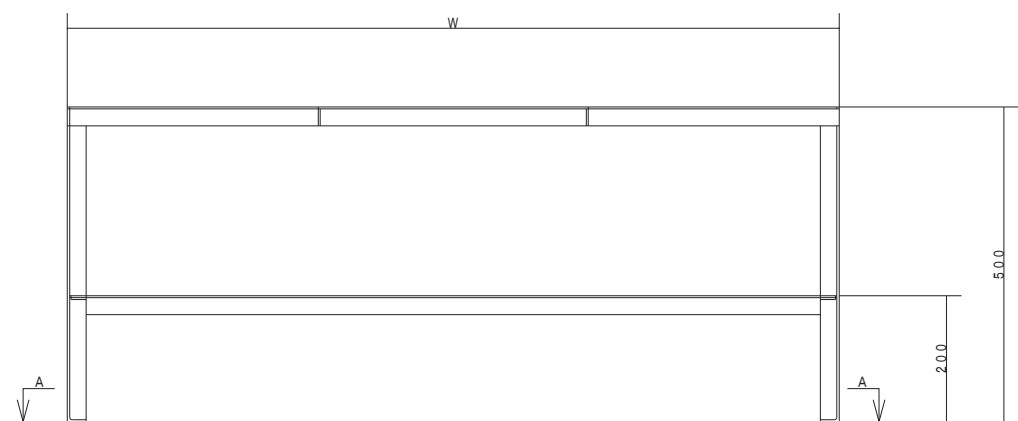
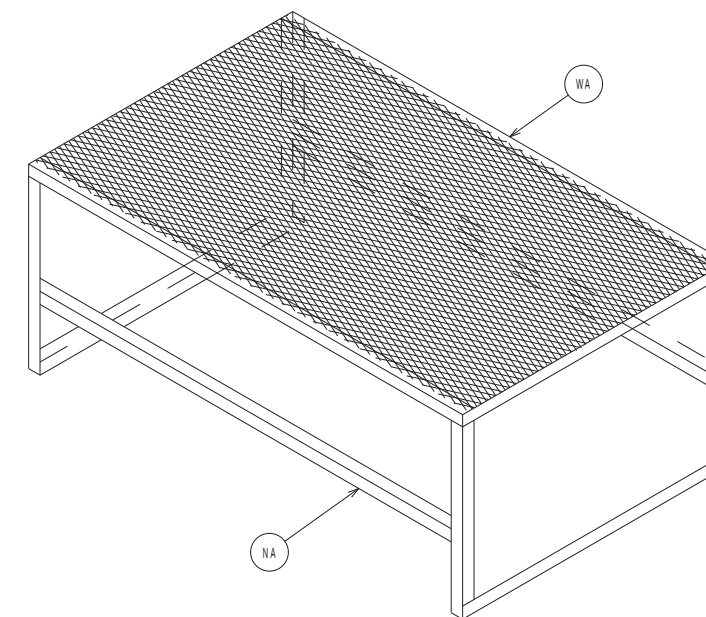
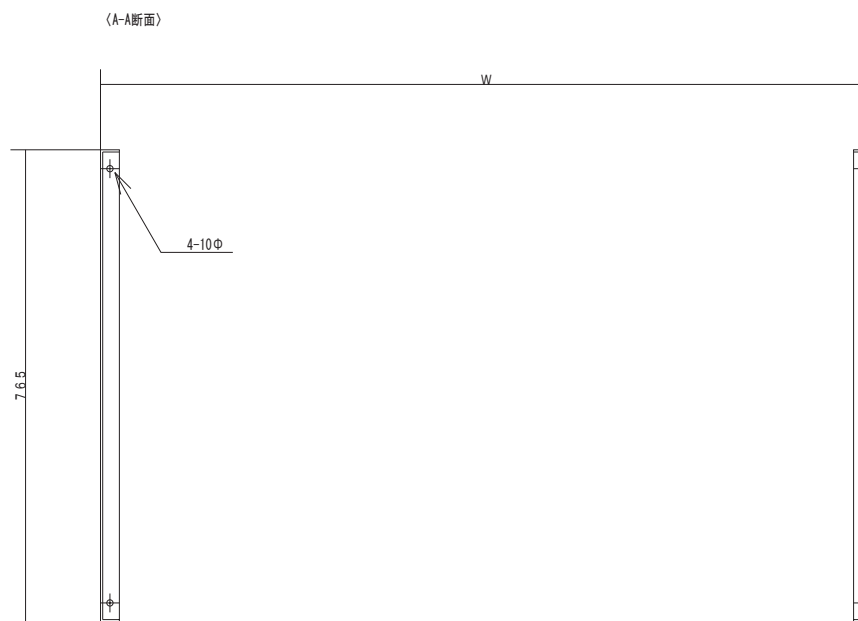
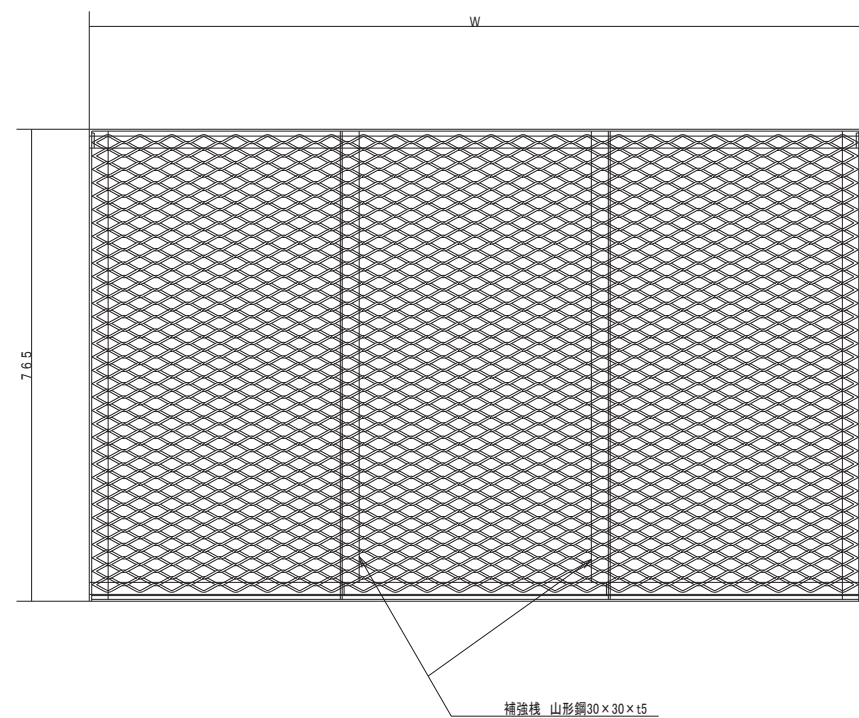
共通講義棟 A4棟 ※特記なきは、天井内とする。



3階空調機械室 断面詳細図 (A4棟) 1:100



3階空調機械室 平面詳細図 (A4棟) 1:100



	W
P 224・280・335形	1240
P 400・450形	1750

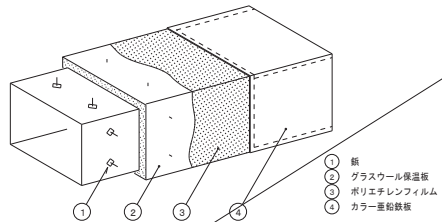
SYM	部品名称	仕様	材質	個数
NA	鋼製枠	山形鋼30 x 30 x t 5	SS400	1
WA	エキスパンドメタルXS42種	XS-42	SS400	1

保温施工標準図 No. 1

部位	給水・排水(通気) 空調ドレン管	給湯・温水(膨張管含む)・蒸気・冷水・冷温水	保温材の厚さ	防火区画貫通箇所施工要領																																																																																																																																																																																																																							
天井・床下・床内	<table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温層</td><td>JIS A 9504</td><td>40K以上</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td></td></tr> <tr><td>3 合成樹脂製カバー</td><td></td><td>厚さ 0.3mm以上</td></tr> </table> <p>※ 原紙+アルミガラスクロスに替えアルミガラス化粧紙を使用できる ※ 天井、P/S内の場合原紙を省略し、7&amp;8'の200kg以上が3層保温層+7&amp;8'の200kg以上が粘着テープ(幅50mm)とする。</p>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温層	JIS A 9504	40K以上	2 鉄線	JIS G 3547		3 合成樹脂製カバー		厚さ 0.3mm以上	<table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温層</td><td>JIS A 9504</td><td>40K以上</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td></td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 合成樹脂製カバー</td><td></td><td>厚さ 0.3mm以上</td></tr> </table> <p>※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する。</p>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温層	JIS A 9504	40K以上	2 鉄線	JIS G 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 合成樹脂製カバー		厚さ 0.3mm以上	<p>単位: mm</p> <table border="1"> <tr><th>呼び径</th><th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th><th>150</th><th>200</th><th>250</th><th>300</th><th>参考使用区分</th></tr> <tr><th rowspan="2">I</th><td>R</td><td colspan="4">20</td><td colspan="4">25</td><td colspan="4">40</td><td>ロックウール</td><td rowspan="2">温水管 給湯管</td></tr> <tr><td>G</td><td colspan="4">20</td><td colspan="4">25</td><td colspan="4">40</td><td>グラスウール</td></tr> <tr><th rowspan="2">II</th><td>R</td><td>20</td><td colspan="3">30</td><td colspan="3">40</td><td colspan="4">ロックウール</td><td rowspan="2">蒸気管</td></tr> <tr><td>G</td><td>20</td><td colspan="3">30</td><td colspan="3">40</td><td colspan="4">グラスウール</td></tr> <tr><th rowspan="3">III</th><td>R</td><td>30</td><td colspan="3">40</td><td colspan="3">50</td><td colspan="4">ロックウール</td><td rowspan="2">冷温水管</td></tr> <tr><td>G</td><td>30</td><td colspan="3">40</td><td colspan="3">50</td><td colspan="4">グラスウール</td></tr> <tr><td>P</td><td>30</td><td colspan="3">40</td><td colspan="3">50</td><td colspan="4">ポリスチレンフォーム</td></tr> <tr><th rowspan="2">VII</th><td>R</td><td colspan="2">20</td><td colspan="2">25</td><td colspan="2">40</td><td colspan="4">ロックウール</td><td rowspan="2">給水管</td></tr> <tr><td>G</td><td colspan="2">20</td><td colspan="2">25</td><td colspan="2">40</td><td colspan="4">グラスウール</td></tr> <tr><th rowspan="2">IX</th><td>R</td><td colspan="2">20</td><td colspan="2">25</td><td colspan="2">40</td><td colspan="4">ポリスチレンフォーム</td><td rowspan="2">排水管</td></tr> <tr><td>P</td><td colspan="2">20</td><td colspan="2">25</td><td colspan="2">40</td><td colspan="4">グラスウール</td></tr> <tr><th rowspan="2">X</th><td>R</td><td colspan="4">25</td><td colspan="4">機器、排気管、煙道、内貼</td></tr> <tr><td>G</td><td colspan="4">50</td></tr> <tr><th rowspan="2">XI</th><td>R</td><td colspan="4">75</td><td colspan="4">一般ダクト</td></tr> <tr><td>G</td><td colspan="4">150</td></tr> </table> <p>※ 機械室・倉庫・倉庫・床下・一般居室・地下・屋外露出・多湿箇所等 詳細は標準仕様書による。 なお、高圧(0.1MP以上)の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温は、特記による。</p> <p><b>共通事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ポリスチレンフォーム保温層は、1本(1m)につき2箇所以上粘着テープ2回巻きとする。</li> <li>テープ巻きその他の重なり幅は、原則として、テープ状の場合は15mm以上(ポリエチレンフィルムの場合は1/2重なり以上)、その他の場合は30mm以上とする。</li> <li>テープ巻きは、配管の下より上向きに巻き上げる。アルミガラスクロス巻き等で、ずれおそれのある場合には、粘着テープ等を用いず止めを行う。</li> <li>合成樹脂製カバーの取付は、直管の合わせ幅は25mm以上とし、合わせ目を両面テープで貼り合わせた後、150mm以下のピッチで、合成樹脂製カバー用ピンで押さえる。</li> <li>屋内露出配管の保温見切り部分には巻取を行う。</li> <li>保温層取り付けの鉄線巻きは1本(1m)につき2箇所2回巻きとする。</li> <li>鉄線巻きの際にはシールを行う。</li> <li>グラスウール保温層、保温板の使用困難な箇所は、保温帯または波形保温板を使用してもよい。</li> <li>グラスウール保温層、保温板の使用困難な箇所は、ロックウール保温帯、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯又は波形保温板を使用してもよい。</li> <li>屋内露出の配管及びダクトの床貫通部は、その保温材保護のため、床面より少なくとも高さ150mmまでステンレス鋼板で保護する。</li> <li>通気管の保温は排水径より100mmのみ保温を行う。</li> </ol>	呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	参考使用区分	I	R	20				25				40				ロックウール	温水管 給湯管	G	20				25				40				グラスウール	II	R	20	30			40			ロックウール				蒸気管	G	20	30			40			グラスウール				III	R	30	40			50			ロックウール				冷温水管	G	30	40			50			グラスウール				P	30	40			50			ポリスチレンフォーム				VII	R	20		25		40		ロックウール				給水管	G	20		25		40		グラスウール				IX	R	20		25		40		ポリスチレンフォーム				排水管	P	20		25		40		グラスウール				X	R	25				機器、排気管、煙道、内貼				G	50				XI	R	75				一般ダクト				G	150				<p><b>防火区画貫通箇所施工要領</b></p> <p>(給水管) 1. 鋼管の場合 ※ 管径に関係なく通常の保温工事でよい。 ※ 区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う。</p> <p>2. VPの場合 【最上層4層まで 1時間耐火】 ※ 125mm以上は鋼管または大臣認定の耐火二層管を使用する。 ※ 100mmには0.5t巻鉛鉄板を前後1m巻きこと。 ・保温は保温材がポリスチレンフォーム保温層の場合ロックウール保温帯25を鉄線にて取り付ける。 ・区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う。 ・鉄板は区画貫通箇所を通して、前後1m管材の上に巻きその上に保温を行う。 ※ 75mm以下は鉄板巻き不要である。 ・保温材はポリスチレンフォーム保温層でよい、ただし貫通箇所はロックウール保温帯又はモルタル詰めを行う。 【5層〜最上層14層まで 2時間耐火】 ※ 上記1時間耐火の管径より1ランク下げた管径を代入する。</p> <p>(ダクト) ロックウール保温層 ロックウール又はモルタル ダンパー グラスウール保温層</p> <p>【冷水・冷温水管】 ロックウール又はモルタル グラスウール保温層 VP管75A以下は鋼管と同じ貫通部分にポリスチレンフォーム保温帯又はグラスウール保温層を使用してはならない。</p>
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																									
1 グラスウール保温層	JIS A 9504	40K以上																																																																																																																																																																																																																									
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																										
3 合成樹脂製カバー		厚さ 0.3mm以上																																																																																																																																																																																																																									
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																									
1 グラスウール保温層	JIS A 9504	40K以上																																																																																																																																																																																																																									
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																										
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																									
4 合成樹脂製カバー		厚さ 0.3mm以上																																																																																																																																																																																																																									
呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	参考使用区分																																																																																																																																																																																																												
I	R	20				25				40				ロックウール	温水管 給湯管																																																																																																																																																																																																												
	G	20				25				40				グラスウール																																																																																																																																																																																																													
II	R	20	30			40			ロックウール				蒸気管																																																																																																																																																																																																														
	G	20	30			40			グラスウール																																																																																																																																																																																																																		
III	R	30	40			50			ロックウール				冷温水管																																																																																																																																																																																																														
	G	30	40			50			グラスウール																																																																																																																																																																																																																		
	P	30	40			50			ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																		
VII	R	20		25		40		ロックウール				給水管																																																																																																																																																																																																															
	G	20		25		40		グラスウール																																																																																																																																																																																																																			
IX	R	20		25		40		ポリスチレンフォーム				排水管																																																																																																																																																																																																															
	P	20		25		40		グラスウール																																																																																																																																																																																																																			
X	R	25				機器、排気管、煙道、内貼																																																																																																																																																																																																																					
	G	50																																																																																																																																																																																																																									
XI	R	75				一般ダクト																																																																																																																																																																																																																					
	G	150																																																																																																																																																																																																																									
床下・床内	<table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 ポリスチレンフォーム保温層</td><td>JIS A 9511</td><td>3号</td></tr> <tr><td>2 粘着テープ</td><td>JIS Z 1525</td><td>厚さ 0.2mm</td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 着色アルミガラスクロス</td><td></td><td>黒色</td></tr> </table> <p>※ 共同溝の保温の種別は特記による。 ※ 排水管、空調ドレン管で暗室内(ピット内を含む)、最下階の床下配管及び耐火二層管は保温を行わない。</p>	材料名	規格	備考	1 ポリスチレンフォーム保温層	JIS A 9511	3号	2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 着色アルミガラスクロス		黒色	<table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温層</td><td>JIS A 9504</td><td>40K</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td>線径 0.6mm</td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 着色アルミガラスクロス</td><td>JIS R 3414 EPI8A</td><td>1m 370g以上</td></tr> </table> <p>※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する。 ※ 原紙+アルミガラスクロスに替えアルミガラス化粧紙を使用できる ※ 天井、P/S内の場合原紙を省略する。 ※ 給湯、温水、蒸気配管の天井、P/S内はアルミガラス化粧グラスウール保温層+アルミガラスクロス粘着テープとする。 ※ 冷水管はポリスチレンフォーム保温層とする。</p>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温層	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS G 3547	線径 0.6mm	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 着色アルミガラスクロス	JIS R 3414 EPI8A	1m 370g以上	<p><b>冷水・冷温水管の配管支持具</b></p> <p>① 断熱支持具 ② グラスウール保温層 ③ バンド</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)</th></tr> <tr><th>寸法</th><th>単位: mm</th></tr> <tr><td>15A~25A</td><td>20 50</td></tr> <tr><td>32A~150A</td><td>30 50</td></tr> <tr><td>200A</td><td>30 100</td></tr> <tr><td>250A~300A</td><td>40 100</td></tr> </table> <p>※ 台型断熱材の厚さはハンガー型と同じとする。 ※ 台型の場合は縁高品(既製品+10mm)を使用する。 ※ ハンガー型は蝶巻式又は提灯式を使用する。</p>	断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)		寸法	単位: mm	15A~25A	20 50	32A~150A	30 50	200A	30 100	250A~300A	40 100	<p><b>弁フランジなどの保温</b></p> <p>※ 給湯、温水、蒸気配管で室内及び暗室内の伸縮継手、防護継手、フレキシブルジョイント、弁及びフランジは保温を行わない。 ※ 蒸気、温水配管で室内及び暗室内の各種配管の配管は保温を行わない、ただし火傷の可能性がある場合は火傷防止を考慮する。 ※ 屋外は金網の下にポリエチレンフィルムを巻く。 ※ 給水、給湯、冷水、冷温水用の露出配管で、保温を行う65A以上の弁、ストレーナー等はビスなどにより容易に脱着できる金属製カバーによる外装を施す。 (屋外はステンレス鋼板、屋内はカラー巻鉛鉄板)</p>																																																																																																																																																																													
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																									
1 ポリスチレンフォーム保温層	JIS A 9511	3号																																																																																																																																																																																																																									
2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm																																																																																																																																																																																																																									
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																									
4 着色アルミガラスクロス		黒色																																																																																																																																																																																																																									
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																									
1 グラスウール保温層	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																									
2 鉄線	JIS G 3547	線径 0.6mm																																																																																																																																																																																																																									
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																									
4 着色アルミガラスクロス	JIS R 3414 EPI8A	1m 370g以上																																																																																																																																																																																																																									
断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)																																																																																																																																																																																																																											
寸法	単位: mm																																																																																																																																																																																																																										
15A~25A	20 50																																																																																																																																																																																																																										
32A~150A	30 50																																																																																																																																																																																																																										
200A	30 100																																																																																																																																																																																																																										
250A~300A	40 100																																																																																																																																																																																																																										
屋外露出	<table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 ポリスチレンフォーム保温層</td><td>JIS A 9511</td><td>3号</td></tr> <tr><td>2 粘着テープ</td><td>JIS Z 1525</td><td>厚さ 0.2mm以上</td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 ステンレス鋼板</td><td>JIS G 4305</td><td></td></tr> </table> <p>※ 厨房、浴室等の多湿箇所はステンレス鋼板とする。 ※ 排水管、空調ドレン管で屋外露出及び耐火二層管は保温を行わない。</p>	材料名	規格	備考	1 ポリスチレンフォーム保温層	JIS A 9511	3号	2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm以上	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 ステンレス鋼板	JIS G 4305		<table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 グラスウール保温層</td><td>JIS A 9504</td><td>40K</td></tr> <tr><td>2 鉄線</td><td>JIS G 3547</td><td></td></tr> <tr><td>3 ポリエチレンフィルム</td><td>JIS Z 1702</td><td>厚さ 0.05mm</td></tr> <tr><td>4 ステンレス鋼板</td><td>JIS G 4305</td><td></td></tr> </table> <p>※ 天井内、P/S内、空腔壁内、床下は断熱材被覆鋼管(保温厚10mm)のみとする。</p>	材料名	規格	備考	1 グラスウール保温層	JIS A 9504	40K	2 鉄線	JIS G 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 ステンレス鋼板	JIS G 4305		<p><b>冷媒配管(露出配管)</b></p> <table border="1"> <tr><th>材料名</th><th>規格</th><th>備考</th></tr> <tr><td>1 ステンレス鋼板</td><td>JIS G 4305</td><td>色指定: 屋内 ニュークリーム 屋外 ニューシルバー</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※ 天井内、P/S内、空腔壁内、床下は断熱材被覆鋼管(保温厚10mm)のみとする。</p>	材料名	規格	備考	1 ステンレス鋼板	JIS G 4305	色指定: 屋内 ニュークリーム 屋外 ニューシルバー	2			3			4			<p><b>配管行先表示板</b></p> <p>パイプシャフト表示板 点検口表示板</p> <table border="1"> <tr><th>管種</th><th>色</th><th>管種</th><th>色</th></tr> <tr><td>給水管</td><td>青</td><td>温水管</td><td>緑</td></tr> <tr><td>排水管</td><td>赤</td><td>冷温水管</td><td>青</td></tr> <tr><td>排水立管</td><td>赤</td><td>配気管</td><td>黄</td></tr> <tr><td>排湯立管</td><td>赤</td><td>冷卻水管</td><td>灰</td></tr> <tr><td>通気管</td><td>赤</td><td>配湯管</td><td>緑</td></tr> <tr><td>消火管</td><td>赤</td><td>油管</td><td>黄</td></tr> <tr><td>ガス管</td><td>赤</td><td>空気管</td><td>白</td></tr> <tr><td>冷水管</td><td>青</td><td>給湯管</td><td>赤</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>冷媒管</td><td>緑</td></tr> </table> <p>※ 表示板の材質は塩化ビニル樹脂製とする。 ※ 屋内外露出の配管表示部分には、縦書きの場合は下部、横書きの場合は左側に色別バンドを取り付ける。</p>	管種	色	管種	色	給水管	青	温水管	緑	排水管	赤	冷温水管	青	排水立管	赤	配気管	黄	排湯立管	赤	冷卻水管	灰	通気管	赤	配湯管	緑	消火管	赤	油管	黄	ガス管	赤	空気管	白	冷水管	青	給湯管	赤			冷媒管	緑																																																																																																																																		
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																									
1 ポリスチレンフォーム保温層	JIS A 9511	3号																																																																																																																																																																																																																									
2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm以上																																																																																																																																																																																																																									
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																									
4 ステンレス鋼板	JIS G 4305																																																																																																																																																																																																																										
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																									
1 グラスウール保温層	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																									
2 鉄線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																										
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																									
4 ステンレス鋼板	JIS G 4305																																																																																																																																																																																																																										
材料名	規格	備考																																																																																																																																																																																																																									
1 ステンレス鋼板	JIS G 4305	色指定: 屋内 ニュークリーム 屋外 ニューシルバー																																																																																																																																																																																																																									
2																																																																																																																																																																																																																											
3																																																																																																																																																																																																																											
4																																																																																																																																																																																																																											
管種	色	管種	色																																																																																																																																																																																																																								
給水管	青	温水管	緑																																																																																																																																																																																																																								
排水管	赤	冷温水管	青																																																																																																																																																																																																																								
排水立管	赤	配気管	黄																																																																																																																																																																																																																								
排湯立管	赤	冷卻水管	灰																																																																																																																																																																																																																								
通気管	赤	配湯管	緑																																																																																																																																																																																																																								
消火管	赤	油管	黄																																																																																																																																																																																																																								
ガス管	赤	空気管	白																																																																																																																																																																																																																								
冷水管	青	給湯管	赤																																																																																																																																																																																																																								
		冷媒管	緑																																																																																																																																																																																																																								

※ 特記以外はこの施工標準図による。  
 ※ 設計図書に明記の無い場合は疑いが生じた場合は監督員と協議する。  
 ※ 現場の収まり、取り合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合は監督員と協議する。  
 ※ 詳細は国土交通省機械設備工事標準仕様書及び同施工要領指針に基づく。

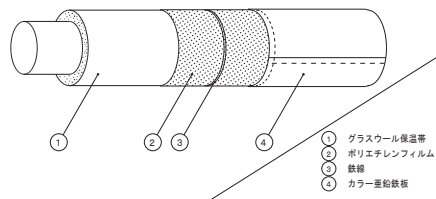
長方形ダクト： 屋内露出（一般居室、廊下）、屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む）、浴室・厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）



材料名	規格	備考
1 銅		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
4 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35mm

※ 屋外露出、厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に換いえる。  
 ※ 屋内露出（一般居室、廊下）はポリエチレンフィルムを省略する。  
 ※ 保温厚さ：50mm  
 ※ ダクトのフランジ部（挿げ込み）は、厚さ25mmの保温材の重ね巻きを行う。ダクトの保温厚さをフランジ高さ+10mm以上とする。

スパイラルダクト： 屋内露出（一般居室、廊下） 屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む）浴室・厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）



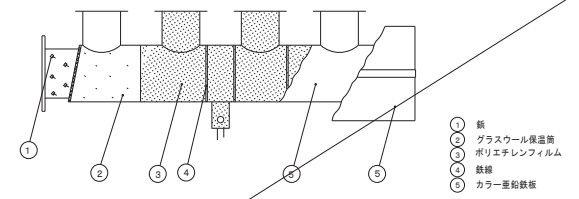
材料名	規格	備考
1 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
2 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
3 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	線径 1.2mm以上
4 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t

※ 屋外露出、厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に換いえる。  
 ※ 屋内露出（一般居室、廊下）はポリエチレンフィルムを省略する。  
 ※ 保温厚さ：50mm  
 ※ グラスウール保温板の使用困難な箇所は、発泡保温板を使用してもよい。

ボイラー及び温風暖房機、冷凍機、吸収式温水機、コージェネレーション装置蓄熱ユニット

製造者の標準仕様とする。

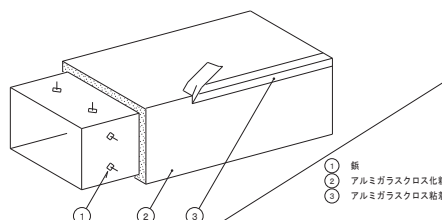
ヘッダー



材料名	規格	備考
1 銅		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	線径 1.2mm以上
4 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	厚さ 0.05mm
5 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t

※ 厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に換いえる。  
 ※ 湯気ヘッダー、蒸気ヘッダーはポリエチレンフィルムを除く。  
 ※ 保温厚さ：50mm  
 ※ グラスウール保温板の使用困難な箇所は、保温材又は発泡保温板を使用してもよい。

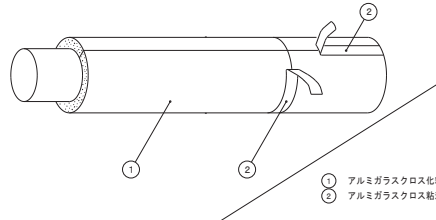
長方形ダクト： 機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内、厨房の天井内



材料名	規格	備考
1 銅		
2 アルミガラスクロス化粧グラスウール保温板	JIS A 9504 40K+0.02厚7818' 5375t	
3 アルミガラスクロス化粧テープ 目隠り		

※ 保温厚さ：25mm  
 ※ ダクトのフランジ部（挿げ込み）は、厚さ25mmの保温材の重ね巻きを行う。ダクトの保温厚さをフランジ高さ+10mm以上とする。

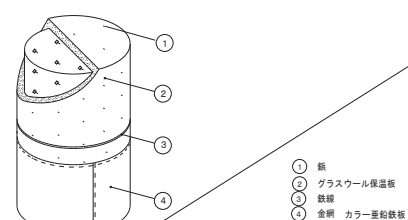
スパイラルダクト： 機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内、厨房の天井内



材料名	規格	備考
1 アルミガラスクロス化粧グラスウール保温板	JIS A 9504	
2 アルミガラスクロス化粧テープ		

※ 保温厚さ：25mm  
 ※ アルミガラスクロス化粧グラスウール保温板の使用困難な箇所は、アルミガラスクロス化粧グラスウール発泡保温板としてもよい。

熱交換器、温水タンク、温水タンク、膨張タンク、貯湯タンク

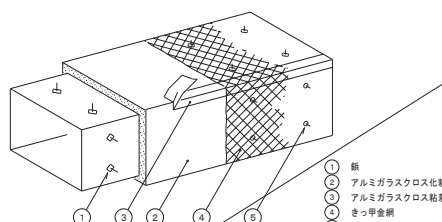


材料名	規格	備考
1 銅		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40k	
3 鉄線	JIS G 3547	線径 1.2mm以上
4 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t

※ 保温厚さ：熱交換器、温水タンク、温水タンクは、50mm  
 膨張タンク、貯湯タンクは、25mm

※ 露出配管にて、火傷すると思われる範囲は保護を行う。

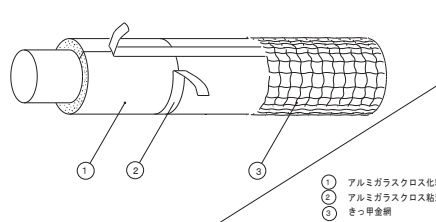
長方形ダクト： 排煙ダクト



材料名	規格	備考
1 銅		
2 アルミガラスクロス化粧ロックウール保温板	JIS A 9504 1号 2号 +0.02厚7818' 5375t	
3 アルミガラスクロス化粧テープ 目隠り		
4 きっ甲金網	JIS G 3554 線径0.4mm 16mm目	
5 亜鉛		

※ 保温厚さは、一般ダクトの区分に準ずる。

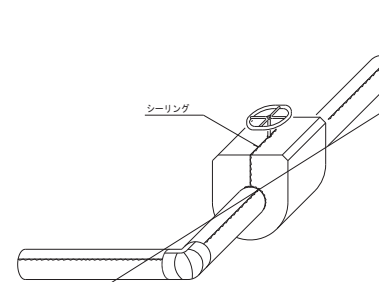
スパイラルダクト： 排煙ダクト、排気筒



材料名	規格	備考
1 アルミガラスクロス化粧ロックウール保温板	JIS A 9504 1号 2号 +0.02厚7818' 5375t	
2 アルミガラスクロス化粧テープ		
3 きっ甲金網	JIS G 3554 線径0.4mm 16mm目	
4 亜鉛		

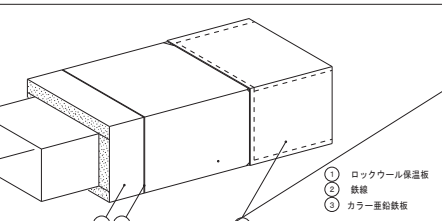
※ 保温厚さは、一般ダクトの区分に準ずる。

シーリングの要領（継手）



※ 膠材、合わせ目、支持金物の切り込み部シーリングを行う。  
 ※ シーリング材：クロロプレンゴム系 又は シリコン系

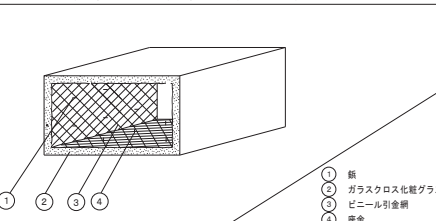
煙道、煙突



材料名	規格	備考
1 ロックウール保温板	JIS A 9504 1号 2号	
2 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	線径 1.2mm以上
3 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t
4 亜鉛		

※ 保温厚さ：75mm  
 ※ ロックウール保温板をロックウールブランケットとしてもよい。  
 ※ 天井内はカラー亜鉛鉄板を省略できる。その場合、きっ甲金網で補填する。  
 ※ 保温止め用鉄線及びカラー亜鉛鉄板止め鋼材は必要に応じて取り付ける。

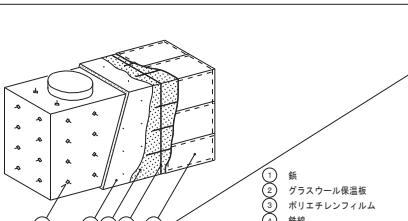
消音内張 サブライチャンパー、消音チャンパー、消音エルボ、ボックス、ブリーズライン



材料名	規格	備考
1 銅		
2 ガラスクロス化粧グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	ピッチ 200
3 ビニール被覆きっ甲金網	JIS G 3554 線径 0.5mm 16mm目	
4 亜鉛		

※ 保温厚：サブライチャンパー50mm 他は25mm  
 ※ 消音チャンパー、消音エルボ、ボックス、ブリーズラインはビニール引金網を省略できる。  
 ※ サブライチャンパーにてアルミバンダージメタールを使用する場合は特記による。

冷水タンク、冷水タンク、鋼板製タンク



材料名	規格	備考
1 銅		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
4 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	線径 1.2mm以上
5 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35t

※ 丸タンクの場合はグラスウール保温板をロックウール保温板（金網にて補強）に換いえる。  
 ※ 保温厚さ：50mm  
 ※ 衛生設備、鋼板製タンクのみの保温は行わない。（鋼板カバーのみ施工する）  
 ※ グラスウール保温板の使用困難な箇所は、保温材又は発泡保温板を使用してもよい。



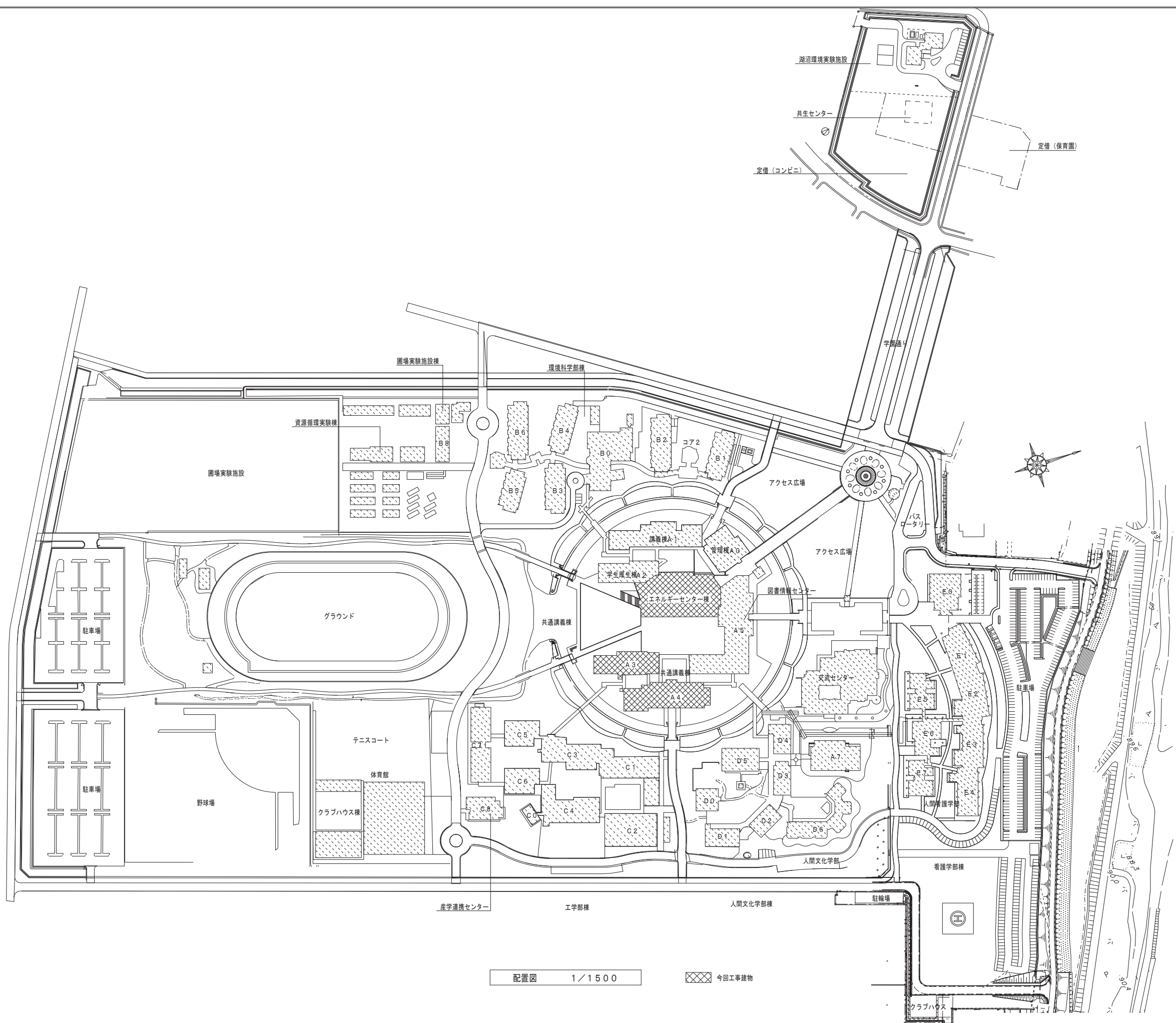
電気設備工事特記仕様書 2				種目	適用	項目	特記事項	種目	適用	項目	特記事項	種目	適用	項目	特記事項																																																												
種目	適用	項目	特記事項																																																																								
① 高低圧引込設備	○	工事範囲及び説明	既設動力饋電盤より、新設動力変圧器盤に至るまでとする。	⑪ 自動火災報知設備	○	工事範囲及び説明	既設感知器の取外し再取付（移設含む）及び移設に伴う配線工事を行う。																																																																				
		電気方式	3相 3線式 6600V			○	施工方法									天井内配線																																																											
		施工方法	配管配線			○	使用電線									EM-1E HIV HP EM-AE																																																											
		使用電線	6kV EM-CE 6kV EM-DET 600V EM-CE 600V EM-DET OE DV			○	機器仕様																																																																				
		負担金	要 不要																																																																								
		その他	架空引込の場合は太陽光に対する耐光性を考慮し、電線種別/工事方法を決定すること。																																																																								
		○	工事範囲及び説明			既設受変電設備改修及び新設動力変圧器盤・開閉器盤取付完了までとする。	⑫ ガス漏れ警報設備									○	工事範囲及び説明	受信盤 より末端感知器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。 メーカー責任施工とし、所轄消防署と協議の上、完全に施工する。なお、図示なくも建築構造上取付けの必要が生じたときは、監督職員の指示に従い本工事において取付ける。																																																									
		電気方式	1次側 3相3線式6,600V、2次側 3相 3線式210V 単相 線式 V			○											施工方法																																																										
		形式	屋内閉鎖型			○											使用電線	EM-1E EM-AE EM-GPEE																																																									
		配電盤	動力変圧器盤・動力開閉器盤			○											機器仕様																																																										
変圧器	3相 300kVA 単相	○																																																																									
母線	KIP FDC 銅棒	○																																																																									
付属品・予備品	電力ヒューズ（ 相） フック棒（大・小） 絶縁マット B種接地抵抗値は、関西電力と打合せた値とする。	○																																																																									
○	工事範囲及び説明	低圧盤2次側より動力盤取付けまでとする。	⑬ 防火戸自閉設備	○	工事範囲及び説明	運動制御盤 より末端感知器・自閉器具までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。 メーカーの責任施工とし、建築工事とよく打合せの上、施工する。																																																																					
電気方式	3相3線式210V 単相 線式 V	○			施工方法																																																																						
分電盤	動力盤（露出型 埋込型 面）	○			使用電線	EM-1E HIV HP EM-AE EM-HP																																																																					
施工方法	ケーブルラック配線	○			機器仕様																																																																						
使用電線	EM-1E OC DV 600V EM-CE 600V EM-DET EER EEF FP-C	○																																																																									
その他	架空配線の場合は太陽光に対する耐光性を考慮し、電線種別/工事方法を決定すること。	○																																																																									
○	工事範囲及び説明	既設分電盤より空調室内機までの配管配線とする。 既設照明器具の取外し再取付を行う。			⑭ 雷保護設備	○	工事範囲及び説明									突針取付けより接地極埋設までの配管配線接地測定を行う。 なお、メーカーの責任施工とし、建築工事とよく打合せの上、施工する。																																																											
施工方法	配管配線 天井内配線	○					施工方法																																																																				
使用電線	EM-1E 600V EM-CE 600V EM-DET EEF FP-C	○					突針									JISA4201に準じて施工する。																																																											
照明器具	家因による	○					試験用端子																																																																				
配線器具		○	使用導線																																																																								
その他		○																																																																									
○	工事範囲及び説明	動力盤より空調機までの配管配線とする。 漏電遮断器回路は、他の接地線に接続せず単独接地とする。	⑮ 自家発電設備	○			工事範囲及び説明	機器据付より試運転調整までとする。																																																																			
電気方式	3相3線式210V 3相 線式 V	○					施工方法																																																																				
施工方法	配管配線	○					定格	容量 kVA 電圧 V																																																																			
使用電線	EM-1E HIV OM DV 600V EM-CE 600V EM-DET EER FP-C	○					使用電線																																																																				
その他		○			機器仕様	日本内燃力発電設備協会認定合格品とする。																																																																					
○	工事範囲及び説明	動力盤より空調機までの配管配線とする。 漏電遮断器回路は、他の接地線に接続せず単独接地とする。			⑯ 機械警備設備	○	工事範囲及び説明	警備保証会社用受信盤 より各受口までの配管を行う。 警備保証会社と事前に打合せを行い、支障の無いように施工する。 なお、警備計画の変更、建築構造上の変更等により配管ルートに変更が生じた場合で軽微なものは監督職員の指示により本工事により行う。																																																																			
電気方式	3相3線式210V 3相 線式 V	○					施工方法																																																																				
施工方法	配管配線	○																																																																									
使用電線	EM-1E HIV OM DV 600V EM-CE 600V EM-DET EER FP-C	○																																																																									
その他		○																																																																									
○	工事範囲及び説明	既設スピーカ他前電設備機器の取外し再取付を行う。	⑰ 中央監視・自動制御設備	○			工事範囲及び説明	管理棟（A0棟）設置の空調集中リモコンより各空調機までの配管配線とする。 既存の中央監視設備の改修及び配管配線を行う。																																																																			
施工方法	EM-1E HIV HP MVVS EM-AE	○					施工方法																																																																				
使用電線		○					配管配線	天井内配線 ケーブルラック配線																																																																			
機器仕様		○					使用電線	EM-CEE EM-CEE-S EM-KPEE-S																																																																			
その他	架空配線の場合は太陽光に対する耐光性を考慮し、電線種別/工事方法を決定すること。	○																																																																									
○	工事範囲及び説明	保安器取付及び引込み口 よりこれに至る配管、保安器面より交換機、端子盤を経て各電話機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。			⑱ 電話設備	○	施工方法																																																																				
方式	電子ボタン式 電子交換式 OSP(市内C/Pケーブル) EBT(電子ボタン電話用ケーブル)																																																																										
使用電線	EM-GPEE(市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル) PE-V(構内ケーブル) EM-11EF(屋内用通信電線)																																																																										
機器仕様																																																																											
○	工事範囲及び説明																																					主装置 より子機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。	⑲ 電気時計表示設備	○	施工方法																																		
使用電線	EM-1E 芯ビニルコード																																																																										
機器仕様																																																																											
○	工事範囲及び説明																																																		主装置及び親機 より各機器及び子機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。	⑳ 通信信号設備	○	施工方法																					
使用電線	EM-GPEE(市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル) OPV(制御用EPゴム絶縁ビニルシースケーブル) EM-AE																																																																										
機器仕様																																																																											
○	工事範囲及び説明				アンテナ より末端整合器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。	㉑ テレビ共通機設備												○	施工方法																																																								
使用電線	EM-S-50FB EM-S-70FB																																																																										
機器仕様																																																																											
電界強度測定	地上デジタル波対応機器とする。 施工前に測定し、各局毎の電界強度測定値を提出する。 アンテナ位置は建築意匠、強度等を考え監督職員と協議する。																																																																										

使用機材製造者指定

本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合には、建築課所定の様式により承諾を得て使用のこと。

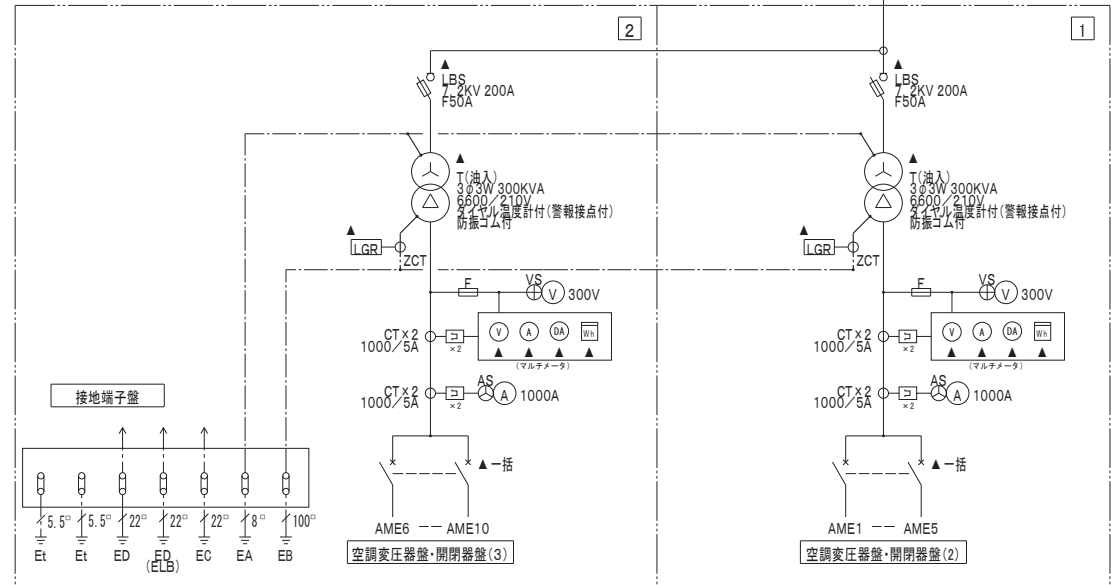
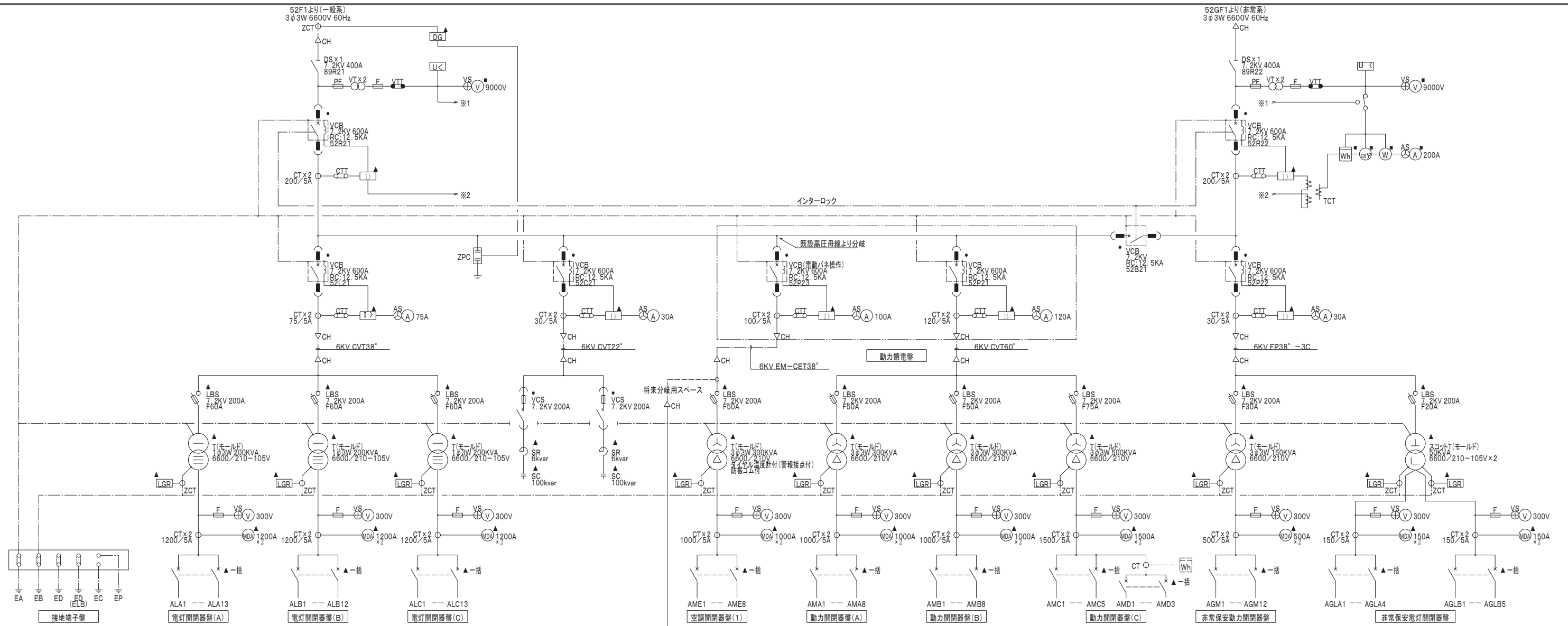
適用	機材名	製造業者			
○	電線類	JIS規格等適合品製造者			
○	ケーブル類	JIS規格等適合品製造者			
○	電線管類	JIS規格等適合品製造者			
	気中開閉器				
	ガス開閉器				
	避雷器				
	高圧開閉器				
○	高圧遮断器	三菱電機	富士電機	東芝	明電舎
○	変圧器	三菱電機	東芝	日立	ダイヘン
	コンデンサ				
	キュービクル				
○	配分電盤	名神電機	大正電機製造	新岩村電機製作所	大日製作所
○	配線用遮断器	三菱電機	富士電機	寺崎電気産業	パナソニック
	照明器具				
	配線器具				
	放送機器				
	電話装置				
	時計				
	インターホン				
	表示器				
	テレビ共聴機器				
	火災報知機器				
	ガス漏れ警報器				
	防火戸自閉機器				
	避雷針				
	自家発電機器				
	蓄電池				
	コンクリート柱	JIS規格等適合品製造者			
	マンホール蓋				
○	中央監視・自動制御器	アズビル			





配置図 1/1500

今回工事建物

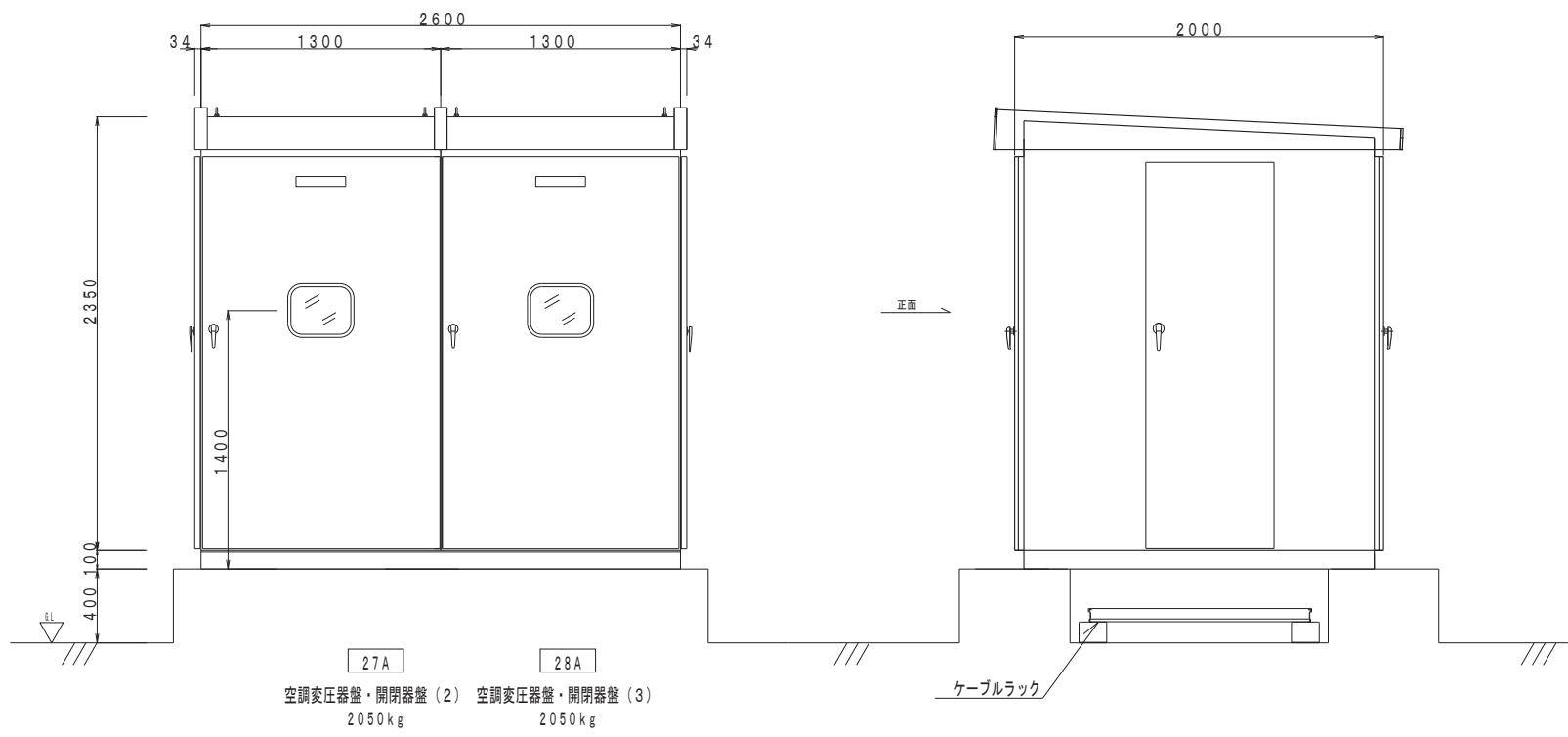


新設空調変圧器盤・開閉器盤単線結線図  
 ※LGR電源及び室内FAN・照明電源は既設盤より供給する。

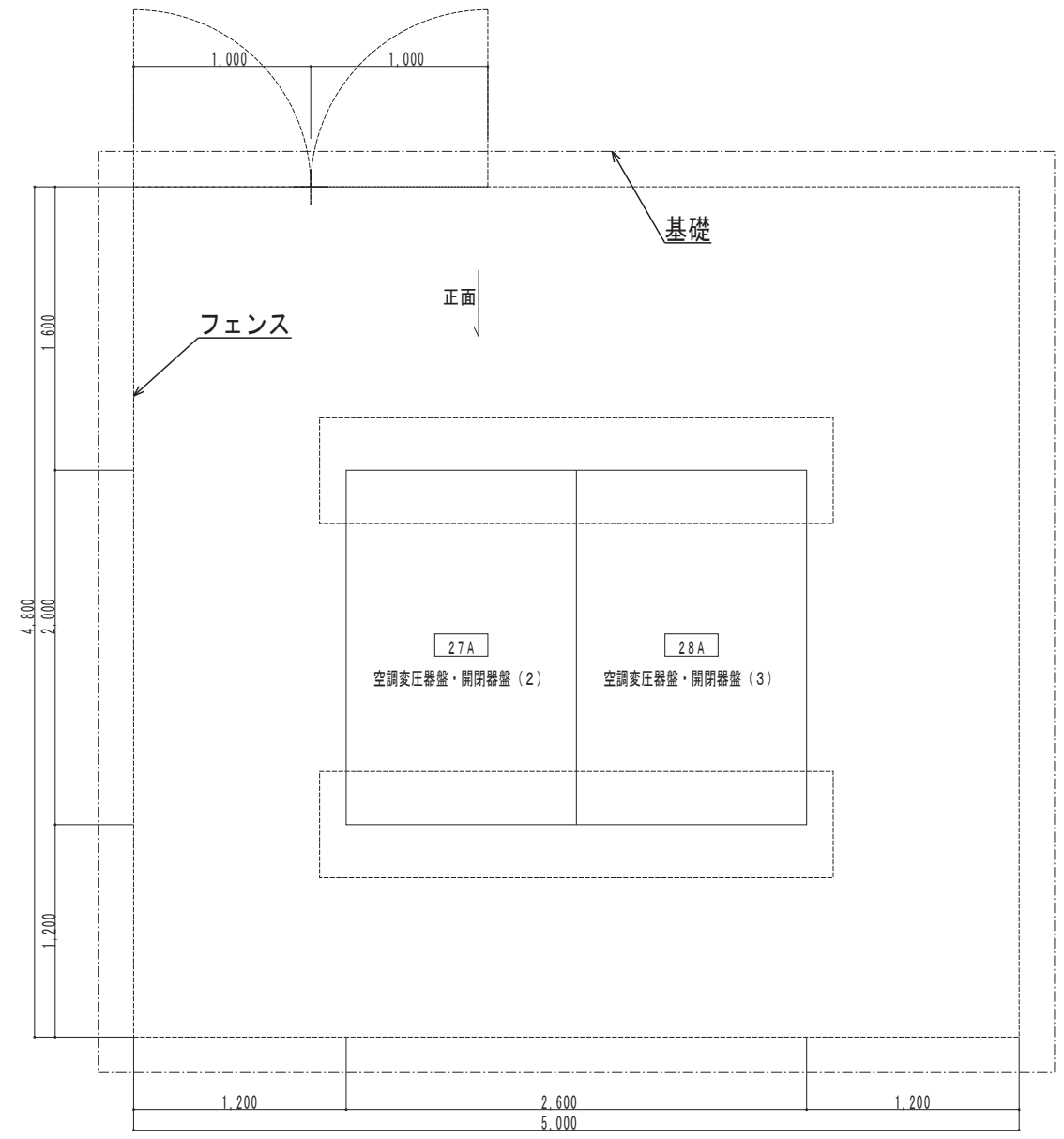
- (注記)
1. 図中濃線は新設または改修箇所を示し、薄線は既設現状のままを示す。
  2. 中央監視盤送り機器仕様は下記による。
    - 印 操作及び状態表示
    - ▲ 印 故障又は状態表示
    - 印 計測・計量
  3. 工事に当たっては、施設の電気主任技術者立会いのもと、停電作業にて施工すること。
  4. 停電作業の日時については、事前に監督員及び施設管理者と十分に協議、調整の上決定すること。
  5. 立会いに要する費用及び各種試験検査費用も本工事に含むものとする。

改修内容	
番号	内容
①	空調変圧器盤・開閉器盤(2)を屋外(A4棟東側)に新設する。
②	空調変圧器盤・開閉器盤(3)を屋外(A4棟東側)に新設する。

低圧配電器リスト					
盤名称	幹線番号	負荷名称	負荷容量	配線用遮断器	幹線(配線)サイズ
空調開閉器盤(2)	AME1	M-A3-1	57.64 KW	MCCB 3P 225/225AT	EM-CET200°
	AME2	M-A3-1	63.08 KW	MCCB 3P 225/225AT	EM-CET200°
	AME3	M-A3-1	56.91 KW	MCCB 3P 225/225AT	EM-CET200°
	AME4	M-A3-1	15.21 KW	MCCB 3P 100/100AT	EM-CET60°
	AME5	M-A4-1	52.57 KW	MCCB 3P 225/225AT	EM-CET150°
空調開閉器盤(3)	AME6	M-A4-1	62.79 KW	MCCB 3P 225/225AT	EM-CET200°
	AME7	M-A4-1	18.82 KW	MCCB 3P 100/100AT	EM-CET60°
	AME8	M-A4-2	41.74 KW	MCCB 3P 225/150AT	EM-CET60°
	AME9	M-A4-2	49.25 KW	MCCB 3P 225/225AT	EM-CET100°
	AME10	M-A4-2	31.10 KW	MCCB 3P 225/175AT	EM-CET60°

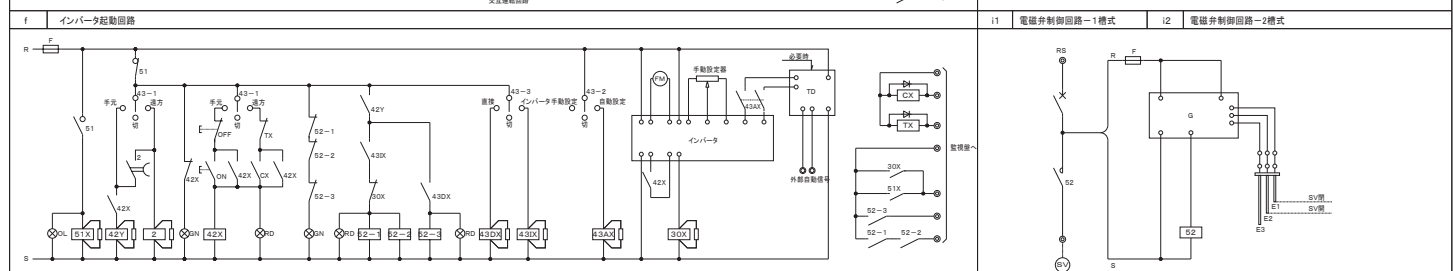
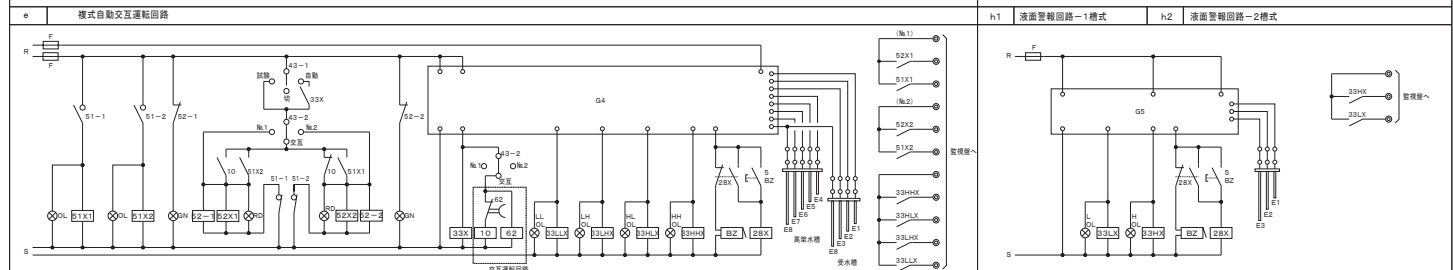
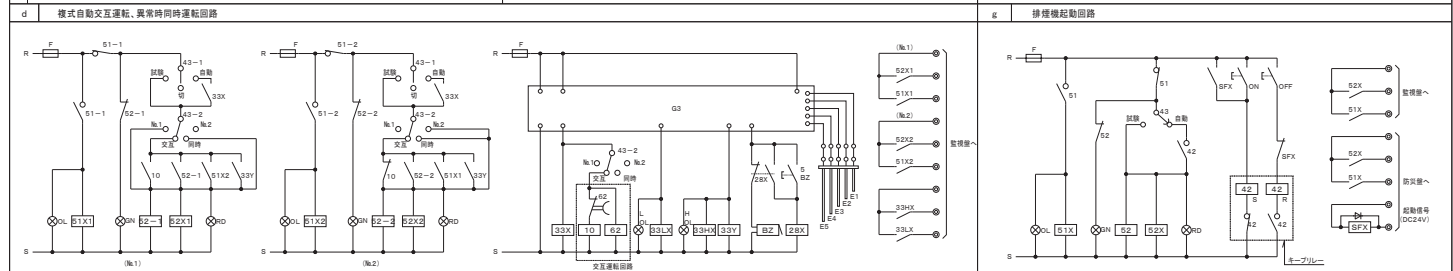
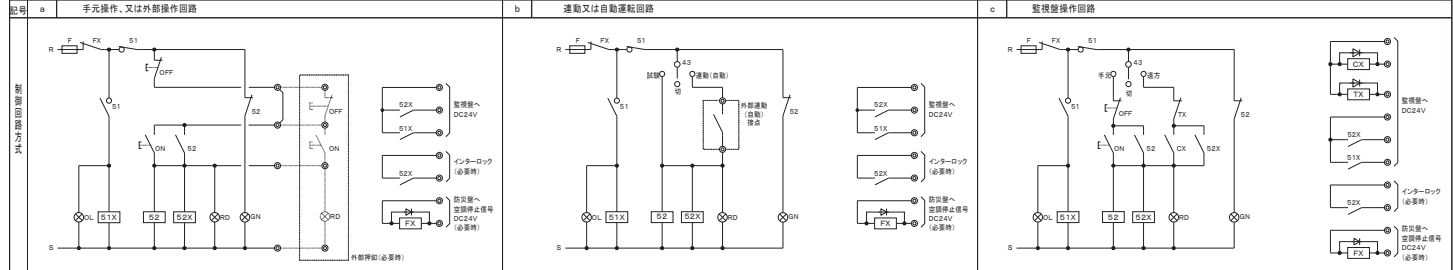
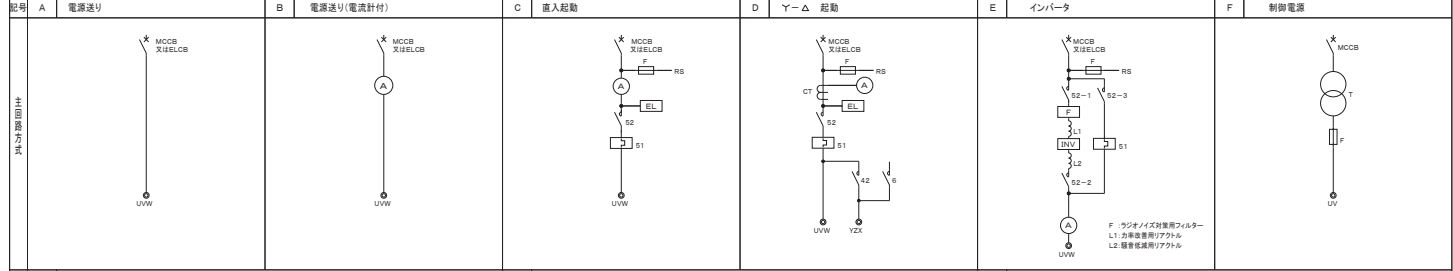


空調変圧器盤・開閉器盤 姿図 S=1/20



開閉所平面詳細図 S=1/20

# 動力盤標準結線図



### 参考姿図

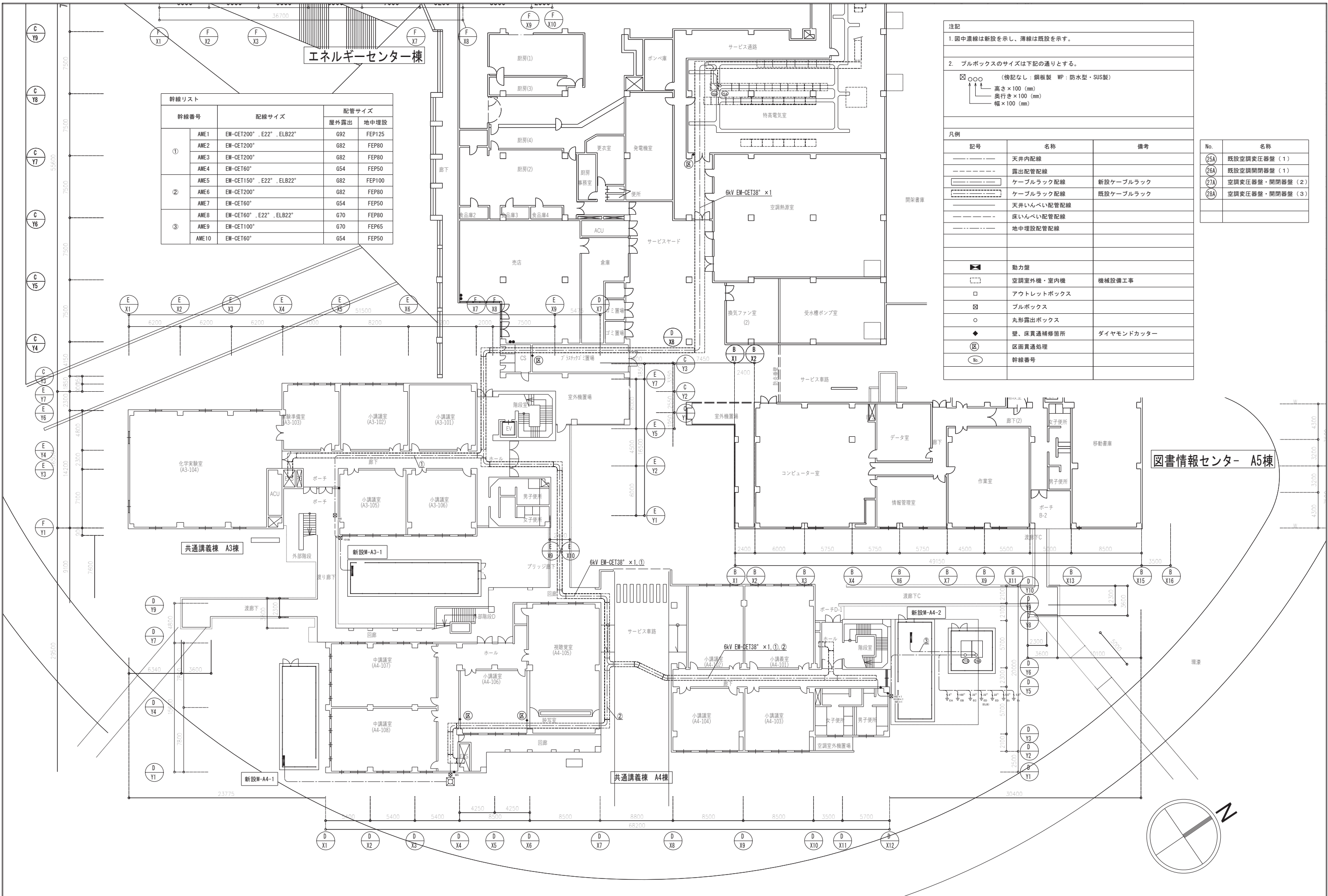
### 注記

- 1) 起動方式は、下記とする。  
 ・200V ファン 11kW以上、ポンプ 15kW以上 Y-Δ 起動  
 ・400V ファン 22kW以上、ポンプ 30kW以上 Y-Δ 起動
- 2) 電動機過負荷保護は、MCCB(モーター用)、MELB(モーター用)でも可とする。
- 3) 動力盤に負荷毎の接地端子台、または接地銅バーを取付とする。  
 なお、ELCB回路用には、別の接地端子台、または接地銅バーを取付とする。
- 4) 電流計は、0.75kW以上に取付け、赤指針付とする。(A、F回路は除く)
- 5) 電流計は、15A以上(200V 3.7kW以上、400V 7.5kW以上)CT付とする。
- 6) 表示灯類は、LEDランプとする。
- 7) 動力盤の各幹線には、電源表示灯(LED)取付とする。
- 8) MCCB、ELCBは全てトリップ警報付(盤毎に一括警報出力)
- 9) キーはタキゲンNO.200とする。
- 10) パルス発信器付電力量計(電子式)(検定付)

盤名称 形状	幹線番号 電圧・容量(kW)	機器番号	機器名称	設置間 機器容量 (kW)	E:ELCB 動力制御盤				中央監視盤				防炎 遮断器	回路	配線サイズ	配管	備考				
					遮断器	主 回路	制御 回路	インターロック 運動	発停 状態	故障 警報	計測 計量	切替 停止									
M-A3-1 (屋外自立型)	AC 3φ3W 210V AME1 MCCB 3P 225/225AT	ACP-A3-1	エアコン室外機	20.87	E	3P225/125	A							1	EM-CET60° E8*	(G54)					
		ACP-A3-2	エアコン室外機	15.9	E	3P100/100	A							2	EM-CET38° E5.5*	(G42)					
		ACP-A3-3	エアコン室外機	20.87	E	3P225/125	A							3	EM-CET60° E8*	(G54)					
			予備スペース×3																		
			計			57.64															
		AC 3φ3W 210V AME2 MCCB 3P 225/225AT	63.1kW	ACP-A3-4	エアコン室外機	20.87	E	3P225/125	A							1	EM-CET60° E8*	(G54)			
				ACP-A3-5	エアコン室外機	20.87	E	3P225/125	A							2	EM-CET60° E8*	(G54)			
				ACP-A3-6	エアコン室外機	21.34	E	3P225/150	A							3	EM-CET60° E8*	(G54)			
					予備スペース×3																
					計			63.08													
				AC 3φ3W 210V AME3 MCCB 3P 225/225AT	56.9kW	ACP-A3-7	エアコン室外機	20.87	E	3P225/125	A							1	EM-CET60° E8*	(G54)	
						ACP-A3-8	エアコン室外機	18.02	E	3P225/125	A							2	EM-CET60° E8*	(G54)	
ACP-A3-9	エアコン室外機					18.02	E	3P225/125	A							3	EM-CET60° E8*	(G54)			
	予備スペース×3																				
	計							56.91													
AC 3φ3W 210V AME4 MCCB 3P 100/100AT	15.2kW					PAC-A3-1	エアコン室外機	5.07	E	3P50/40	A							1	EM-CE8° -3C E5.5*	(G28)	
						PAC-A3-2	エアコン室外機	5.07	E	3P50/40	A							2	EM-CE8° -3C E5.5*	(G28)	
		PAC-A3-3	エアコン室外機			5.07	E	3P50/40	A							3	EM-CE8° -3C E5.5*	(G28)			
			予備スペース×3																		
			計					15.21													

盤名称 形状	幹線番号 電圧・容量(kW)	機器番号	機器名称	設置間 容量 (kW)	E:ELCB 動力制御盤				中央監視盤				回路	配線サイズ	配管	備考			
					遮断器	主 回路	制御 回路	インターロック 連動	発停	状態	警報	計測					計量	切替	停止
M-A4-1 (屋外自立型)	AC 3φ3W 210V AME3 MCCB 3P 225/225AT	PAC-A4-3	エアコン室外機	11.44	E	3P100/75	A							1	EM-CET22" E5.5"	(G36)			
		ACP-A4-4	エアコン室外機	25.23	E	3P225/175	A							2	EM-CET60" E14"	(G54)			
		ACP-A4-5	エアコン室外機	15.9	E	3P100/100	A							3	EM-CET38" E5.5"	(G42)			
			予備スペース×3																
			計		52.57														
52.8kW	AC 3φ3W 210V AME9 MCCB 3P 225/225AT	ACP-A4-7	エアコン室外機	20.87	E	3P225/125	A						1	EM-CET60" E8"	(G54)				
		ACP-A4-8	エアコン室外機	29.56	E	3P225/200	A						2	EM-CET100" E14"	(G70)				
		ACP-A4-9	エアコン室外機	12.36	E	3P100/100	A						3	EM-CET22" E5.5"	(G36)				
			予備スペース×3																
			計		62.79														
62.8kW	AC 3φ3W 210V AME7 MCCB 3P 100/100AT	PAC-A4-7	エアコン室外機	5.07	E	3P50/30	A						1	EM-CE3.5" -3C E2"	(G22)				
		PAC-A4-8	エアコン室外機	5.07	E	3P50/40	A						2	EM-CE8" -3C E5.5"	(G28)				
		PAC-A4-9	エアコン室外機	2.14	E	3P50/40	A						3	EM-CE8" -3C E5.5"	(G28)				
		PAC-A4-10	エアコン室外機	3.27	E	3P50/30	A						4	EM-CE3.5" -3C E2"	(G22)				
		PAC-A4-11	エアコン室外機	3.27	E	3P50/30	A						5	EM-CE3.5" -3C E2"	(G22)				
			予備スペース×3																
			計		18.82														

盤名称 形状	幹線番号 電圧・容量(kW)	機器番号	機器名称	設置間 容量 (kW)	E:ELCB 動力制御盤				中央監視盤				回路	配線サイズ	配管	備考			
					遮断器	主 回路	制御 回路	インターロック 連動	発停	状態	警報	計測					計量	切替	停止
M-A4-2 (屋外自立型)	AC 3φ3W 210V AME3 MCCB 3P 225/150AT	PAC-A4-1	エアコン室外機	20.87	E	3P225/125	A							1	EM-CET60" E8"	(G54)			
		PAC-A4-2	エアコン室外機	20.87	E	3P225/125	A							2	EM-CET60" E8"	(G54)			
			予備スペース×3																
			計		41.74														
41.7kW	AC 3φ3W 210V AME9 MCCB 3P 225/225AT	ACP-A4-6	エアコン室外機	20.87	E	3P225/125	A						1	EM-CET60" E8"	(G54)				
		ACP-A4-10	エアコン室外機	28.38	E	3P225/200	A						2	EM-CET100" E14"	(G70)				
			予備スペース×3																
			計		49.25														
M-A4-2 (屋外自立型)	AC 3φ3W 210V AME10 MCCB 3P 225/175AT	PAC-A4-1	エアコン室外機	2.14	E	3P50/30	A						1	EM-CE3.5" -3C E2"	(G22)				
		PAC-A4-2	エアコン室外機	5.07	E	3P50/40	A						2	EM-CE8" -3C E5.5"	(G28)				
		PAC-A4-3	エアコン室外機	5.07	E	3P50/40	A						3	EM-CE8" -3C E5.5"	(G28)				
		PAC-A4-4	エアコン室外機	2.14	E	3P50/30	A						4	EM-CE3.5" -3C E2"	(G22)				
		PAC-A4-5	エアコン室外機	5.07	E	3P50/40	A						5	EM-CE8" -3C E5.5"	(G28)				
		PAC-A4-6	エアコン室外機	5.07	E	3P50/40	A						6	EM-CE8" -3C E5.5"	(G28)				
		PAC-A4-12	エアコン室外機	3.27	E	3P50/30	A						7	EM-CE3.5" -3C E2"	(G22)				
		PAC-A4-13	エアコン室外機	3.27	E	3P50/30	A						8	EM-CE3.5" -3C E2"	(G22)				
			予備スペース×4																
			計		31.1														



幹線リスト

幹線番号	配線サイズ	配管サイズ	
		屋外露出	地中埋設
①	AME1 EM-CET200*, E22*, ELB22*	G92	FEP125
	AME2 EM-CET200*	G82	FEP80
	AME3 EM-CET200*	G82	FEP80
	AME4 EM-CET60*	G54	FEP50
②	AME5 EM-CET150*, E22*, ELB22*	G82	FEP100
	AME6 EM-CET200*	G82	FEP80
	AME7 EM-CET60*	G54	FEP50
③	AME8 EM-CET60*, E22*, ELB22*	G70	FEP80
	AME9 EM-CET100*	G70	FEP65
	AME10 EM-CET60*	G54	FEP50

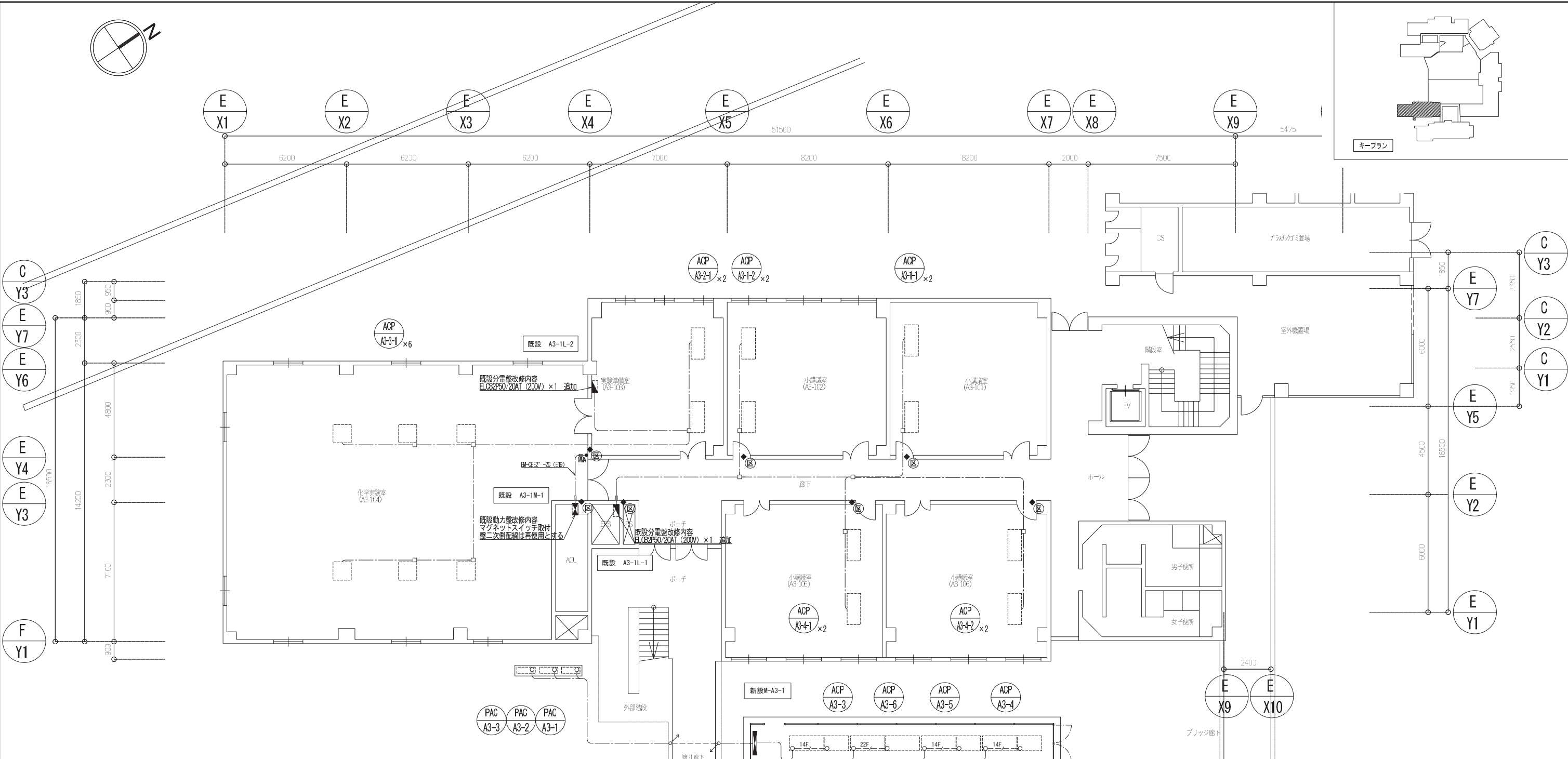
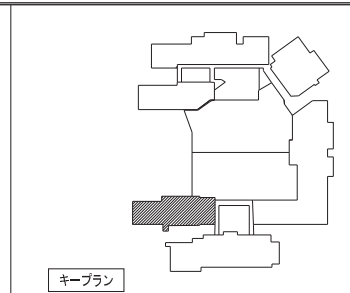
注記

- 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。
- プルボックスのサイズは下記の通りとする。  
 (検記なし：銅板製 WP：防水型・SUS製)  
 高さ×100 (mm)  
 奥行き×100 (mm)  
 幅×100 (mm)

凡例

記号	名称	備考
---	天井内配線	
---	露出配管配線	
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	床いんべい配管配線	
---	地中埋設配管配線	
⊠	動力盤	
⊠	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
⊠	プルボックス	
○	丸形露出ボックス	
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
⊠	区画貫通処理	
○	幹線番号	

No.	名称
25A	既設空調変圧器盤 (1)
26A	既設空調開閉器盤 (1)
27A	空調変圧器盤・開閉器盤 (2)
28A	空調変圧器盤・開閉器盤 (3)



**注記**

- 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。
- 図中は特記なき配管配線は下記とする。
 

EM-EF2.0-3C (1CE)	(E25)
EM-CE5.5°-3C, E5.5°	(F2-24WP)
EM-CE8°-3C, E5.5°	(F2-24WP)
EM-CET14°, E8°	(F2-30WP)
EM-CET22°, E8°	(F2-38WP)
EM-CET38°, E14°	(F2-50WP)
EM-CET60°, E14°	(F2-63WP)
- 二重天井内はケーブルころがし配線とし、壁内及びケーブル保護必要部については( )内電線管にて保護する。
- 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製可とう電線管を使用すること。
- 空調機器更新に伴う電源用配管配線の切り離し、接続は電気設備工事で行う。
- ブルボックスのサイズは下記の通りとする。
 

○	高さ×100 (mm)
○	奥行き×100 (mm)
○	幅×100 (mm)

 (傍記なし：銅板製 WP：防水型・SUS製)

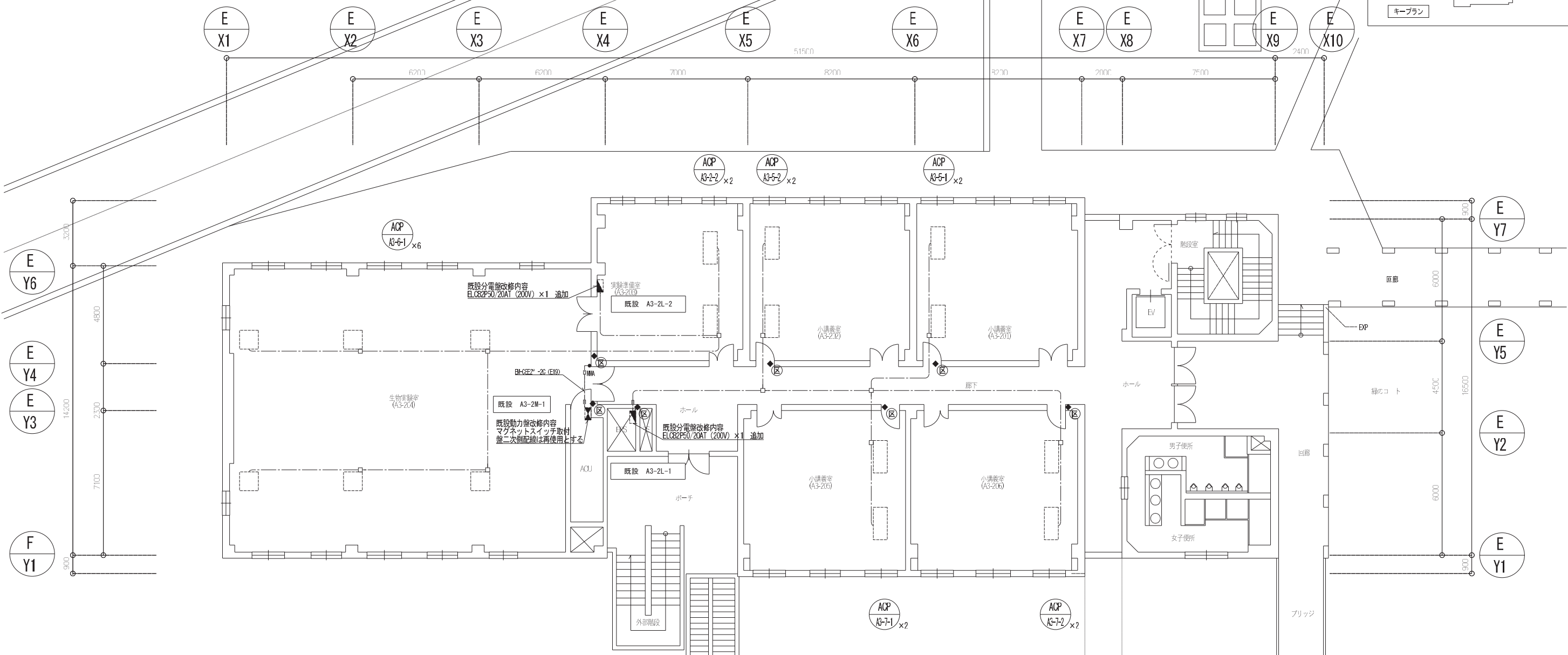
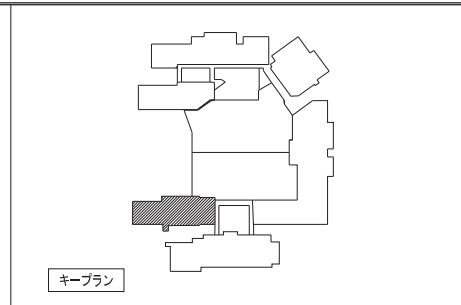
**凡例**

記号	名称	備考
---	天井内配線	
---	露出配管配線	
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	床いんべい配管配線	
---	地中埋設配管配線	
---	天井内配線	立下り部は種金属線び(ACB)内配線とする。
■	分電盤	
■	動力盤	
□	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
□	ブルボックス	
○	丸形露出ボックス	
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
Ⓜ	区画貫通処理	
Ⓝ	幹線番号	
Ⓜ	ハンドホール	
●	埋込スイッチ (1P15A×1)	露出スイッチボックス・新金属プレート

共通講義棟 A3棟

**動力盤2次側配線リスト**

空調動力盤	負荷記号	配管配線サイズ
M-A3-1	ACP-A3-1	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A3-2	EM-CET38°, E5.5° (FEP50)
	ACP-A3-3	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A3-4	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A3-5	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A3-6	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A3-7	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A3-8	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A3-9	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	PAC-A3-1	EM-CE8°-3C, E5.5° (FEP30)
	PAC-A3-2	EM-CE8°-3C, E5.5° (FEP30)
	PAC-A3-3	EM-CE8°-3C, E5.5° (FEP30)



**注記**

1. 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。
2. 図中は特記なき配管配線は下記とする。  

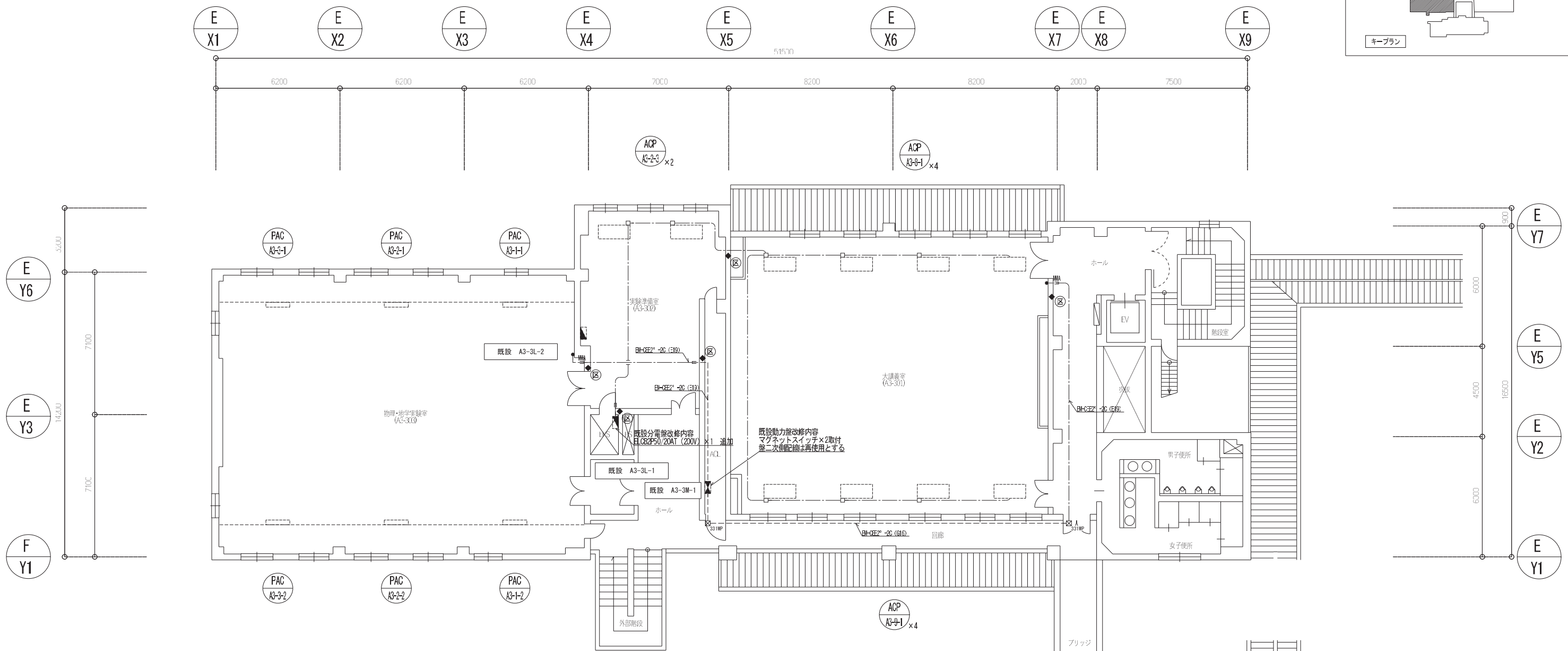
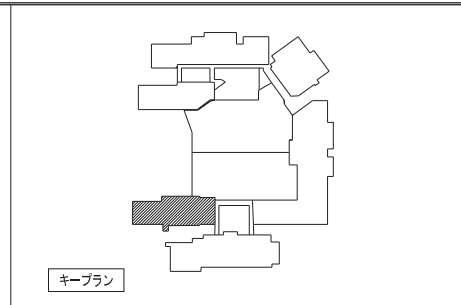
EM-EF2.0-3C (1GE)	(E25)
EM-CE5.5' -3C, E5.5'	(F2-24WP)
EM-CE8' -3C, E5.5'	(F2-24WP)
EM-CET14' ,E8'	(F2-30WP)
EM-CET22' ,E8'	(F2-38WP)
EM-CET38' ,E14'	(F2-50WP)
EM-CET60' ,E14'	(F2-63WP)
3. 二重天井内はケーブルころがし配線とし、壁内及びケーブル保護必要部については ( ) 内電線管にて保護する。
4. 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製と同等電線管を使用すること。
5. 空調機器更新に伴う電源用配管配線の切り離し、接続は電気設備工事で行う。
6. プルボックスのサイズは下記の通りとする。  

○	高さ×100 (mm)
○	奥行×100 (mm)
○	幅×100 (mm)

**凡例**

記号	名称	備考
---	天井内配線	
---	露出配管配線	
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	床いんべい配管配線	
---	地中埋設配管配線	
---	天井内配線	立下り部は種金換綴り (A型) 内配線とする。
■	分電盤	
■	動力盤	
□	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
□	プルボックス	
○	丸形露出ボックス	
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
Ⓧ	区画貫通処理	
Ⓧ	幹線番号	
Ⓧ	ハンドホール	
●	埋込スイッチ (1P15A x1)	露出スイッチボックス・新金属プレート





**注記**

1. 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。
2. 図中は特記なき配管配線は下記とする。
 

EM-EF2.0-3C (1GE)	(E25)
EM-CE5.5°-3C, E5.5°	(F2-24WP)
EM-CE8°-3C, E5.5°	(F2-24WP)
EM-CET14°, E8°	(F2-30WP)
EM-CET22°, E8°	(F2-38WP)
EM-CET38°, E14°	(F2-50WP)
EM-CET60°, E14°	(F2-63WP)
3. 二重天井内はケーブルころがし配線とし、壁内及びケーブル保護必要部については( )内電線管にて保護する。
4. 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製可とう電線管を使用すること。
5. 空調機器更新に伴う電源用配管配線の切り離し、接続は電気設備工事で行う。
6. ブルボックスのサイズは下記の通りとする。
 

高さ × 100 (mm)
奥行き × 100 (mm)
幅 × 100 (mm)

(傍記なし：銅板製 WP：防水型・SUS製)

**凡例**

記号	名称	備考
---	天井内配線	
---	露出配管配線	
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	床いんべい配管配線	
---	地中埋設配管配線	
---	天井内配線	立下り部は種金属線及び(AC)内配線とする。
■	分電盤	
■	動力盤	
□	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
□	ブルボックス	
○	丸形露出ボックス	
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
ⓧ	区画貫通処理	
ⓧ	幹線番号	
ⓧ	ハンドホール	
●	埋込スイッチ (1P15A × 1)	露出スイッチボックス・新金属プレート

共通講義棟 A3棟



D Y9

D Y7

D Y4

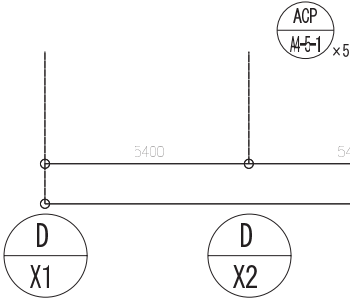
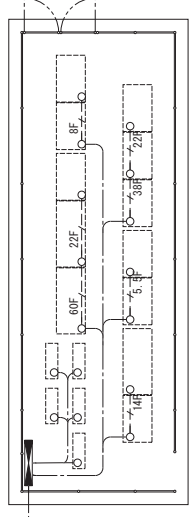
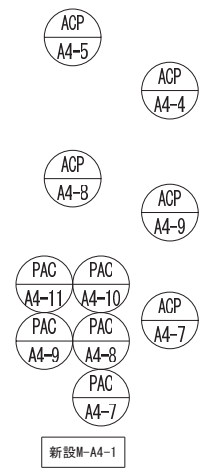
D Y1

4800

7800

7500

7900



ACP M-4-2 x5

ACP M-3-1 x3

ACP M-4-1 x2

ACP A4-3

ACP M-5-1 x5

5400

5400

5400

4750

4750

8500

8800

8500

68200

D X1

D X2

D X3

D X4

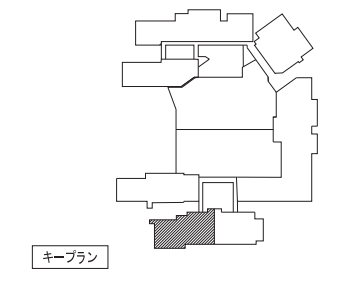
D X5

D X6

D X7

D X8

D X9



サービス車路

ホール

小講義室 (A4-10C)

視聴室 (A4-10B)

映写室

中講義室 (A4-107)

中講義室 (A4-106)

既設分電盤改修内容  
ELCB250/20AT (200V) x1 (追加)

既設 A4-1L-1

注記

1. 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。
2. 図中は特記なき配管配線は下記とする。  
 EM-EF2.0-3C (1CE) (E25)  
 EM-CE5.5" -3C, E5.5" (F2-24WP)  
 EM-CE8" -3C, E5.5" (F2-24WP)  
 EM-CET14" ,E8" (F2-30WP)  
 EM-CET22" ,E8" (F2-38WP)  
 EM-CET38" ,E14" (F2-50WP)  
 EM-CET60" ,E14" (F2-63WP)
3. 二重天井内はケーブルがし配線とし、壁内及びケーブル保護必要部については ( ) 内電線管にて保護する。
4. 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製と同等電線管を使用すること。
5. 空調機器更新に伴う電源用配管配線の切り直し、接続は電気設備工事で行う。
6. ブルボックスのサイズは下記の通りとする。  
 ( 傍記なし : 鋼板製 WP : 防水型・SUS製 )  
 高さ×100 (mm)  
 奥行き×100 (mm)  
 幅×100 (mm)

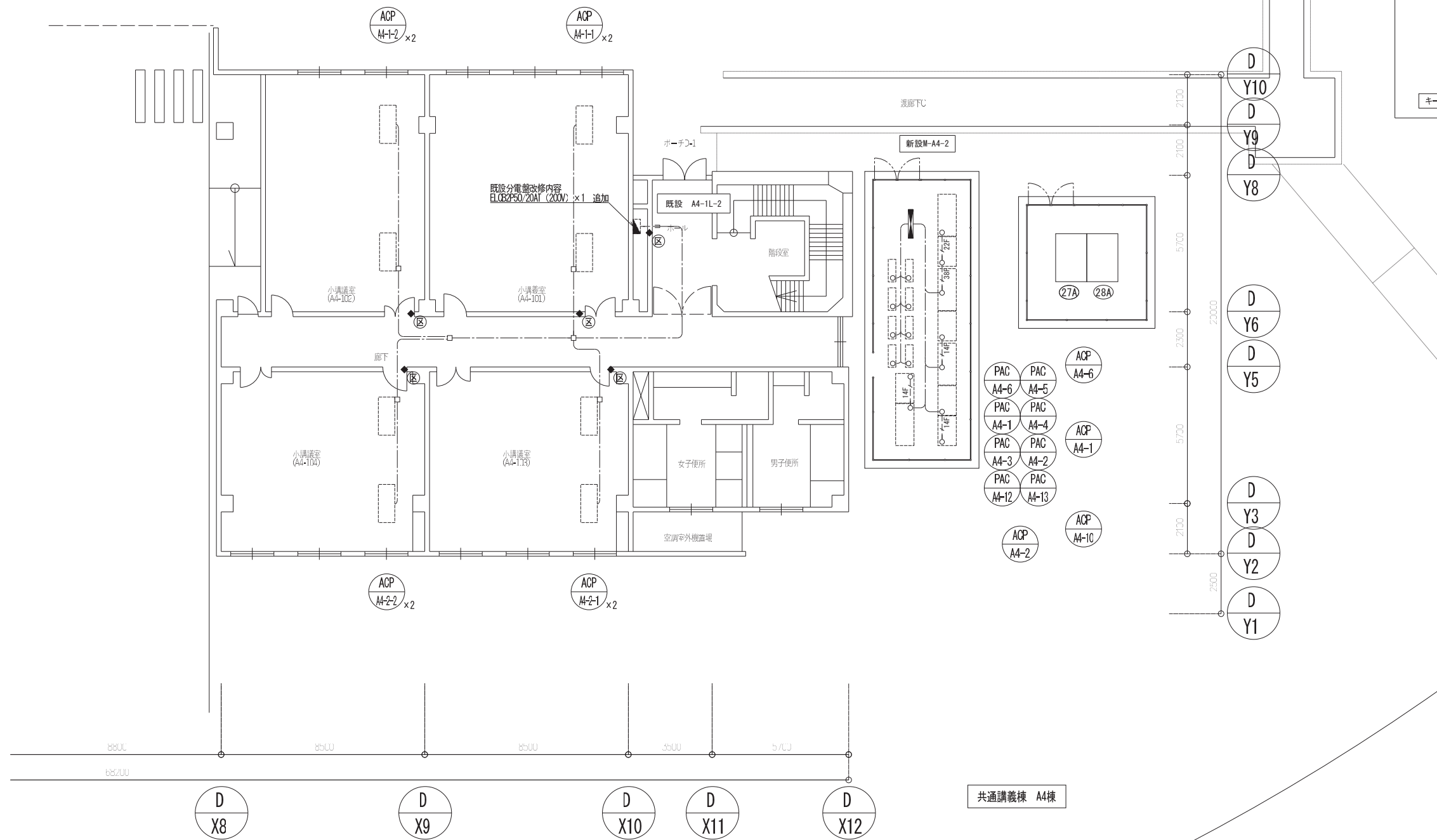
凡例

記号	名称	備考
---	天井内配線	
---	露出配管配線	
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	床いんべい配管配線	
---	地中埋設配管配線	
---	天井内配線	立下り脚は埋金線ひ (A型) 内配線とする。
■	分電盤	
■	動力盤	
□	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
□	ブルボックス	
○	丸形露出ボックス	
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
⊗	区画貫通処理	
⊙	幹線番号	
⊠	ハンドホール	
●	埋込スイッチ (1P15A x 1)	露出スイッチボックス・新金属プレート

動力盤2次側配線リスト

空調動力盤	負荷記号	配管配線サイズ
M-A4-1	ACP-A4-3	EM-CET22" ,E5.5" (FEP40)
	ACP-A4-4	EM-CET60" ,E14" (FEP65)
	ACP-A4-5	EM-CET38" ,E5.5" (FEP50)
	ACP-A4-7	EM-CET60" ,E8" (FEP65)
	ACP-A4-8	EM-CET100" ,E14" (FEP65)
	ACP-A4-9	EM-CET22" ,E5.5" (FEP40)
	PAC-A4-7	EM-CE3.5" -3C, E2" (FEP30)
	PAC-A4-8	EM-CE8" -3C, E5.5" (FEP30)
	PAC-A4-9	EM-CE8" -3C, E5.5" (FEP30)
	PAC-A4-10	EM-CE3.5-3C, E2" (FEP30)
	PAC-A4-11	EM-CE3.5-3C, E2" (FEP30)

共通講義棟 A4棟



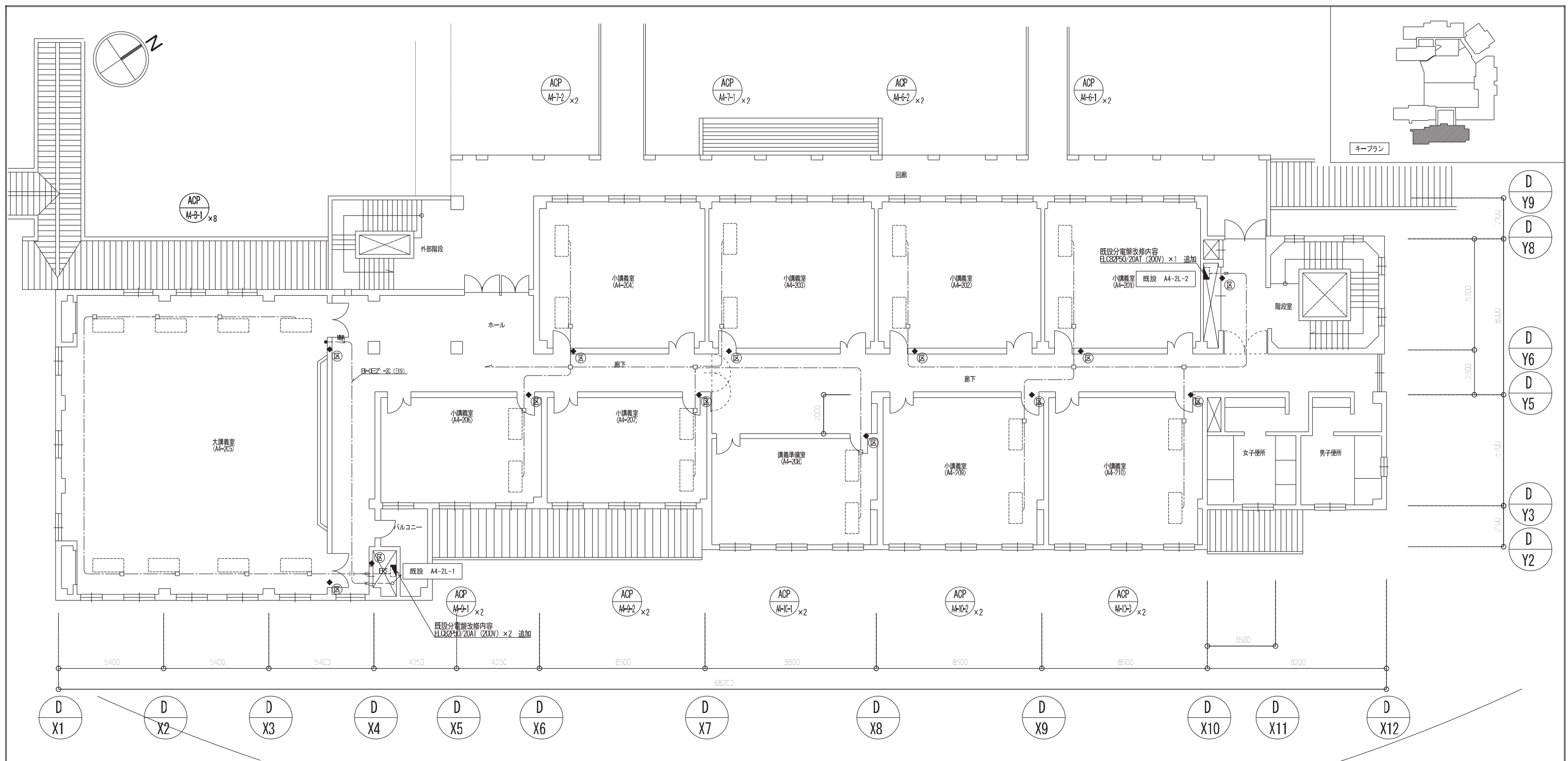
共通講義棟 A4棟

注記		
1. 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。		
2. 図中は特記なき配管配線は下記とする。		
EM-EF2.0-3C (10E)	(E25)	
EM-CE5.5°-3C, E5.5°	(F2-24WP)	
EM-CE8°-3C, E5.5°	(F2-24WP)	
EM-CET14°, E8°	(F2-30WP)	
EM-CET22°, E8°	(F2-38WP)	
EM-CET38°, E14°	(F2-50WP)	
EM-CET60°, E14°	(F2-63WP)	
3. 二重天井内はケーブルころしがし配線とし、壁内及びケーブル保護必要部については ( ) 内電線管にて保護する。		
4. 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製可とう電線管を使用すること。		
5. 空調機器更新に伴う電源用配管配線の切り離し、接続は電気設備工事で行う。		
6. ブルボックスのサイズは下記の通りとする。		
(傍記なし：銅板製 WP：防水型・SUS製)		
○	高さ×100 (mm)	
○	奥行き×100 (mm)	
○	幅×100 (mm)	

凡例		
記号	名称	備考
---	天井内配線	
---	露出配管配線	
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	床いんべい配管配線	
---	地中埋設配管配線	
---	天井内配線	立下り部計種金属網(び) (A型) 内配線とする。
■	分電盤	
■	動力盤	
□	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
⊗	ブルボックス	
○	丸形露出ボックス	
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
⊗	区画貫通処理	
⊗	幹線番号	
⊗	ハンドホール	
●	埋込スイッチ (1P15A x 1)	露出スイッチボックス・新金属プレート

動力盤2次側配線リスト

空調動力盤	負荷記号	配管配線サイズ
M-A4-2	ACP-A4-1	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A4-2	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A4-6	EM-CET60°, E8° (FEP65)
	ACP-A4-10	EM-CET100°, E14° (FEP65)
	PAC-A4-1	EM-CE3.5°-3C, E2° (FEP30)
	PAC-A4-2	EM-CE8°-3C, E5.5° (FEP30)
	PAC-A4-3	EM-CE8°-3C, E5.5° (FEP30)
	PAC-A4-4	EM-CE3.5°-3C, E2° (FEP30)
	PAC-A4-5	EM-CE8°-3C, E5.5° (FEP30)
	PAC-A4-6	EM-CE8°-3C, E5.5° (FEP30)
	PAC-A4-12	EM-CE3.5°-3C, E2° (FEP30)
	PAC-A4-13	EM-CE3.5°-3C, E2° (FEP30)



**注記**

1. 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。
2. 図中は特記なき配管配線は下記とする。

EM-EF2.0-3C (1CE)	(E25)
EM-CE5.5°-3C, E5.5°	(F2-24WP)
EM-CE8°-3C, E5.5°	(F2-24WP)
EM-CET14°, E8°	(F2-30WP)
EM-CET22°, E8°	(F2-38WP)
EM-CET38°, E14°	(F2-50WP)
EM-CET60°, E14°	(F2-63WP)

3. 二重天井内はケーブルがし配線とし、壁内及びケーブル保護必要部については ( ) 内電線管にて保護する。
4. 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製と同等電線管を使用すること。
5. 空調機器更新に伴う電源用配管配線の切り離し、接続は電気設備工事で行う。
6. プルボックスのサイズは下記の通りとする。

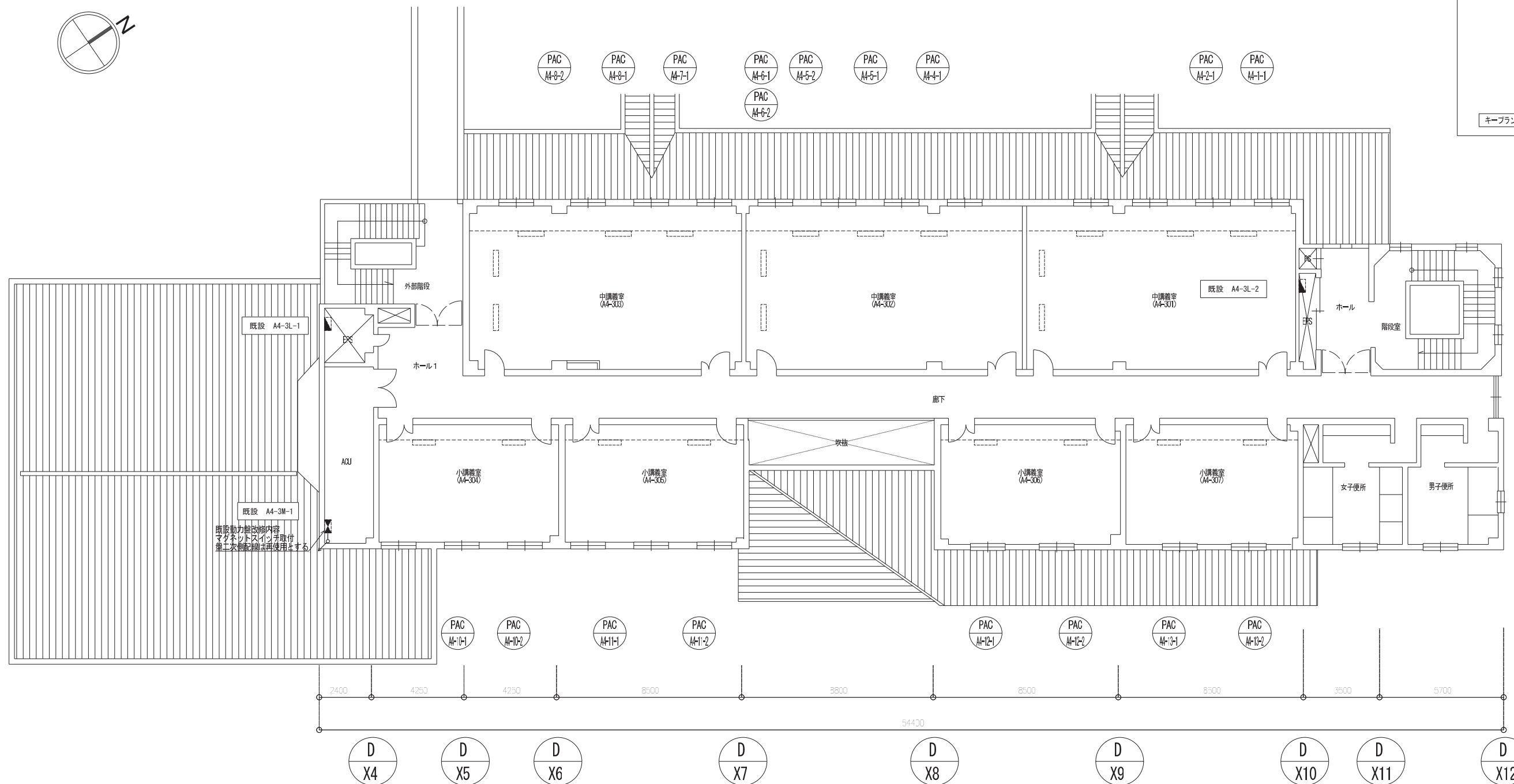
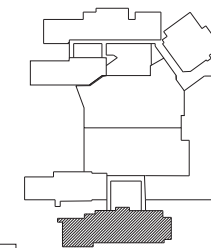
(傍記なし：鋼板製 WP：防水型・SUS製)

高さ×100 (mm)  
奥行き×100 (mm)  
幅×100 (mm)

**凡例**

記号	名称	備考
---	天井内配線	
---	露出配管配線	
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	床いんべい配管配線	
---	地中埋設配管配線	
---	天井内配線	立上り部は1種金属管(φ型)内配線とする。
■	分電盤	
■	動力盤	
[ ]	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
⊠	プルボックス	
○	丸形露出ボックス	
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
⊗	区画貫通処理	
Ⓝ	幹線番号	
Ⓜ	ハンドホール	
●	埋込スイッチ (1P15A×1)	露出スイッチボックス・新金属プレート

共通講義棟 A4棟



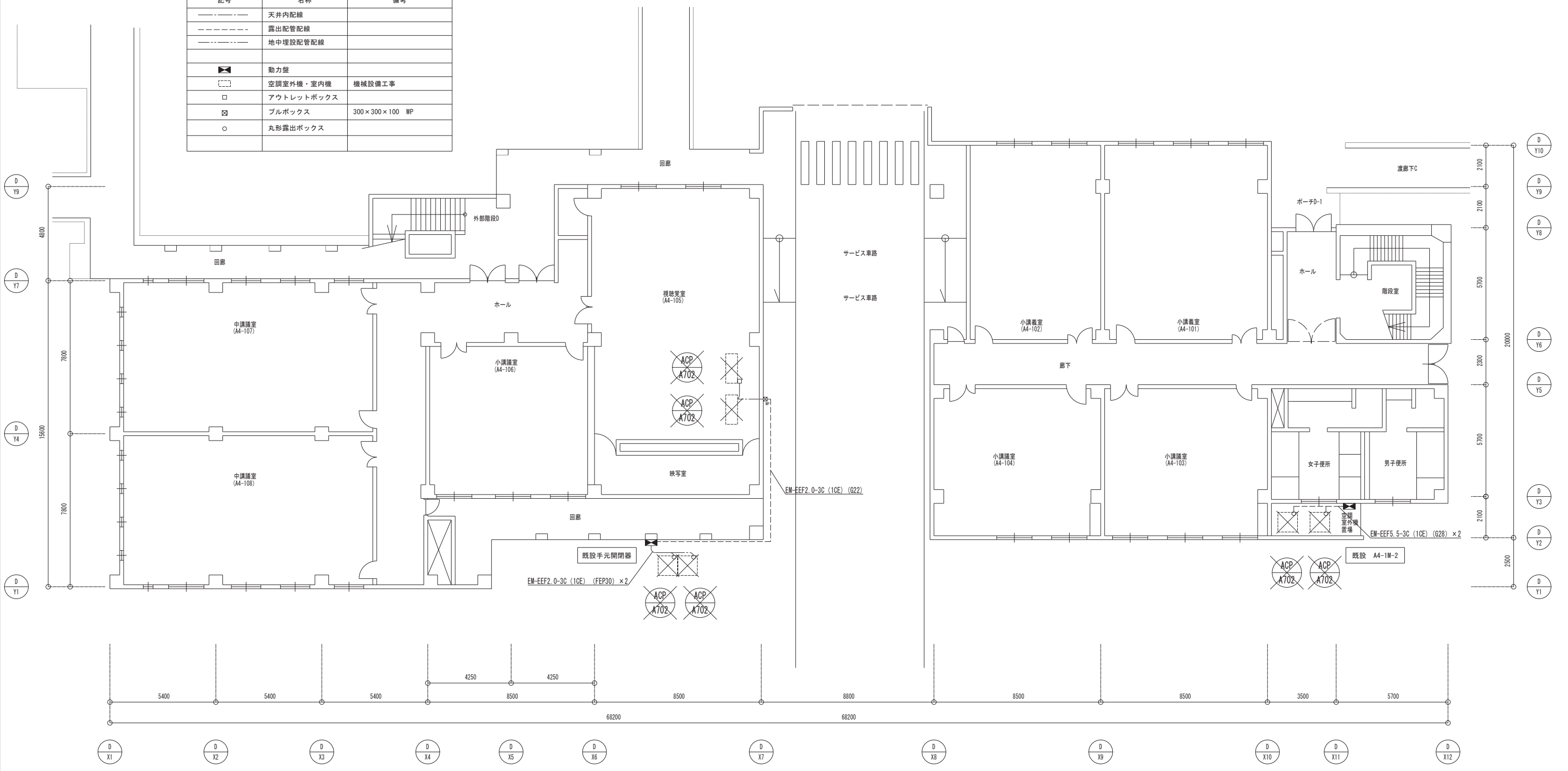
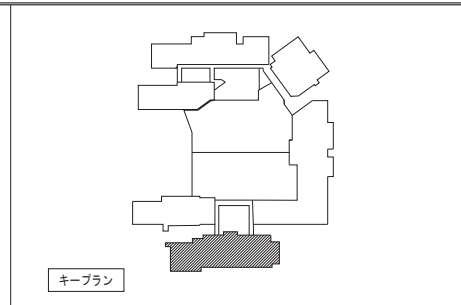
注記	
1. 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。	
2. 図中は特記なき配管配線は下記とする。	
EM-EEF2.0-3C (1CE)	(E25)
EM-CE5.5°-3C, E5.5°	(F2-24WP)
EM-CE8°-3C, E5.5°	(F2-24WP)
EM-CET14° .E8°	(F2-30WP)
EM-CET22° .E8°	(F2-38WP)
EM-CET38° .E14°	(F2-50WP)
EM-CET60° .E14°	(F2-63WP)
3. 二重天井内はケーブルろがし配線とし、壁内及びケーブル保護必要部については ( ) 内電線管にて保護する。	
4. 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製可とう電線管を使用すること。	
5. 空調機器更新に伴う電源用配管配線の切り離し、接続は電気設備工事で行う。	
6. プルボックスのサイズは下記の通りとする。	
(傍記なし：銅板製 WP：防水型・SUS製)	
○	高さ×100 (mm)
○	奥行×100 (mm)
○	幅×100 (mm)

凡例		
記号	名称	備考
---	天井内配線	
---	露出配管配線	
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	床いんべい配管配線	
---	地中埋設配管配線	
---	天井内配線	立下り部は種金属線び (A型) 内配線とする。
■	分電盤	
■	動力盤	
□	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
□	プルボックス	
○	丸形露出ボックス	
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
⊕	区画貫通処理	
⊖	幹線番号	
⊕	ハンドホール	
●	埋込スイッチ (1P15A x 1)	露出スイッチボックス・新金属プレート

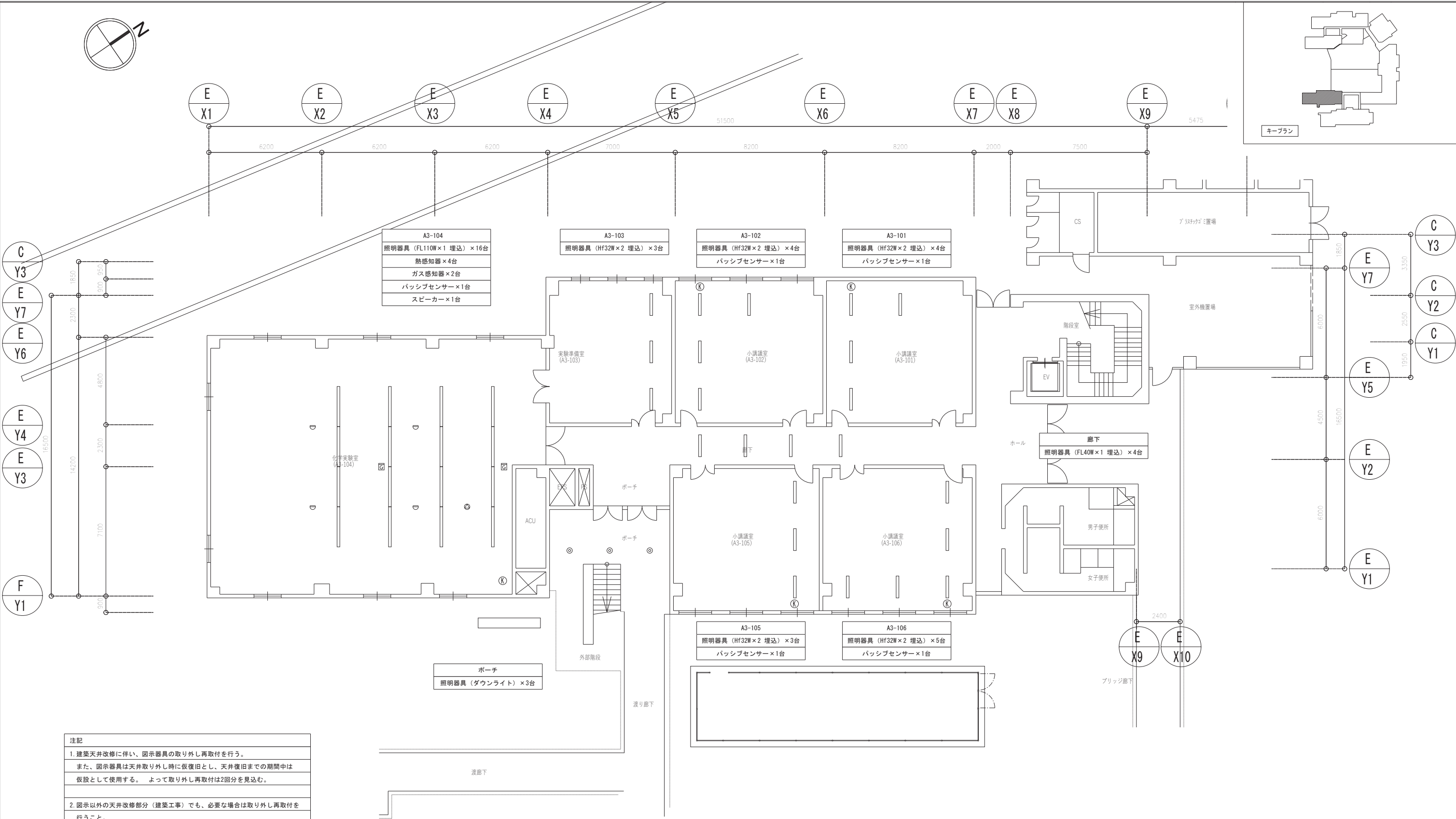
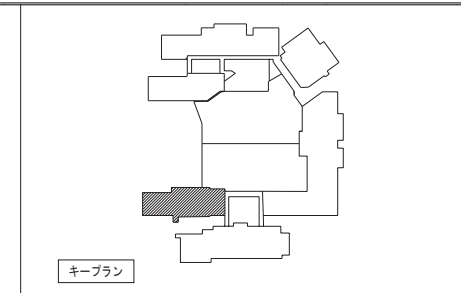
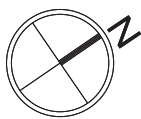
共通講義棟 A4棟



注記		
1. 図中濃線は撤去を示し、薄線は既設現状のままを示す		
2. 空調機器更新に伴う電源配管配線の切り離し、接続は電気設備工事にて行う。		
凡例		
記号	名称	備考
———	天井内配線	
- - - - -	露出配管配線	
———	地中埋設配管配線	
◀▶	動力盤	
□	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
⊠	プルボックス	300×300×100 WP
○	丸形露出ボックス	



共通講義棟 A4棟



A3-104
照明器具 (FL110W×1 埋込) × 16台
熱感知器 × 4台
ガス感知器 × 2台
パッシブセンサー × 1台
スピーカー × 1台

A3-103
照明器具 (HF32W×2 埋込) × 3台

A3-102
照明器具 (HF32W×2 埋込) × 4台
パッシブセンサー × 1台

A3-101
照明器具 (HF32W×2 埋込) × 4台
パッシブセンサー × 1台

A3-105
照明器具 (HF32W×2 埋込) × 3台
パッシブセンサー × 1台

A3-106
照明器具 (HF32W×2 埋込) × 5台
パッシブセンサー × 1台

ポーチ
照明器具 (ダウンライト) × 3台

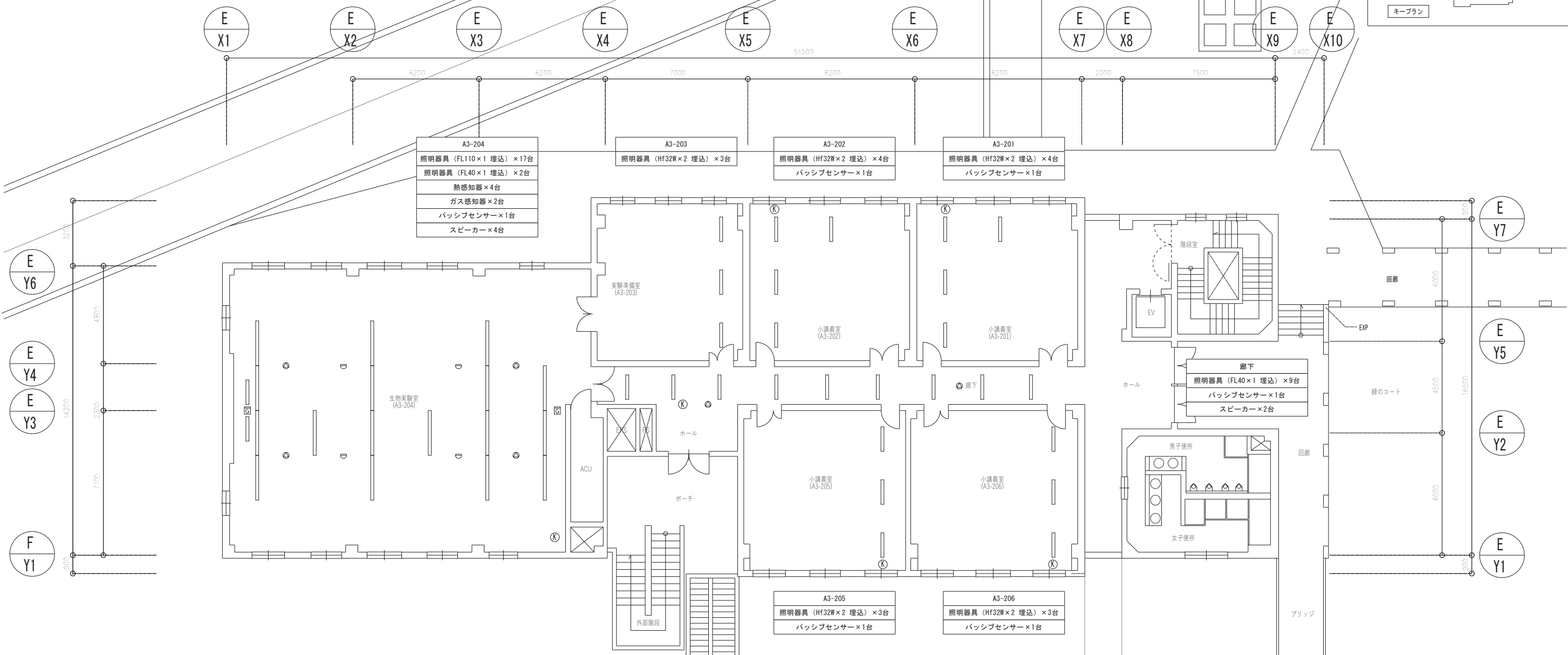
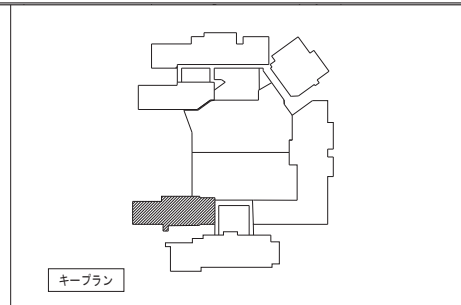
**注記**

1. 建築天井改修に伴い、図示器具の取り外し再取付を行う。  
また、図示器具は天井取り外し時に仮復旧とし、天井復旧までの期間中は仮設として使用する。よって取り外し再取付は2回分を見込む。
2. 図示以外の天井改修部分（建築工事）でも、必要な場合は取り外し再取付を行うこと。

**凡例**

記号	名称	備考
—	照明器具	
⊙	照明器具	ダウンライト
⊗	ガス感知器	
⊖	差動式スポット感知器	
⊕	光電式スポット型感知器	
⊛	スピーカー	
Ⓜ	監視カメラ	ドーム形
Ⓚ	パッシブセンサー	

共通講義棟 A3棟



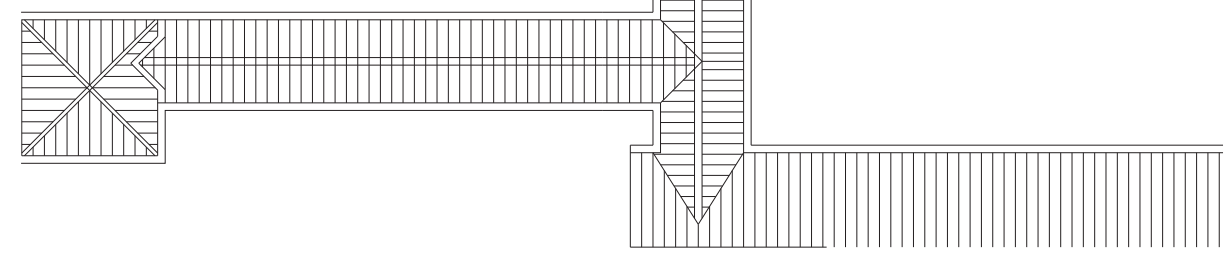
注記

1. 建築天井改修に伴い、図示器具の取り外し再取付を行う。  
また、図示器具は天井取り外し時に仮復旧とし、天井復旧までの期間中は仮設として使用する。 よって取り外し再取付は2回分を見込む。

2. 図示以外の天井改修部分（建築工事）でも、必要な場合は取り外し再取付を行うこと。

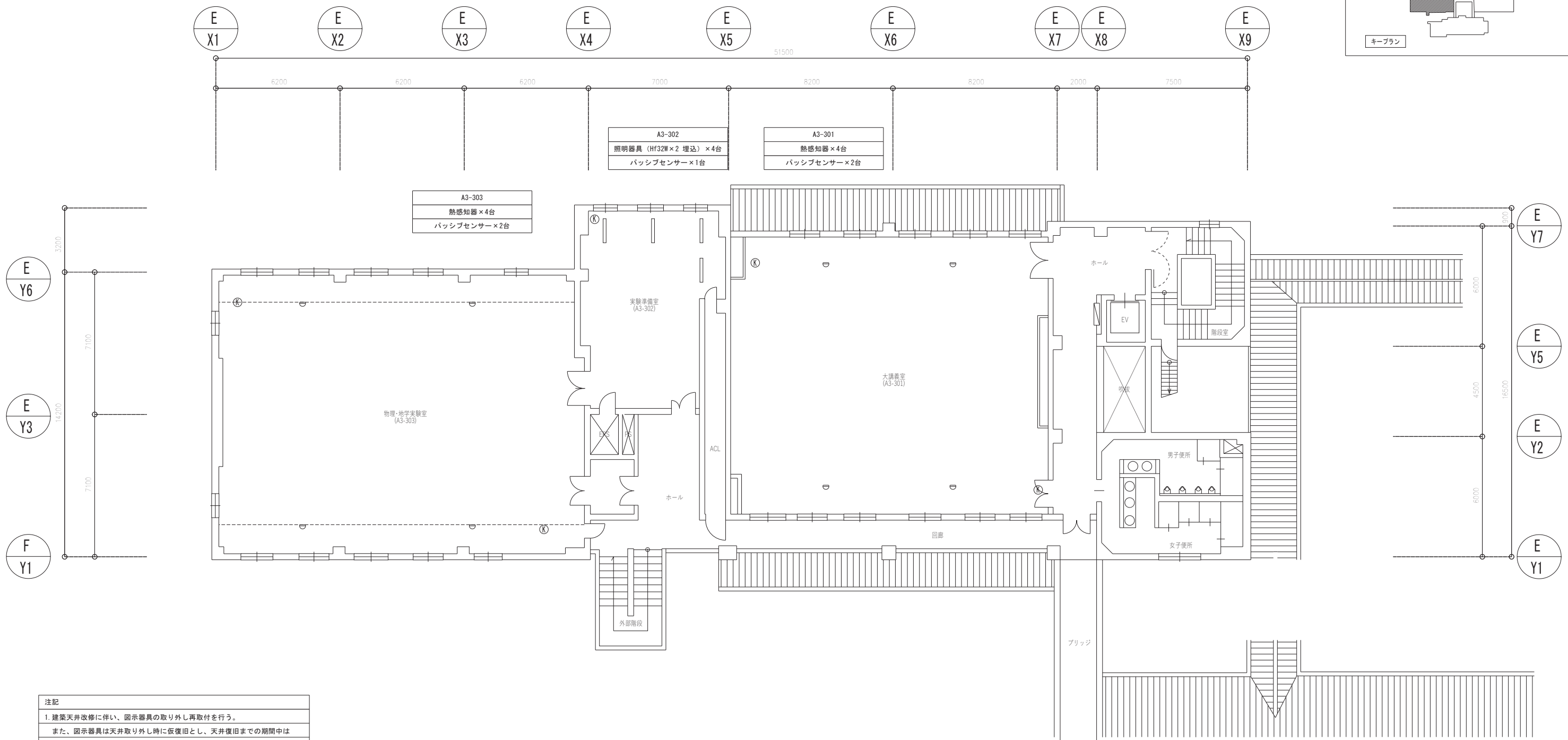
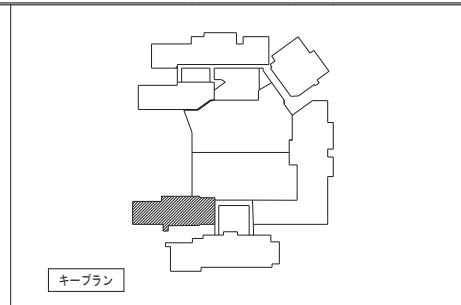
凡例

記号	名称	備考
—	照明器具	
◎	照明器具	ダウンライト
⊠	ガス感知器	
⊖	差動式スポット感知器	
⊞	光電式スポット型感知器	
⊙	スピーカー	
Ⓢ	監視カメラ	ドーム形
Ⓚ	パッシブセンサー	



共通講義棟 A3棟





**注記**

1. 建築天井改修に伴い、図示器具の取り外し再取付を行う。  
また、図示器具は天井取り外し時に仮復旧とし、天井復旧までの期間中は仮設として使用する。 よって取り外し再取付は2回を見込む。

2. 図示以外の天井改修部分（建築工事）でも、必要な場合は取り外し再取付を行うこと。

凡例		
記号	名称	備考
—	照明器具	
⊙	照明器具	ダウンライト
⊠	ガス感知器	
⊖	差動式スポット感知器	
⊕	光電式スポット型感知器	
⊗	スピーカー	
Ⓢ	監視カメラ	ドーム形
Ⓚ	パッシブセンサー	

共通講義棟 A3棟



D  
Y9

D  
Y7

D  
Y4

D  
Y1

4800

7800

15600

7800

A4-107
照明器具 (FL110W×1 埋込) ×10台
熱感知器×2台
パッシブセンサー×1台
スピーカー×2台

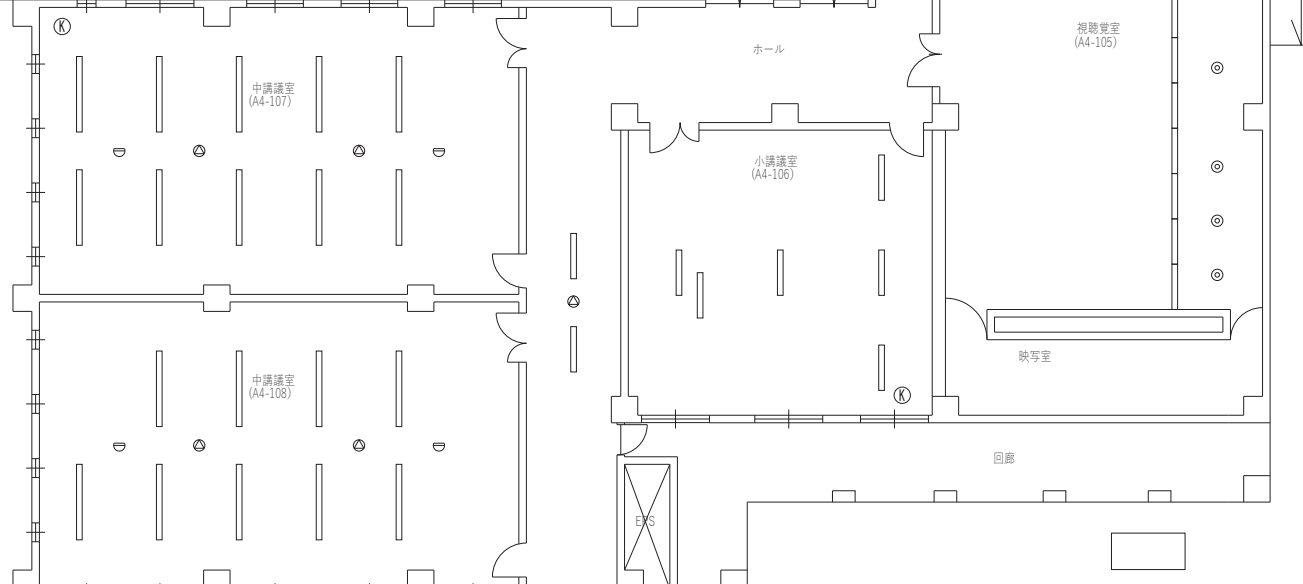
廊下
照明器具 (FL40W×1 埋込) ×2台
スピーカー×1

外部階段D

回廊

サービス車路

キープラン



A4-108
照明器具 (FL110W×1 埋込) ×9台
熱感知器×2台
スピーカー×2台

A4-106
照明器具 (HF32W×2 埋込) ×5台
照明器具 (FL40W×1 埋込) ×1台
パッシブセンサー×1台

A4-105
照明器具 (FL40W×1 埋込) ×9台
照明器具 (ダウンライト) ×6台
パッシブセンサー×1台

5400

5400

5400

4250

4250

8500

8500

D  
X1

D  
X2

D  
X3

D  
X4

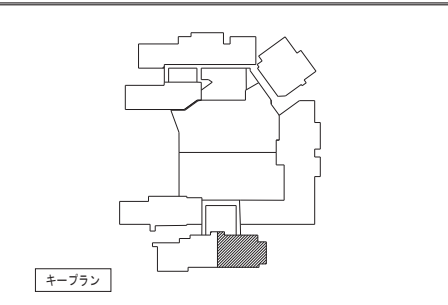
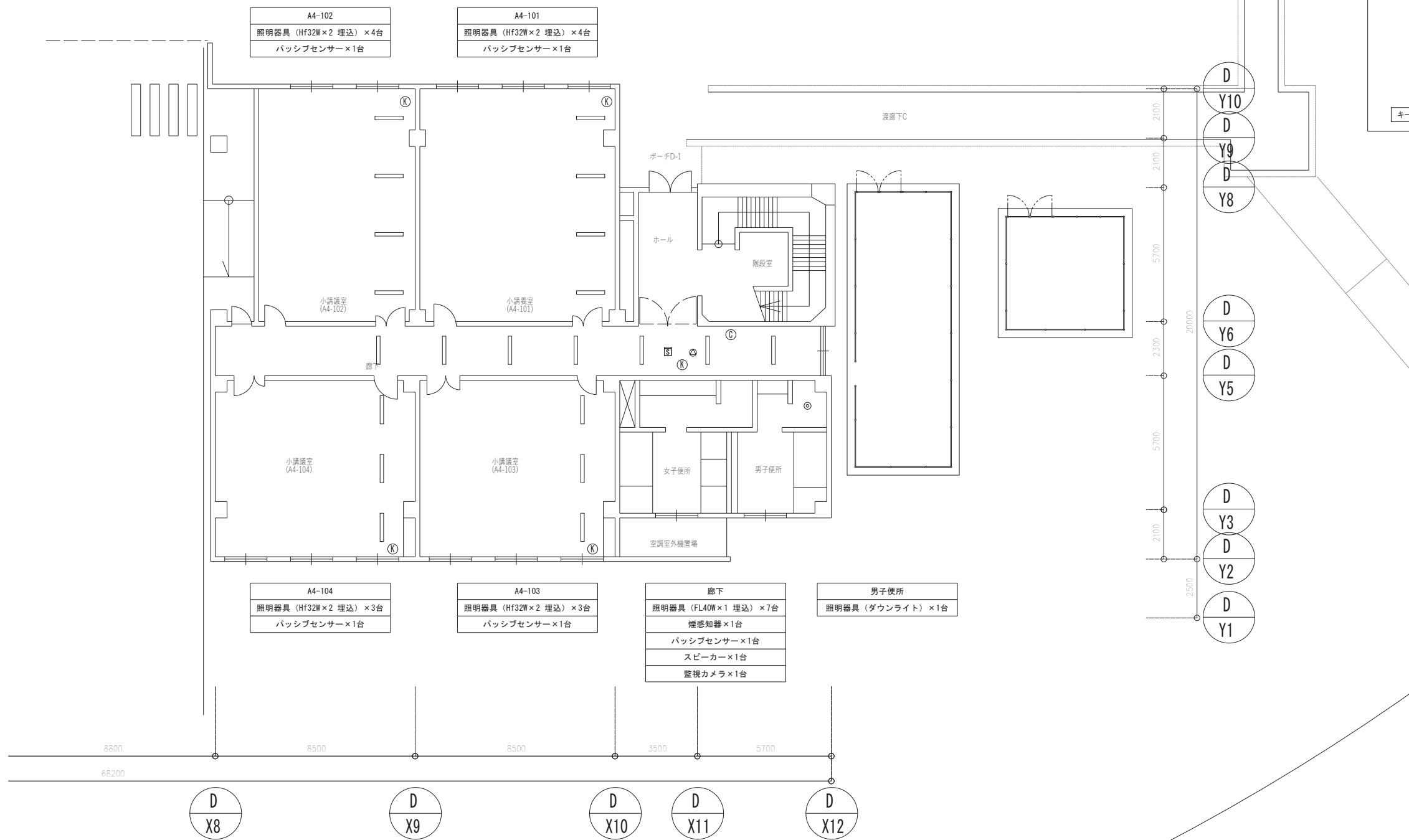
D  
X5

D  
X6

D  
X7

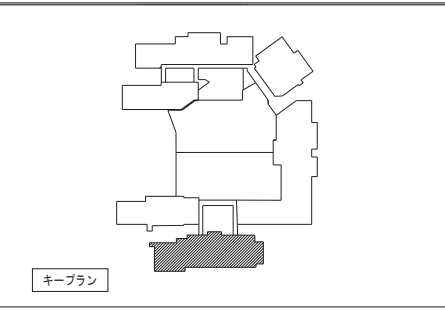
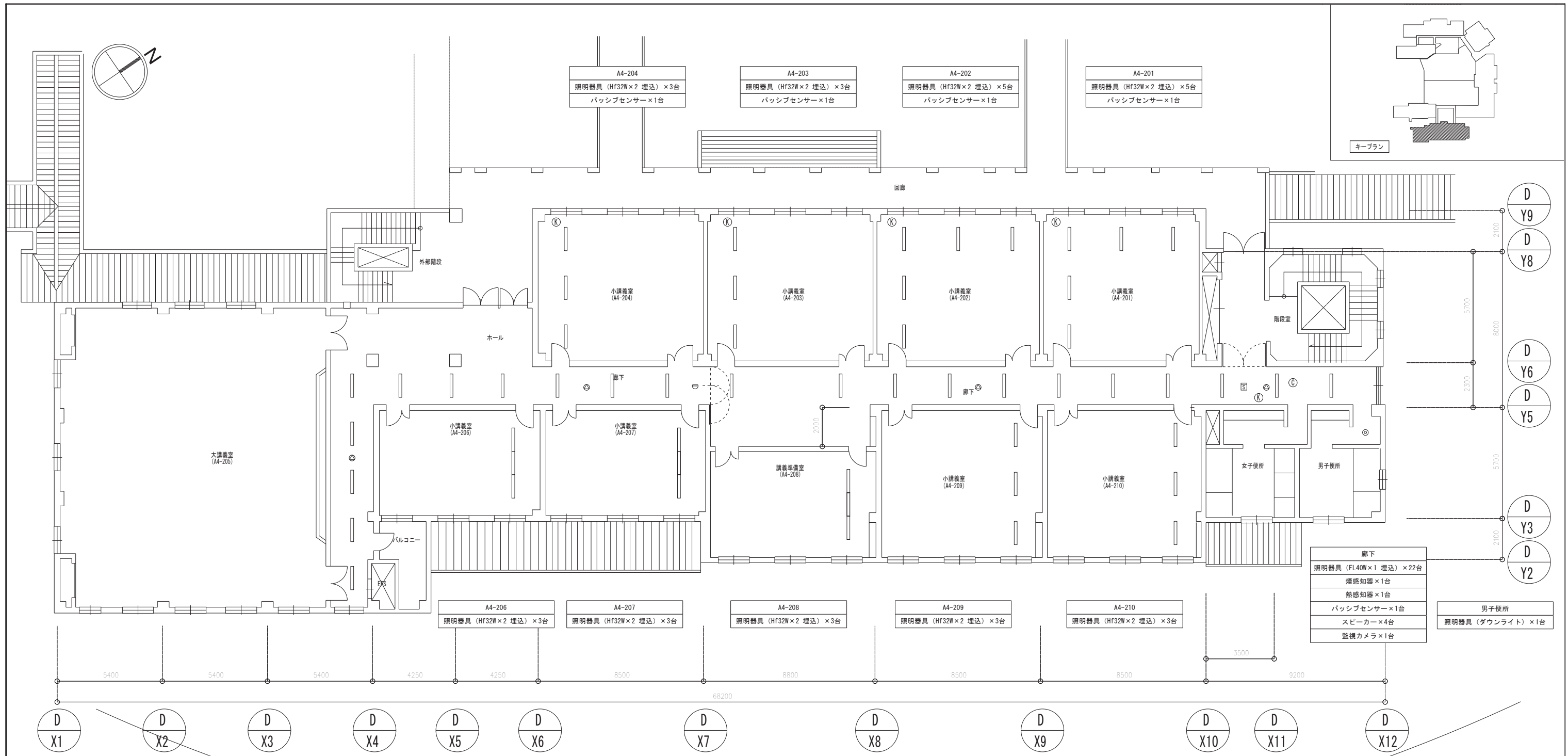
注記		
1. 建築天井改修に伴い、図示器具の取り外し再取付を行う。 また、図示器具は天井取り外し時に仮復旧とし、天井復旧までの期間中は仮設として使用する。よって取り外し再取付は2回分を見込む。		
2. 図示以外の天井改修部分（建築工事）でも、必要な場合は取り外し再取付を行うこと。		
凡例		
記号	名称	備考
☐	照明器具	
⊙	照明器具	ダウンライト
⊠	ガス感知器	
⊡	差動式スポット感知器	
⊢	光電式スポット型感知器	
⊣	スピーカー	
⊤	監視カメラ	ドーム形
⊥	パッシブセンサー	

共通講義棟 A4棟



注記		
1. 建築天井改修に伴い、図示器具の取り外し再取付を行う。		
また、図示器具は天井取り外し時に仮復旧とし、天井復旧までの期間中は仮設として使用する。 よって取り外し再取付は2回を見込む。		
2. 図示以外の天井改修部分（建築工事）でも、必要な場合は取り外し再取付を行うこと。		
凡例		
記号	名称	備考
—	照明器具	
⊙	照明器具	ダウンライト
⊠	ガス感知器	
⊖	差動式スポット感知器	
⊕	光電式スポット型感知器	
⊗	スピーカー	
⊙	監視カメラ	ドーム形
⊕	パッシブセンサー	

共通講義棟 A4棟



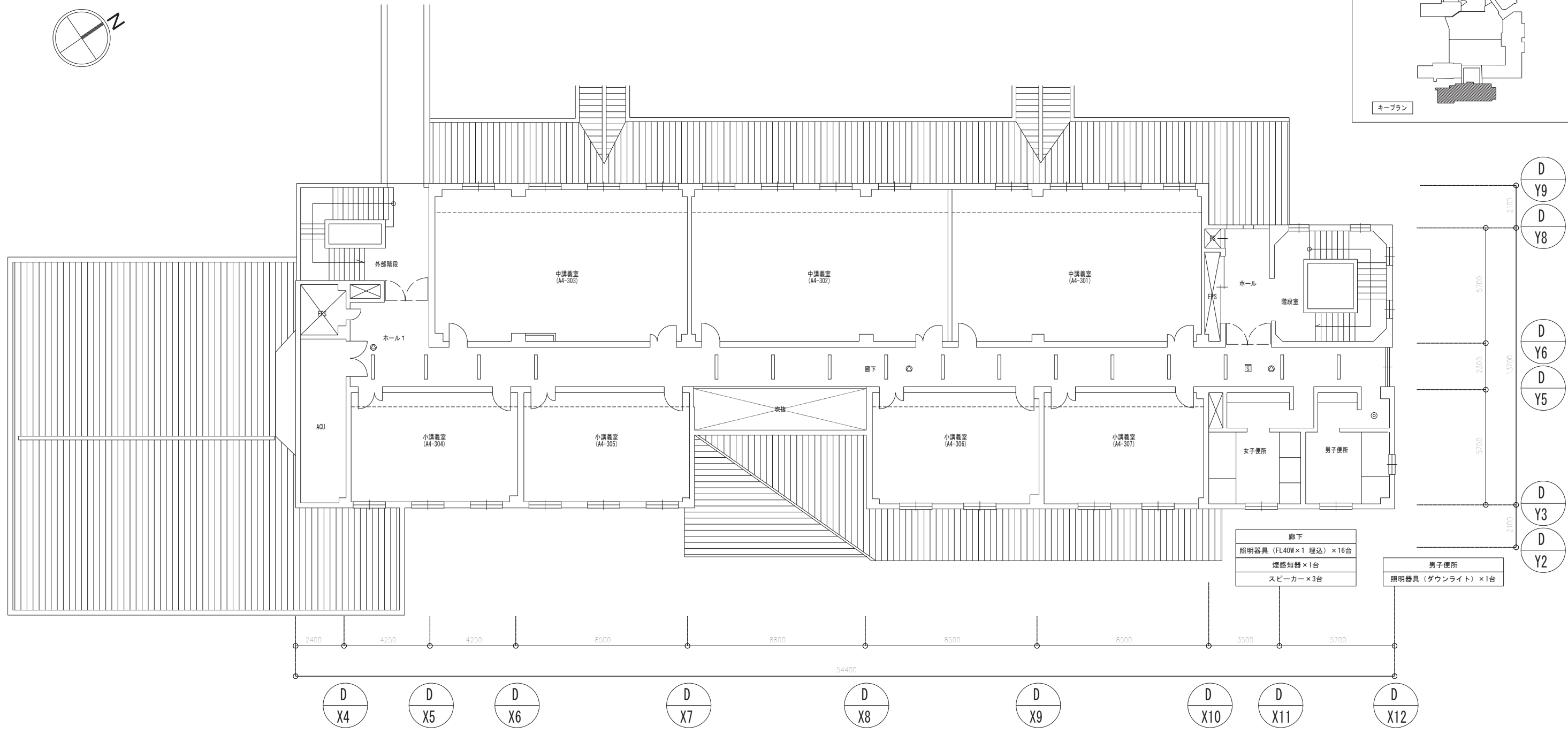
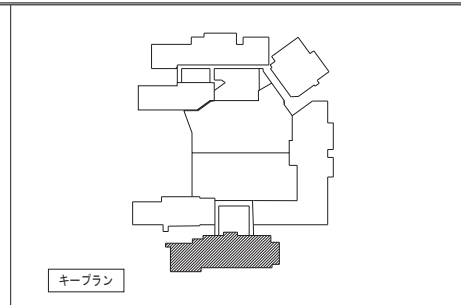
注記

- 建築天井改修に伴い、図示器具の取り外し再取付を行う。  
また、図示器具は天井取り外し時に仮復旧とし、天井復旧までの期間中は仮設として使用する。よって取り外し再取付は2回を見込む。
- 図示以外の天井改修部分（建築工事）でも、必要な場合は取り外し再取付を行うこと。

凡例

記号	名称	備考
—	照明器具	
⊙	照明器具	ダウンライト
⊠	ガス感知器	
⊖	差動式スポット感知器	
⊕	光電式スポット型感知器	
⊗	スピーカー	
Ⓢ	監視カメラ	ドーム形
Ⓚ	パッシブセンサー	

共通講義棟 A4棟



廊下  
 照明器具 (FL40W×1 埋込) × 16台  
 煙感知器 × 1台  
 スピーカー × 3台

男子便所  
 照明器具 (ダウンライト) × 1台

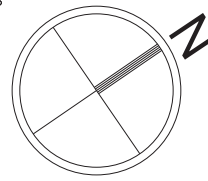
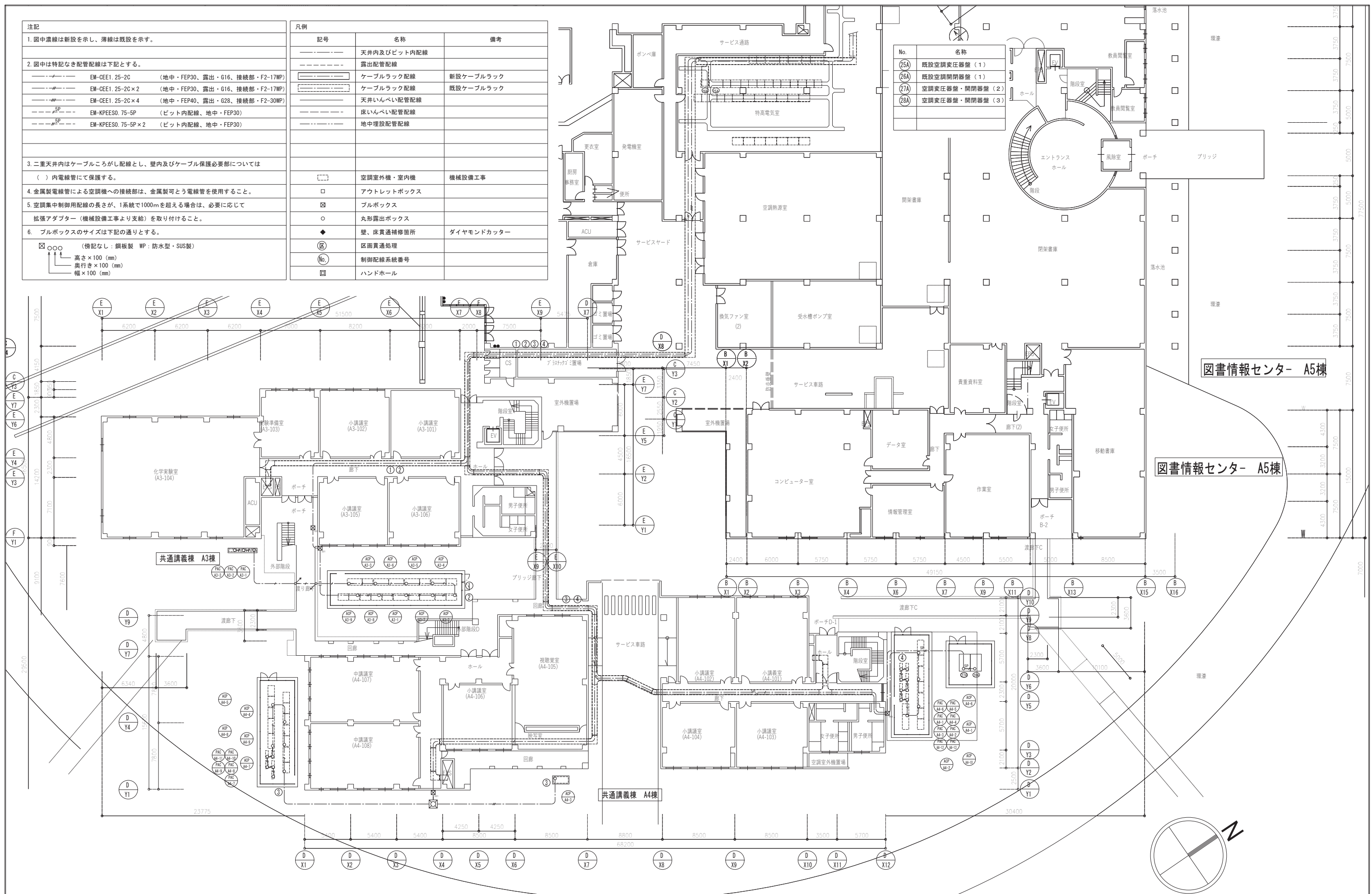
注記		
1. 建築天井改修に伴い、図示器具の取り外し再取付を行う。 また、図示器具は天井取り外し時に仮復旧とし、天井復旧までの期間中は仮設として使用する。 よって取り外し再取付は2回分を見込む。		
2. 図示以外の天井改修部分（建築工事）でも、必要な場合は取り外し再取付を行うこと。		
凡例		
記号	名称	備考
—	照明器具	
⊙	照明器具	ダウンライト
⊠	ガス感知器	
⊔	差動式スポット感知器	
⊞	光電式スポット型感知器	
⊕	スピーカー	
Ⓢ	監視カメラ	ドーム形
Ⓚ	パッシブセンサー	

共通講義棟 A4棟

注記	
1. 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。	
2. 図中は特記なき配管配線は下記とする。	
EM-GEE1.25-2C	(地中・FEP30、露出・G16、接続部・F2-17WP)
EM-GEE1.25-2C×2	(地中・FEP30、露出・G16、接続部・F2-17WP)
EM-GEE1.25-2C×4	(地中・FEP40、露出・G28、接続部・F2-30WP)
EM-KPEES0.75-5P	(ビット内配線、地中・FEP30)
EM-KPEES0.75-5P×2	(ビット内配線、地中・FEP30)
3. 二重天井内はケーブルごし配線とし、壁内及びケーブル保護必要部については ( ) 内電線管にて保護する。	
4. 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製可とう電線管を使用すること。	
5. 空調集中制御用配線の長さが、1系統で1000mを超える場合は、必要に応じて 拡張アダプター（機械設備工事より支給）を取り付けること。	
6. プルボックスのサイズは下記の通りとする。	
<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> (傍記なし：鋼板製 WP：防水型・SUS製) 高さ×100 (mm) 奥行き×100 (mm) 幅×100 (mm)	

凡例			
記号	名称	備考	
---	天井内及びビット内配線		
---	露出配管配線		
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック	
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック	
---	天井いんべい配管配線		
---	床いんべい配管配線		
---	地中埋設配管配線		
[ ]	空調室外機・室内機	機械設備工事	
□	アウトレットボックス		
☒	プルボックス		
○	丸形露出ボックス		
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター	
Ⓧ	区画貫通処理		
(No)	制御配線系統番号		
Ⓧ	ハンドホール		

No.	名称
25A	既設空調変圧器盤 (1)
26A	既設空調開閉器盤 (1)
27A	空調変圧器盤・開閉器盤 (2)
28A	空調変圧器盤・開閉器盤 (3)



注記

1. 図中濃線は新設を示し、薄線は既設を示す。

2. 図中の特記なき配管配線は下記とする。

EM-CEE1.25-2C	(地中・FEP30、露出・G16、接続部・F2-17WP)
EM-CEE1.25-2C×2	(地中・FEP30、露出・G16、接続部・F2-17WP)
EM-CEE1.25-2C×4	(地中・FEP40、露出・G28、接続部・F2-30WP)
EM-KPEES0.75-5P	(ビット内配線、地中・FEP30)
EM-KPEES0.75-5P×2	(ビット内配線、地中・FEP30)

3. 二重天井内はケーブルがし配線とし、壁内及びケーブル保護必要部については( )内電線管にて保護する。

4. 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製可とう電線管を使用すること。

5. 空調集中制御用配線の長さが、1系統で1000mを超える場合は、必要に応じて拡張アダプター(機械設備工事より支給)を取り付けること。

6. プルボックスのサイズは下記の通りとする。

○ (傍記なし: 銅板製 WP: 防水型・SUS製)

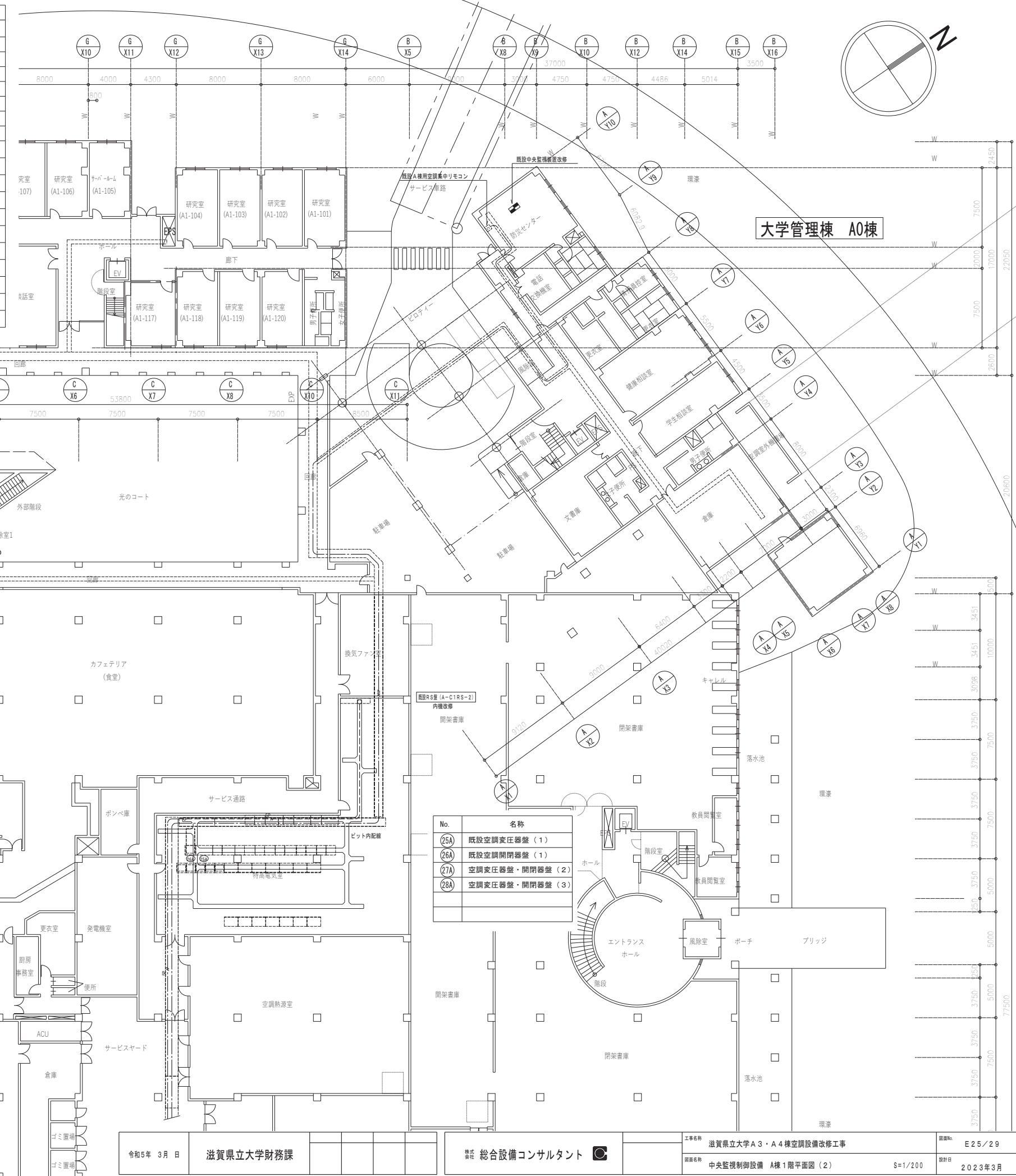
○ 高さ×100 (mm)

○ 奥行き×100 (mm)

○ 幅×100 (mm)

凡例

記号	名称	備考
---	天井内及びビット内配線	
---	露出配管配線	
---	ケーブルラック配線	新設ケーブルラック
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	床いんべい配管配線	
---	地中埋設配管配線	
□	空調室外機・室内機	機械設備工事
□	アウトレットボックス	
□	プルボックス	
○	丸形露出ボックス	
◆	壁、床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
⊕	区画貫通処理	
Ⓝ	制御配線系統番号	
⊕	ハンドホール	

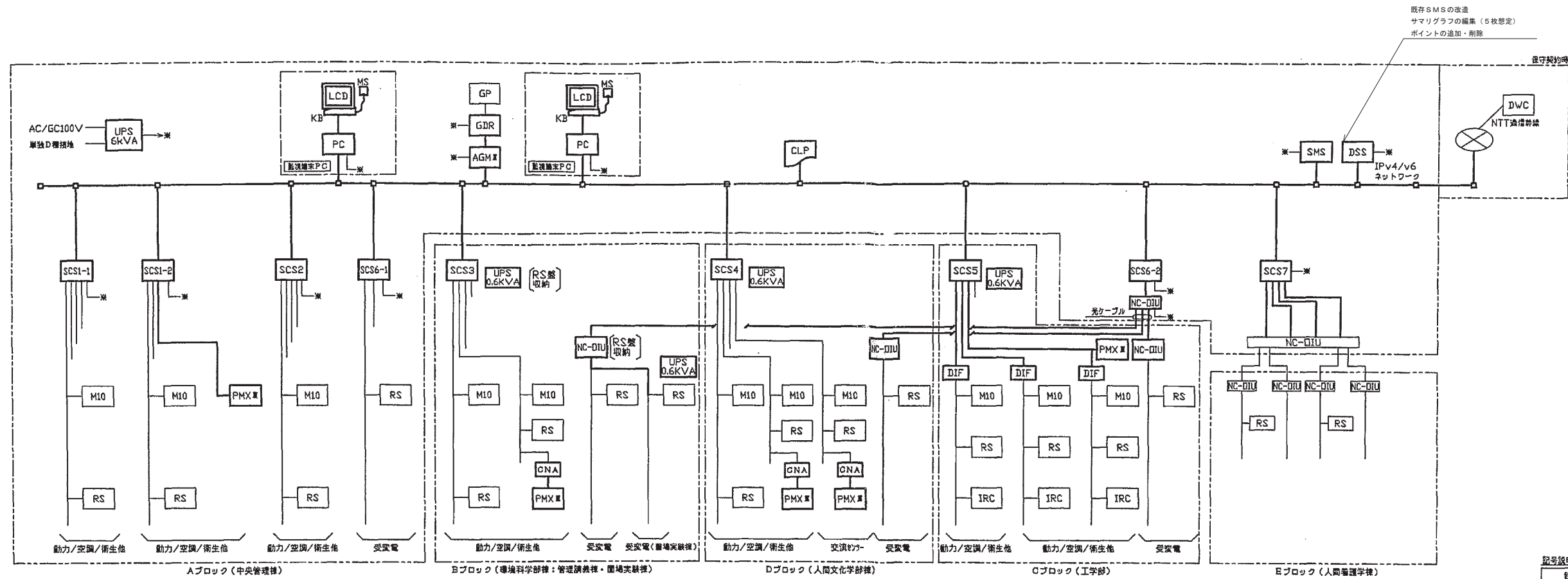


学生ホール A2棟

エネルギーセンター棟

大学管理棟 A0棟

No.	名称
25A	既設空調変圧器盤 (1)
26A	既設空調開閉器盤 (1)
27A	空調変圧器盤・開閉器盤 (2)
28A	空調変圧器盤・開閉器盤 (3)



既存SMSの改造  
サマリグラフの編集 (5枚想定)  
ポイントの追加・削除

記号説明

記号	名称
MCU	主制御装置
CPU	中央処理装置
MD	マグネットディスク
FD	フロッピーディスク
CMT	カセットマグネットテープ
PRT	プリンタ
CRT	カラーディスプレイ
KB	キーボード
MS	マウス
GDR	グラフィックドライバ
AGBU	GDRバックアップユニット
SCU	サブセントラルユニット
C-DIU	光インターフェースユニット (旧)
DRU	光リレーユニット
CNA	CNAアダプター
NC-DIU	光インターフェースユニット
EC-NET	コントロールネット
DIF	コントローライインターフェース
DWC	データウェアハウス (遠隔監視センター)

<工事概要>  
 ・既存SMSの改造 (サマリグラフの編集、ポイント追加及び削除)  
 ・既存中央管理点一覧表のハッチング部分のポイント削除  
 ・新規中央管理点一覧表のポイント追加  
 ・A-C I RS-2の盤改造  
 ・リモートユニットは今回追加分のポイントと将来対応分を見込む。



入出力項目	a.発停、状態、警報(CCS故障監視付)(C-T制御)		b.発停、状態(CCS故障監視付)(C-T制御)		C.照明発停。(C-T制御)	d.FCU、Dikai 発停、状態(C-T制御)		e.発停、状態	
	瞬時接点出力	接点入力	瞬時接点出力	接点入力	リモコン接点出力	リモコンパルス接点出力	瞬時接点出力	接点入力	
リモートユニット RS M10									
外部配線									
現場側機器 受変電盤 動力盤 分電盤 検測盤 自動盤 他									
備考	<p>a-a接点</p> <p>1. 状態確認用入力接点は、補助継電器(52X)側を使用のこと</p> <p>2. 遠方用補助継電器(CX, TX)には、スパークキラー(ダイオード等)を取付のこと。</p>		<p>a-a接点</p> <p>1. 状態確認用入力接点は、補助継電器(52X)側を使用のこと</p> <p>2. 遠方用補助継電器(CX, TX)には、スパークキラー(ダイオード等)を取付のこと。</p>		<p>リモコンリレー回路には、DI回路が1つあり、リモコンリレー状態信号を入力しています。端子の色はJ1560で規定されています。</p>	<p>リモコンリレードライバ回路には、DI回路が1つあり、リモコンリレー状態信号を入力しています。端子の色はJ1560で規定されています。</p>	<p>a-b接点</p> <p>1. 状態確認用入力接点は、補助継電器(52X)側を使用のこと</p> <p>2. 遠方用補助継電器(CX)には、スパークキラー(ダイオード等)を取付のこと。</p> <p>(注)AUTのリレーは、メインテナンスとしてリレーをマークします。</p>		

入出力項目	f.状態・警報監視	g.状態監視	h.故障又は警報監視	i.計量(パルス)入力	j.アナログ入力	k.アナログ入力	l.アナログ入力	m.アナログ出力	
	接点入力	接点入力	接点入力	無電圧単位接点パルス	電流入力	流入力	温度入力	電流出力	
リモートユニット RS M10									
外部配線									
現場側機器 受変電盤 動力盤 分電盤 検測盤 自動盤 他									
備考	<p>1. 入力信号 無電圧a接点連続</p> <p>2. 回路電圧、電流 DC12V, 10mA</p>		<p>1. 入力信号 無電圧a接点連続</p> <p>2. 回路電圧、電流 DC12V, 10mA</p>	<p>1. 入力信号 無電圧a接点連続</p> <p>2. 回路電圧、電流 DC12V, 10mA</p>	<p>仕様</p> <p>1. 入力信号 12VDC, 10mA</p> <p>2. 入力信号条件 ON時間30ms以上 OFF時間30ms以上 ON+OFF時間100ms以上の3つの条件を満たすこと。</p> <p>30ms ON 30ms OFF 100ms以上</p>	<p>1. 入力信号 DC4~20mA</p> <p>2. 入力インピーダンス 300Ω</p> <p>3. アイソレーションなし</p>	<p>1. 入力信号 0~100mVDC</p> <p>2. 入力インピーダンス 1MΩ以上</p> <p>3. アプリケーションなし</p>	<p>1. 入力信号 Pt100Ω, JPt100Ω</p> <p>2. 回路電圧、電流 DC1V, 1mA</p> <p>3. 計測レンジ 0~50℃, -50~100℃, -20~80℃, 50~200℃</p>	<p>1. 出力信号 4~20mA DC</p> <p>2. 出力電圧 24VDC</p> <p>3. 最大負荷抵抗 600Ω</p> <p>4. アイソレータ付</p>



設備記号	名 称	自動制御盤	番号取合先	リモート 種別	操 作		表 示		計 測			備 考
					設定	オンオフ	状態	警報	温度	湿度	その他	
	【今回追加ポイント】											
LBSPE	動力E LBS PF断	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (2)	RS			1					取合回路h
26PE	動力E TR温度上昇	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (2)	RS			1					取合回路h
LGRPE	動力E 低圧地絡	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (2)	RS			1					取合回路h
MCBPE	動力E MCBトリップ	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (2)	RS			1					取合回路h
MDAPE	動力E TR2次過電流	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (2)	RS			1					取合回路h
LBSPF	動力F LBS PF断	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (3)	RS			1					取合回路h
26PF	動力F TR温度上昇	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (3)	RS			1					取合回路h
LGRPF	動力F 低圧地絡	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (3)	RS			1					取合回路h
MCBPF	動力F MCBトリップ	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (3)	RS			1					取合回路h
MDAPF	動力F TR2次過電流	A-CIRS-2	空調実在警報・閉断警報 (3)	RS			1					取合回路h

建築工事特記仕様書
I 工 事 名 称 滋賀県立大学A3棟空調設備改修工事
I 工 事 場 所 滋賀県彦根市八坂町2600 敷地面積 320.814㎡
用 途 規 制 第1種低層 第2種低層 第1種中高層 第2種中高層 第1種住居 第2種住居
防 火 規 制 準住居 準防火地域 商業 工業 工業専用 指定なし
工 事 期 間 ・ 限 工 事 開 始 日 令和 年 月 日 工 事 結 束 日 令和 年 月 日
1 A3棟 外構
①仮設足場工事 ②天井ボンド撤去養生工事 ③天井点検口設置工事
④室外機基礎および目隠しフェンス設置工事 ④植栽撤去工事

27 建築材料等
建築材料等は、極力県内産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。
(1.4.1)
28 総合評価方式に関する特記事項
1. 競争参加資格の確認申請時の技術提案内容の担保
請負人は、競争参加資格の確認申請時に提出した施工計画等に関する技術提案書(以下、「技術提案書」という。)に基づき、工事を履行しなければならない。

2. 提案の範囲
請負人は、設計図書に定められている内容のうち工事材料および施工方法等に係る変更により請負代金の低減を伴うものとし、原則として工率目的物の変更を伴わないものとする。
(1) 乙がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料および施工方法等に係る変更により請負代金の低減を伴うものとし、原則として工率目的物の変更を伴わないものとする。
(2) 以下の特記事項は、VE提案の範囲に含まないものとする。
①施工方法を除く工率の延長等の施工条件の変更を伴うもの。
②契約書18条にもとづき条件変更が認められた後の提案。
3. VE提案書の提出
(1) 乙がVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書(様式1~4)に記載し、甲に提出しなければならない。
5. VE提案の採否等
(1) 甲は、VE提案の採否について、VE提案の受領後14日以内に書面により通知するものとする。
ただし、乙の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。
(2) 提出されたVE提案が適正と認められなかった場合は、その理由を付して行うものとする。
(3) 甲は、VE提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第19条の2の規定に基づくものとする。
(4) 甲は、VE提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第24条の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
6. VE提案の確保
VE提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で使用できるものとする。
7. 責任の所在
発注者がVE提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った請負人の責任が否定されるものではない。

34 近隣住民等への説明
35 近隣家屋の調査
36 近隣施設との連絡協議
38 住宅性能評価書
⑬ 暴風等による不当介入の排除
⑭ 環境配慮指針
⑯ 監督員事務所
⑰ 仮囲い
⑱ 工事用電力シート
⑲ 足場
⑳ 埋戻しおよび盛土
㉑ 建設発生土の処理
㉒ 山留め
㉓ 試験掘削
㉔ 試験杭
㉕ 載荷試験
㉖ 既製コンクリート杭
㉗ 鋼杭
㉘ 鉄筋帯筋独立の形及び割付け
㉙ コンクリート種類
㉚ 鋼材工法
㉛ 杭の種類
㉜ 杭先端の形状
㉝ 杭の軸手
㉞ 杭周固定
㉟ 鋼材の種類
㊱ 杭先端の形状
㊲ 杭の軸手
㊳ 杭周固定
39 現場打打ちコンクリート
40 土工制点検
41 設計G.L.
42 探検性機械物の室内直度測定
43 不法無届用の排除
44 取扱説明書の作成

令和5年3月日
滋賀県立大学財務課
滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事
建築工事特記仕様書(1)
NO SCALE
2023年3月

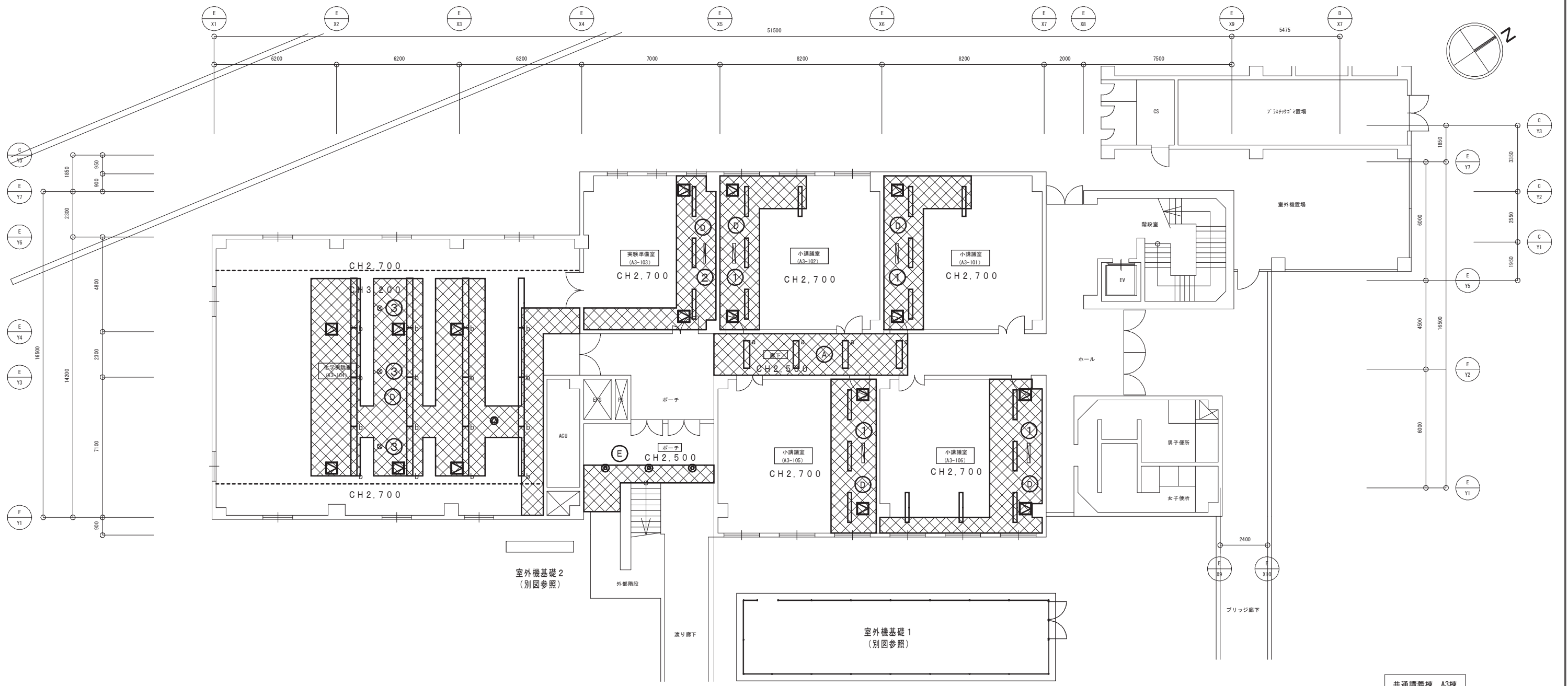
5 鉄筋工事
① 鉄筋の種類
② 溶接金網
③ 加工および組立
④ 鉄筋の継手
⑤ 圧接完了後の検査
⑥ 土間コンクリート補強

7 鉄骨工事
1 鋼材
2 エンドタブの処理
3 耐火被覆
4 高力ボルト
5 溶接部の検査
6 鉄骨面の錆止めの塗装
7 アンカーボルトの保持及び埋込
8 鋼材底均しモルタル
9 施工管理技術者
14 金属工事
1 工法
2 鉄鋼の重ね付
3 材料
4 形状及び寸法
15 左官工事
1 モルタル塗り床目地
2 セルフレベリング材塗り
3 防水モルタル塗り
4 仕上塗材仕上げ
5 ロックウール吹付

18 塗装工事
① 素地ごしらえ
2 錆止め塗料塗り
⑤ 一般塗料
4 特殊塗料
19 内装工事
① せっこうボード
20 ユニツト及びその他工事
1 フリーアキスフロア
2 可動間仕切り (h-17タイプ)
3 移動間仕切り
4 階段滑り止め
5 黒板
6 ホワイトボード
7 掲示板
8 衝突防止表示
9 案内表示等
10 ブラインド
11 ロースクリーン
12 カーテン
13 カーテンレール
14 ブラインドボックス
15 くつふきマット
16 消火器
17 送り付け家具
18 フェンス
19 天井点検口

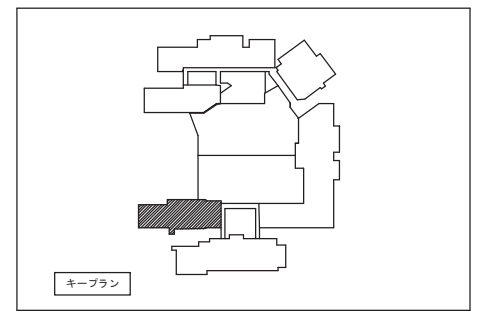
22 舗装工事
1 路床
2 路盤
3 アスファルト舗装
4 コンクリート舗装
5 カラー舗装
6 透水性アスファルト舗装
7 排水性アスファルト舗装
8 ブロック系舗装
23 植栽及び屋上緑化工事
1 植栽地の確認等
2 植栽基準の整備
3 芝
4 新植、移植樹木、芝等の枯保証
24 解体工事
① 解体工事に関する特記事項

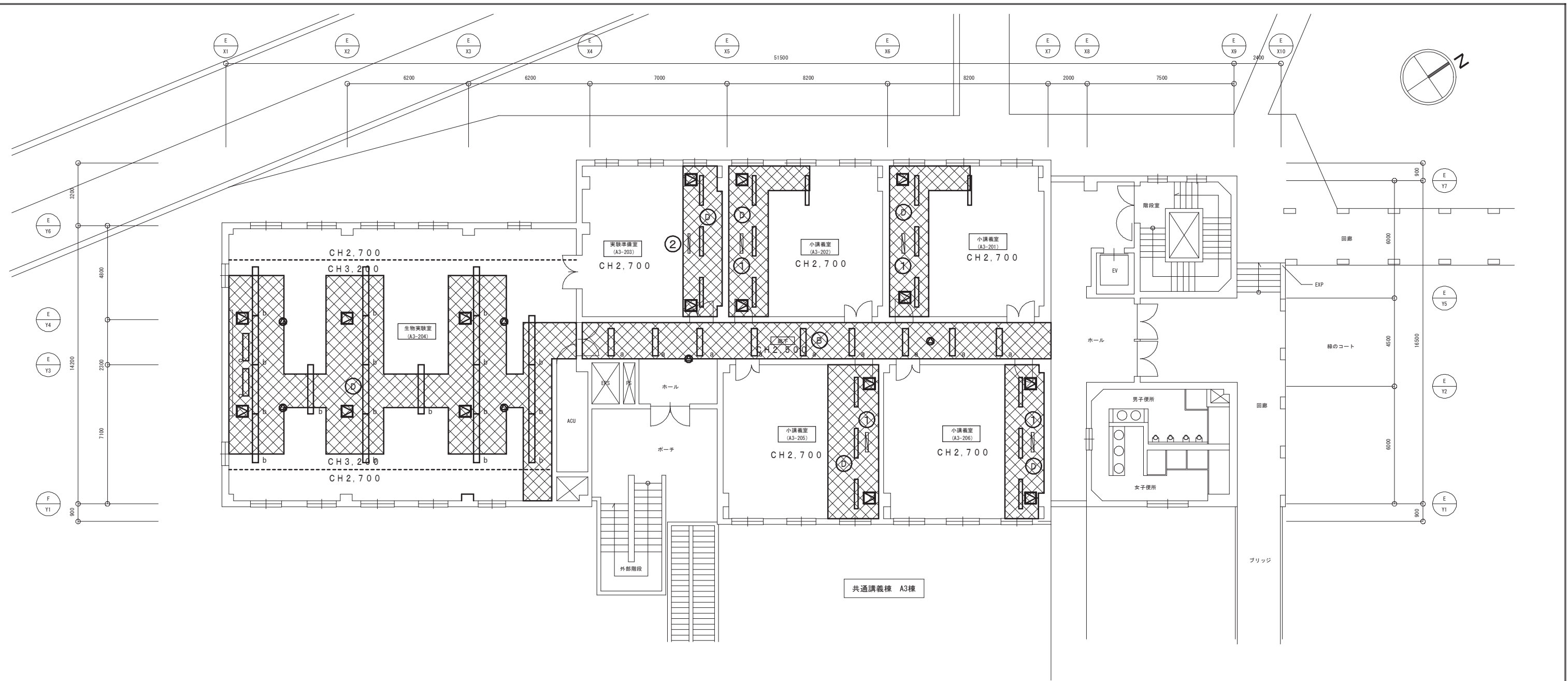




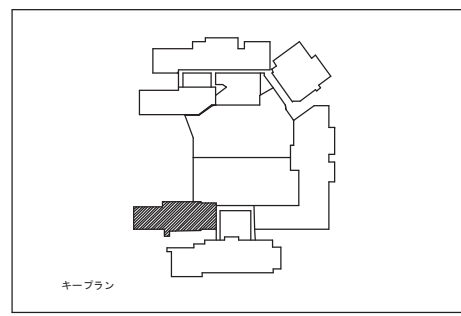
共通講義棟 A3棟

略号表示 (天井仕上)		凡 例		開口補強 (空調) リスト		
(A)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚9.5捨貼)		天井 仕上材及LGS下地撤去及新設の範囲を示す	番号	既存開口寸法	改修後開口寸法
(B)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚12.5捨貼)			①	1,100 x 150	1,100 x 150
(C)	有孔シナベニヤ 厚5.5CL塗 (ロックウール25mm充填) 仮撤去 → 仮撤去品復旧 (木製廻縁は既存のまま)		改修対象室を示す	②	1,100 x 100	1,100 x 100
(D)	化粧石膏ボード 厚9.5		開口補強 (空調) (開口寸法はリストによる)	③	250φ	250φ
(E)	ケイカル板 厚6 AEP塗		既存埋込照明 (埋込穴寸法 220x1250) 19ヶ所	④	800 x 200	800 x 200
天井と壁の取合いはアルミ製廻り縁新設			既存埋込照明 (埋込穴寸法 130x1250) 4ヶ所			
LGS下地撤去部の吊ボルトは再利用とする。			既存埋込照明 (埋込穴寸法 150x2500) 16ヶ所			
天井撤去及復旧部に掛かる点検口は取外し及再取付とする (開口補強新設)			既存埋込照明 (埋込穴寸法 260x1270) ヶ所			
照明器具等設備器具の取外し、再取付は本工事 (電気設備) とし、			ダウンライト (開口寸法 150φ) 3ヶ所			
開口 (補強共) は本工事とする			既存 スピーカー (開口寸法 150φ) 1ヶ所			
標詳細図 3-01、11、12、21、41、42参照			既存 煙感知器 (開口寸法 120φ) ヶ所			
			点検口 アルミ製 600角 16ヶ所			

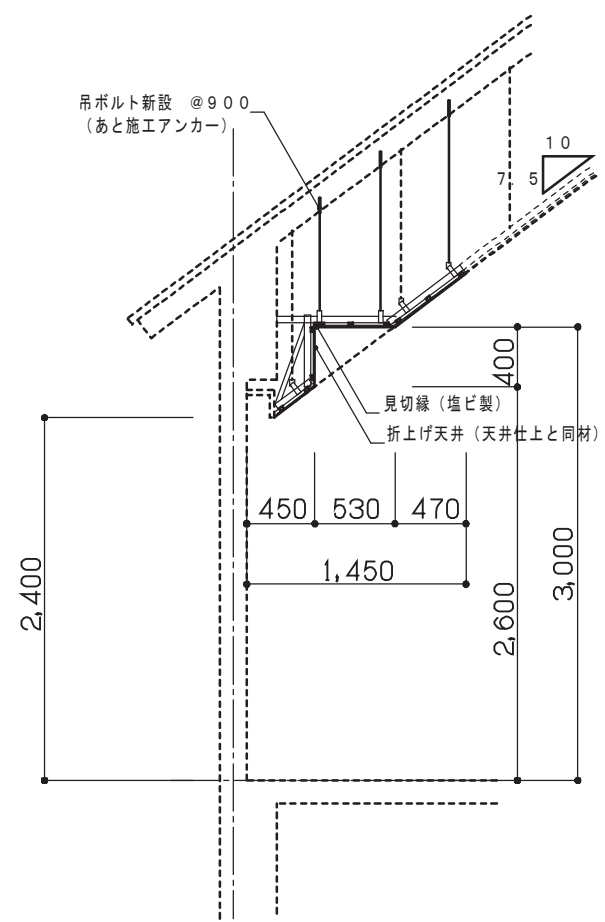
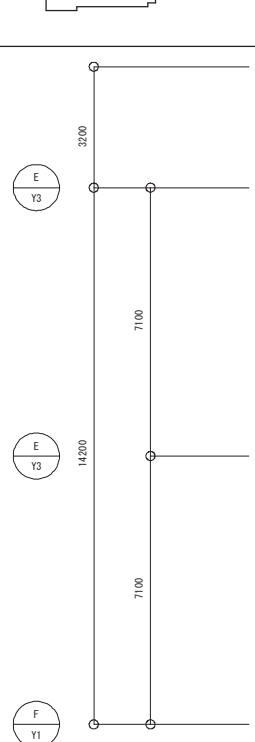
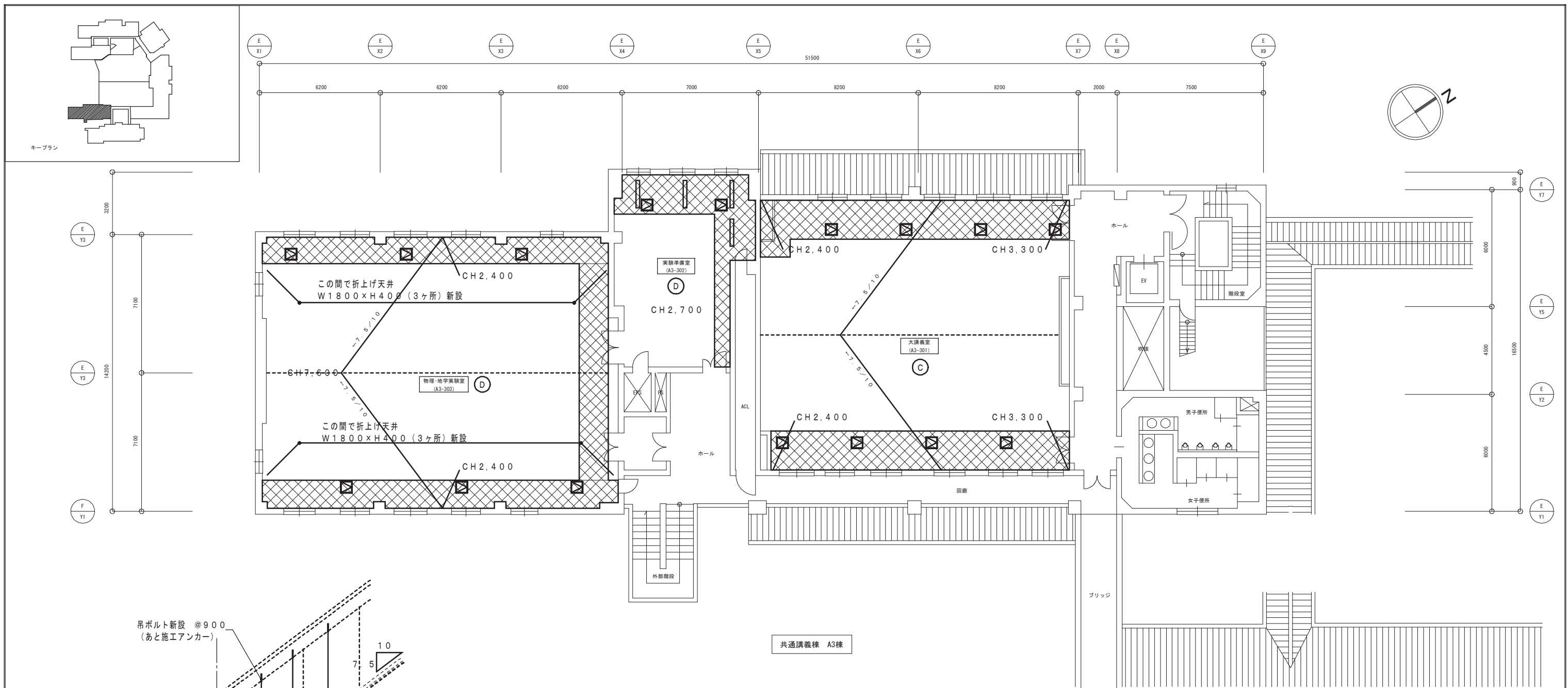




略号表示 (天井仕上)		凡 例		開口補強 (空調) リスト		
(A)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚9.5 捨貼)		天井 仕上材及LGS下地撤去及新設の範囲を示す	番号	既存開口寸法	改修後開口寸法
(B)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚12.5 捨貼)			①	1,100 x 150	1,100 x 150
(C)	有孔シナベニヤ 厚5.5 CL塗 (ロックウール25mm充填)		改修対象室を示す	②	1,100 x 100	1,100 x 100
	仮撤去 → 仮撤去品復旧 (木製廻縁は既存のまま)		開口補強 (空調) (開口寸法はリストによる)	③	250φ	250φ
(D)	化粧石膏ボード 厚9.5		既存埋込照明 (埋込穴寸法 220x1250) 15ヶ所	④	800 x 200	800 x 200
(E)	ケイカル板 厚6 AEP塗		既存埋込照明 (埋込穴寸法 130x1250) 9ヶ所			
	天井と壁の取合いはアルミ製廻り縁新設		既存埋込照明 (埋込穴寸法 150x2500) 17ヶ所			
	LGS下地撤去部の吊ボルトは再利用とする。		既存埋込照明 (埋込穴寸法 260x1270) 2ヶ所			
	天井撤去及復旧部に掛かる点検口は取外し及再取付とする (開口補強新設)		既存埋込照明 (開口寸法 150φ) ヶ所			
	照明器具等設備器具の取外し、再取付は本工事 (電気設備) とし、		既存 スピーカー (開口寸法 150φ) 6ヶ所			
	開口 (補強共) は本工事とする		既存 煙感知器 (開口寸法 120φ) ヶ所			
	標詳細準図 3-01、11、12、21、41、42参照		点検口 アルミ製 600角 16ヶ所			



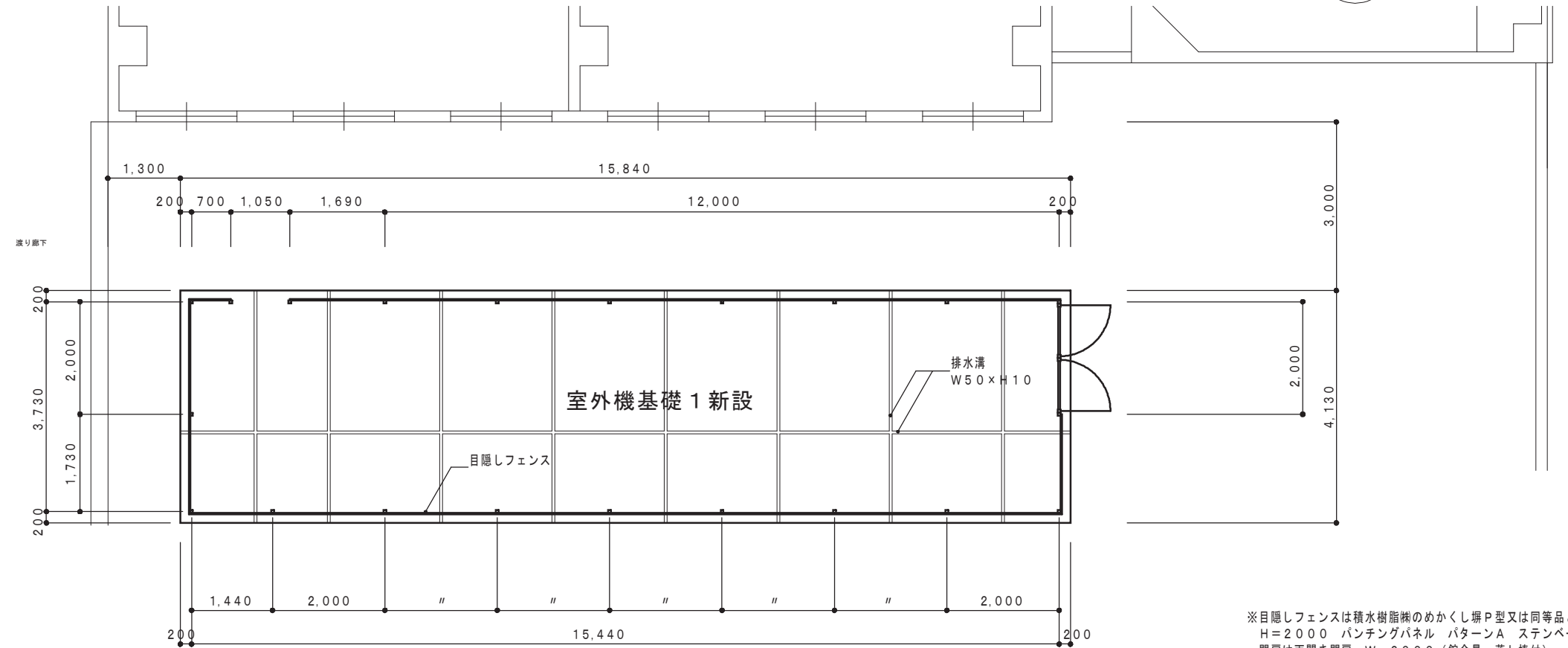
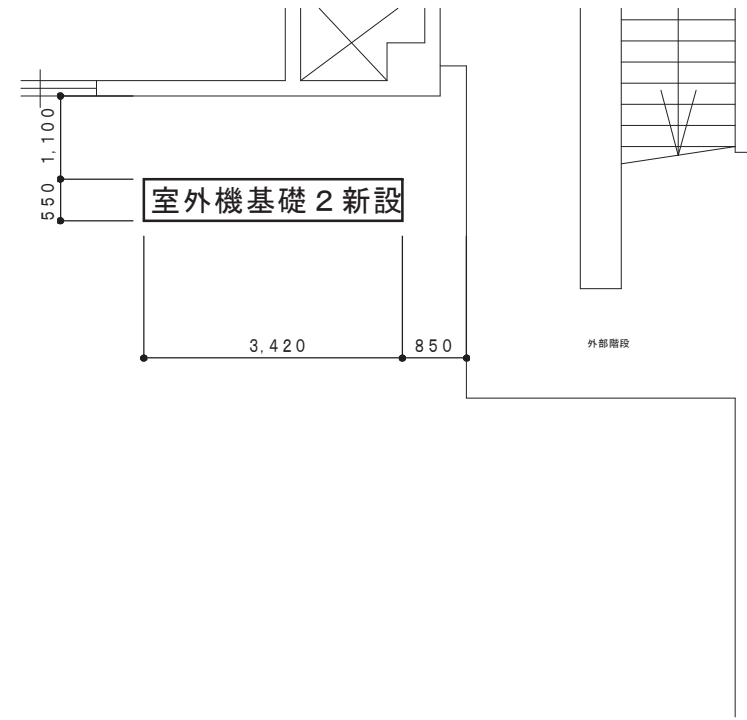




折上げ天井新設詳細図 1:50

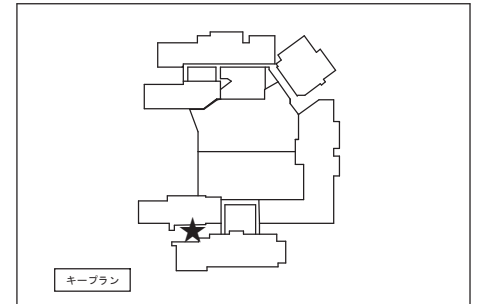
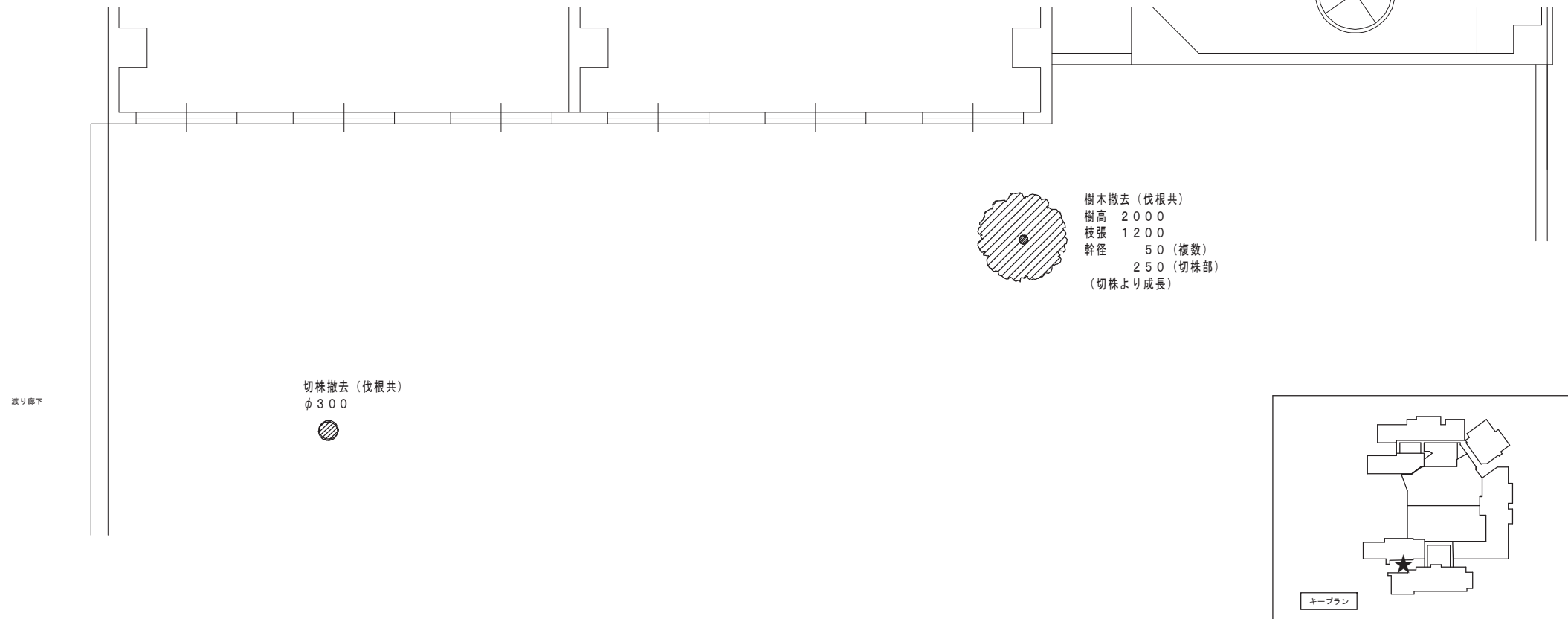
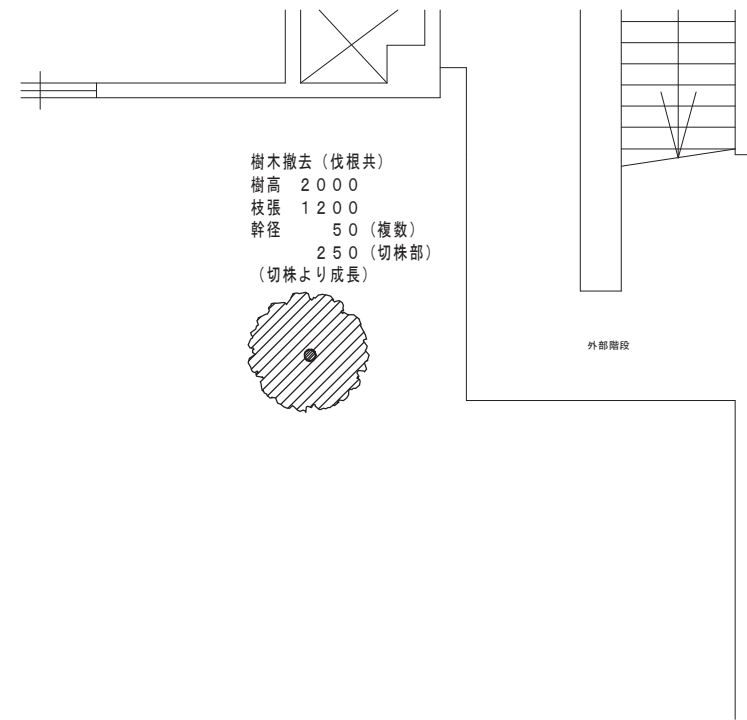
略号表示 (天井仕上)		凡例		開口補強 (空調) リスト		
(A)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚9.5捨貼)		天井 仕上材及LGS下地撤去及新設の範囲を示す	番号	既存開口寸法	改修後開口寸法
(B)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚12.5捨貼)			①	1,100 × 150	1,100 × 150
(C)	有孔シナベニヤ 厚5.5CL塗 (ロックウール25mm充填) 仮撤去 → 仮撤去品復旧 (木製廻縁は既存のまま)		改修対象室を示す	②	1,100 × 100	1,100 × 100
(D)	化粧石膏ボード 厚9.5		開口補強 (空調) (開口寸法はリストによる)	③	250φ	250φ
(E)	ケイカル板 厚6 AEP塗		既存埋込照明 (埋込穴寸法 220×1250)	4ヶ所	④	800 × 200
	天井と壁の取合いはアルミ製廻り縁新設		既存埋込照明 (埋込穴寸法 130×1250)	ヶ所		
	LGS下地撤去部の吊ボルトは再利用とする。		既存埋込照明 (埋込穴寸法 150×2500)	ヶ所		
	天井撤去及復旧部に掛かる点検口は取外し及再取付とする (開口補強新設)		既存埋込照明 (埋込穴寸法 260×1270)	ヶ所		
	照明器具等設備器具の取外し、再取付は本工事 (電気設備) とし、		既存埋込照明 (開口寸法 150φ)	ヶ所		
	開口 (補強共) は本工事とする		既存 スピーカー (開口寸法 150φ)	ヶ所		
	標詳細図 3-01、11、12、21、41、42参照		既存 煙感知器 (開口寸法 120φ)	ヶ所		
			点検口 アルミ製 600角	16ヶ所		

新 設



※目隠しフェンスは積水樹脂製のめかくし扉P型又は同等品とし、  
H=2000 パンチングパネル パターンA ステンパージュ  
門扉は両開き門扉 W=2000 (錠金具、落し棒付)

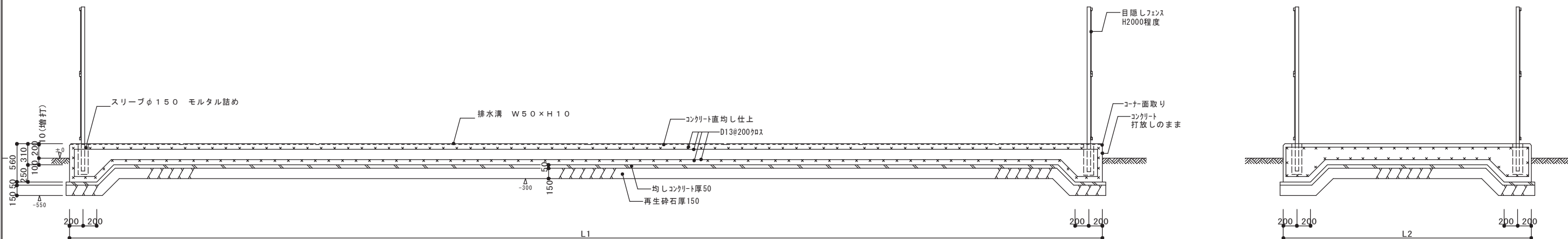
撤 去



室外機基礎 1 詳細図 縮尺：1/60

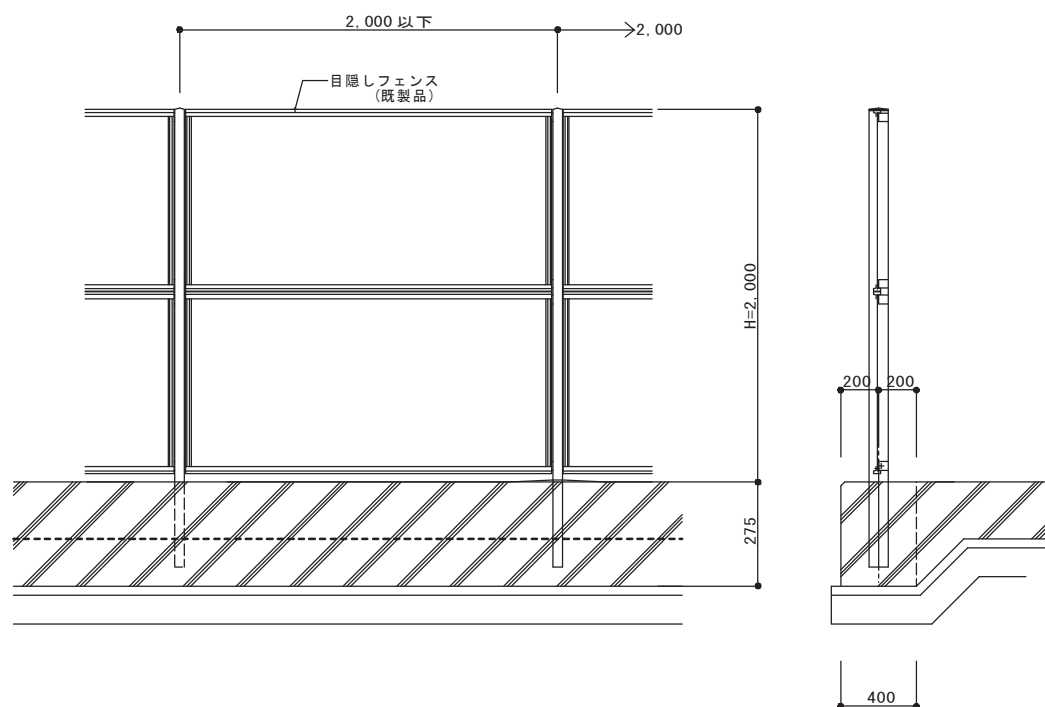
基礎コンクリート:Fc18N/mm<sup>2</sup> S=15cm  
 均しコンクリート:呼び強度18N/mm<sup>2</sup> S=15cm  
 鉄筋:SD295A  
 基礎スラブの巾止筋は1-D13@1000(タテヨコ共)

	L1	L2	
室外機基礎1	15,840	4,130	



断面詳細図 1/60

目隠しフェンス詳細図 縮尺：1/40



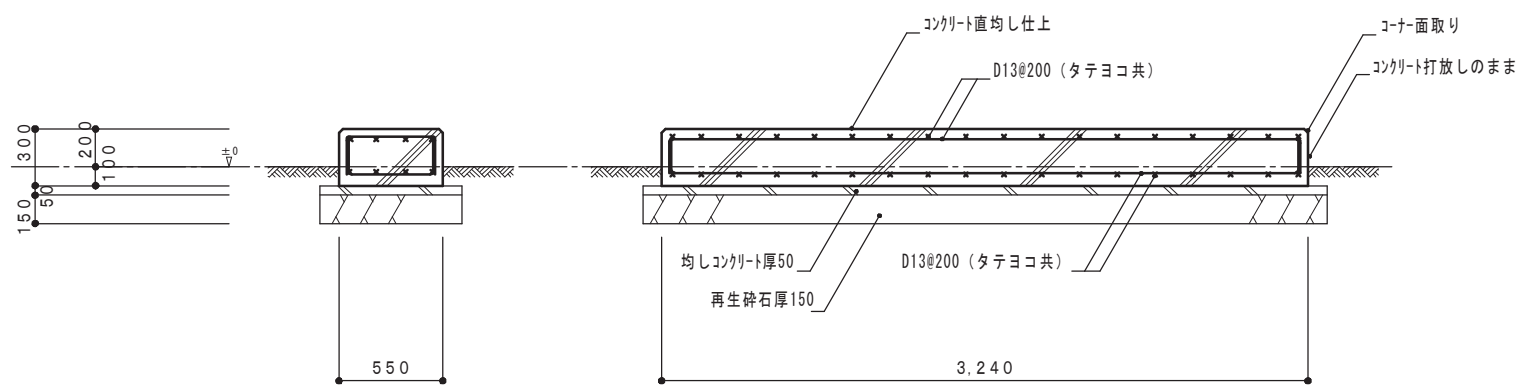
姿図 1/40

断面詳細図 1/40

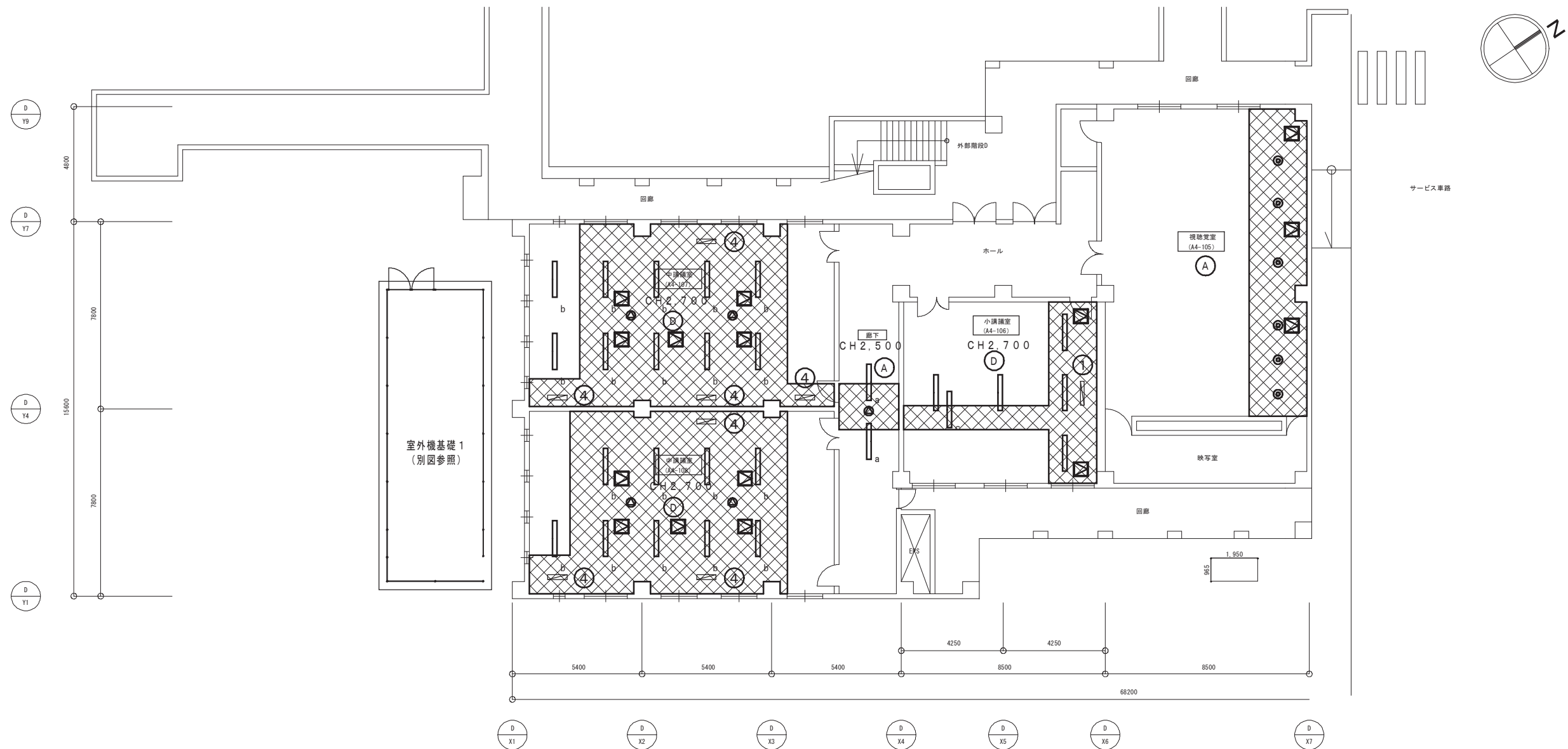
※目隠しフェンスは積水樹脂製のめかくし塀P型又は同等品とし、  
 H=2000 パンチングパネル パターンA ステンパーージュ  
 門扉は両開き門扉 W=2000 (錠金具、落し棒付)

室外機基礎 2 詳細図 縮尺：1/40

基礎コンクリート:Fc18N/mm<sup>2</sup> S=15cm  
 均しコンクリート:呼び強度18N/mm<sup>2</sup> S=15cm  
 鉄筋:SD295A  
 基礎スラブの巾止筋は1-D13@1000(タテヨコ共)

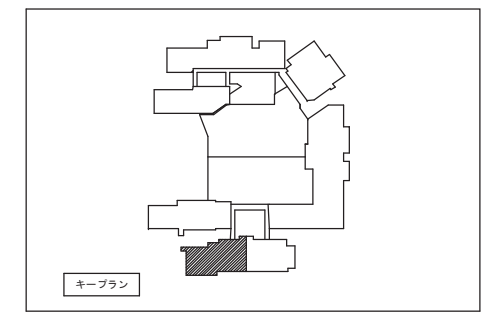


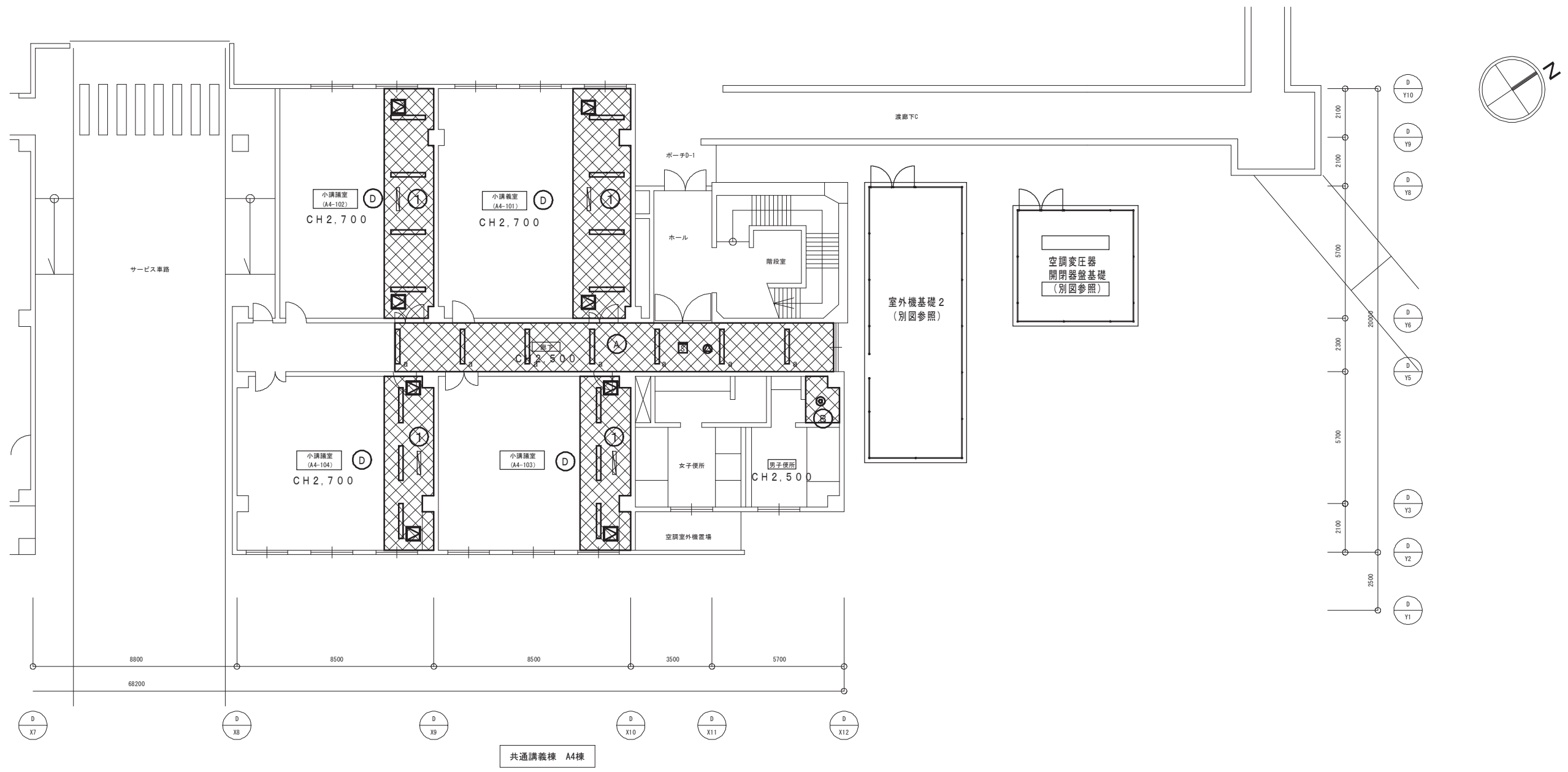
断面詳細図 1/40



共通講義棟 A4棟

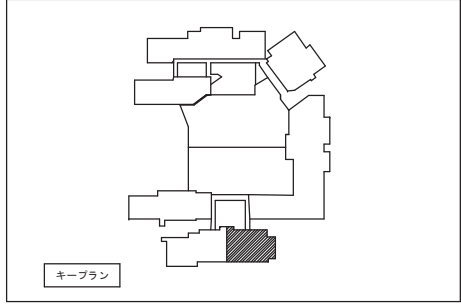
略号表示 (天井仕上)		凡 例		開口補強 (空調) リスト		
(A)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚9.5 捨貼)		天井 仕上材及LGS下地撤去及新設の範囲を示す	番号	既存開口寸法	改修後開口寸法
(B)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚12.5 捨貼)			①	1,100 x 150	1,100 x 150
(C)	有孔シナベニヤ 厚5.5 CL塗 (ロックウール25mm充填) 仮撤去 → 仮撤去品復旧 (木製廻縁は既存のまま)		改修対象室を示す	②	1,100 x 100	1,100 x 100
			開口補強 (空調) (開口寸法はリストによる)	③	250φ	250φ
(D)	化粧石膏ボード 厚9.5		既存埋込照明 (埋込穴寸法 220x1250) 5ヶ所	④	800 x 200	800 x 200
(E)	ケイカル板 厚6 AEP塗		既存埋込照明 (埋込穴寸法 130x1250) 2ヶ所			
	天井と壁の取合いはアルミ製廻り縁新設		既存埋込照明 (埋込穴寸法 150x2500) 19ヶ所			
	LGS下地撤去部の吊ボルトは再利用とする。		既存埋込照明 (埋込穴寸法 260x1270) 1ヶ所			
	天井撤去及復旧部に掛かる点検口は取外し及再取付とする (開口補強新設)		既存埋込照明 (開口寸法 150φ) 6ヶ所			
	照明器具等設備器具の取外し、再取付は本工事 (電気設備) とし、		既存 スピーカー (開口寸法 150φ) 5ヶ所			
	開口 (補強共) は本工事とする		既存 煙感知器 (開口寸法 120φ) ヶ所			
	標詳細図 3-01、11、12、21、41、42参照		点検口 アルミ製 600角 15ヶ所			

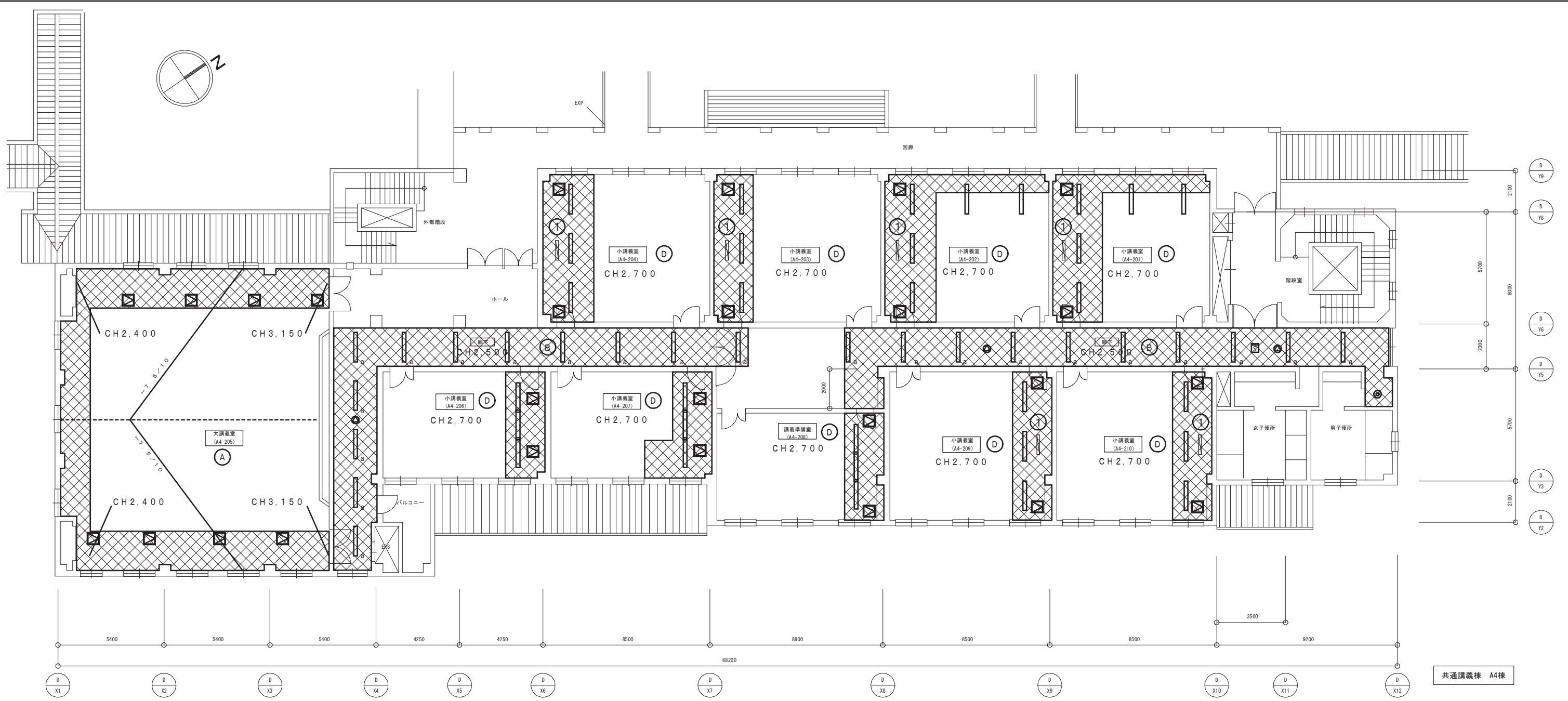




共通講義棟 A4棟

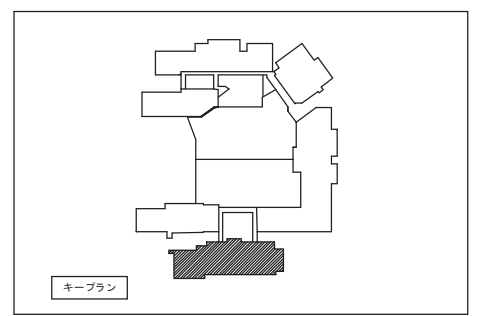
略号表示 (天井仕上)		凡例		開口補強 (空調) リスト		
(A)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚9.5 捨貼)		天井 仕上材及LGS下地撤去及新設の範囲を示す	番号	既存開口寸法	改修後開口寸法
(B)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚12.5 捨貼)			①	1,100 x 150	1,100 x 150
(C)	有孔シナベニヤ 厚5.5 CL塗 (ロックウール25mm充填)	室名	改修対象室を示す	②	1,100 x 100	1,100 x 100
	仮撤去 → 仮撤去品復旧 (木製廻縁は既存のまま)		開口補強 (空調) (開口寸法はリストによる)	③	250φ	250φ
(D)	化粧石膏ボード 厚9.5		既存埋込照明 (埋込穴寸法 220x1250) 14ヶ所	④	800 x 200	800 x 200
(E)	ケイカル板 厚6 AEP塗		既存埋込照明 (埋込穴寸法 130x1250) 7ヶ所			
	天井と壁の取合いはアルミ製廻り縁新設		既存埋込照明 (埋込穴寸法 150x2500) ヶ所			
	LGS下地撤去部の吊ボルトは再利用とする。		既存埋込照明 (埋込穴寸法 260x1270) ヶ所			
	天井撤去及復旧部に掛かる点検口は取外し及再取付とする (開口補強新設)		既存埋込照明 (開口寸法 150φ) 1ヶ所			
	照明器具等設備器具の取外し、再取付は本工事 (電気設備) とし、		既存 スピーカー (開口寸法 150φ) 1ヶ所			
	開口 (補強共) は本工事とする		既存 煙感知器 (開口寸法 120φ) 1ヶ所			
	標詳細単図 3-01、11、12、21、41、42参照		点検口 アルミ製 600角 8ヶ所			

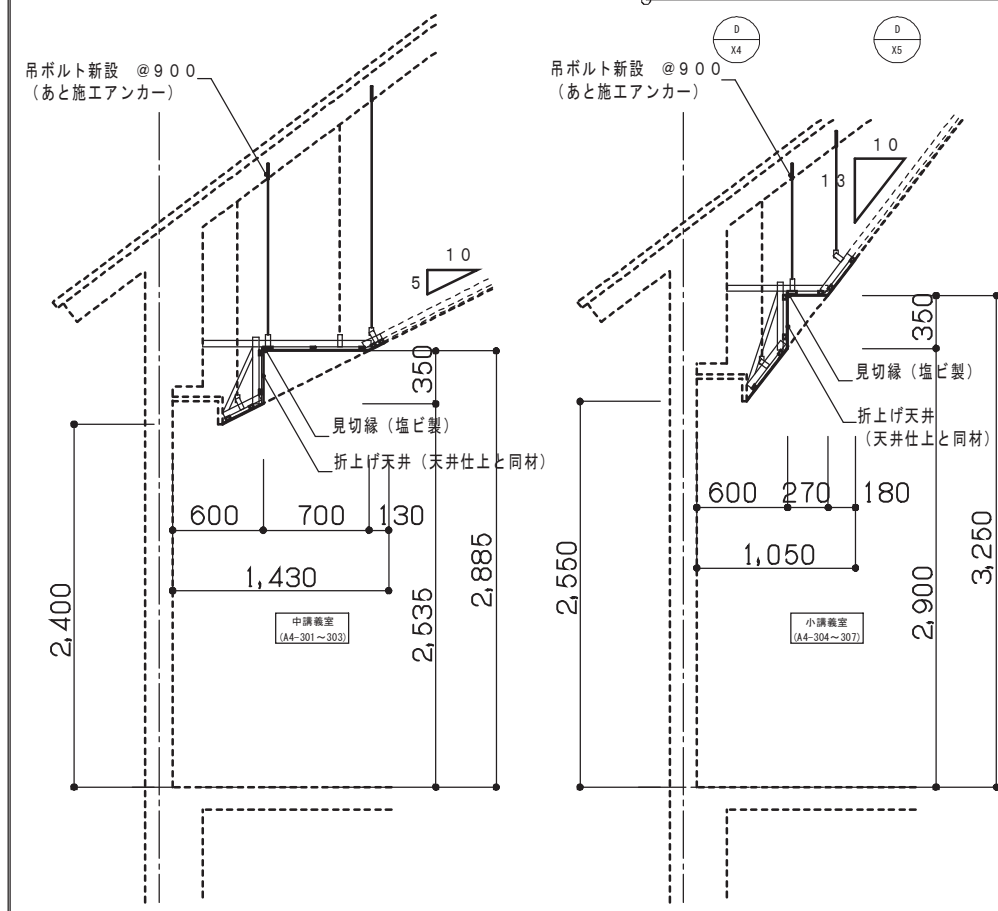
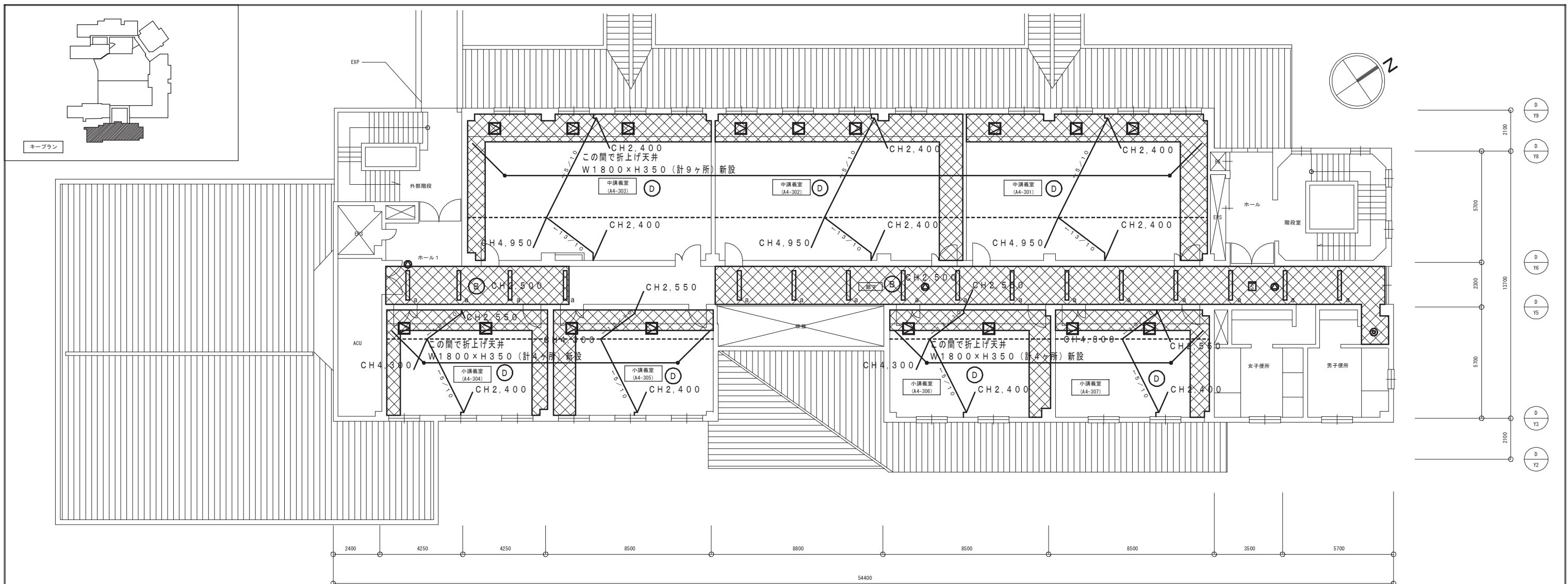




共通講義棟 A4棟

略号表示 (天井仕上)		凡例		開口補強 (空調) リスト		
(A)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚9.5捨貼)		天井 仕上材及LGS下地撤去及新設の範囲を示す	番号	既存開口寸法	改修後開口寸法
(B)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚12.5捨貼)			①	1,100 × 150	1,100 × 150
(C)	有孔シナベニヤ 厚5.5 CL塗 (ロックウール25mm充填) 仮撤去 → 仮撤去品復旧 (木製廻縁は既存のまま)		改修対象室を示す	②	1,100 × 100	1,100 × 100
(D)	化粧石膏ボード 厚9.5		開口補強 (空調) (開口寸法はリストによる)	③	250φ	250φ
(E)	ケイカル板 厚6 AEP塗		既存埋込照明 (埋込穴寸法 220×1250)	④	800 × 200	800 × 200
	天井と壁の取合いはアルミ製廻り縁新設		既存埋込照明 (埋込穴寸法 130×1250)			
	LGS下地撤去部の吊ボルトは再利用とする。		既存埋込照明 (埋込穴寸法 150×2500)			
	天井撤去及復旧部に掛かる点検口は取外し及再取付とする (開口補強新設)		既存埋込照明 (埋込穴寸法 260×1270)			
	照明器具等設備器具の取外し、再取付は本工事 (電気設備) とし、		既存埋込照明 (開口寸法 150φ)			
	開口 (補強共) は本工事とする		既存 スピーカー (開口寸法 150φ)			
	標詳細図 3-01、11、12、21、41、42参照		既存 煙感知器 (開口寸法 120φ)			
			点検口 アルミ製 600角			

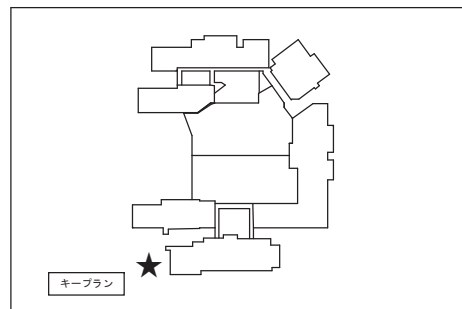
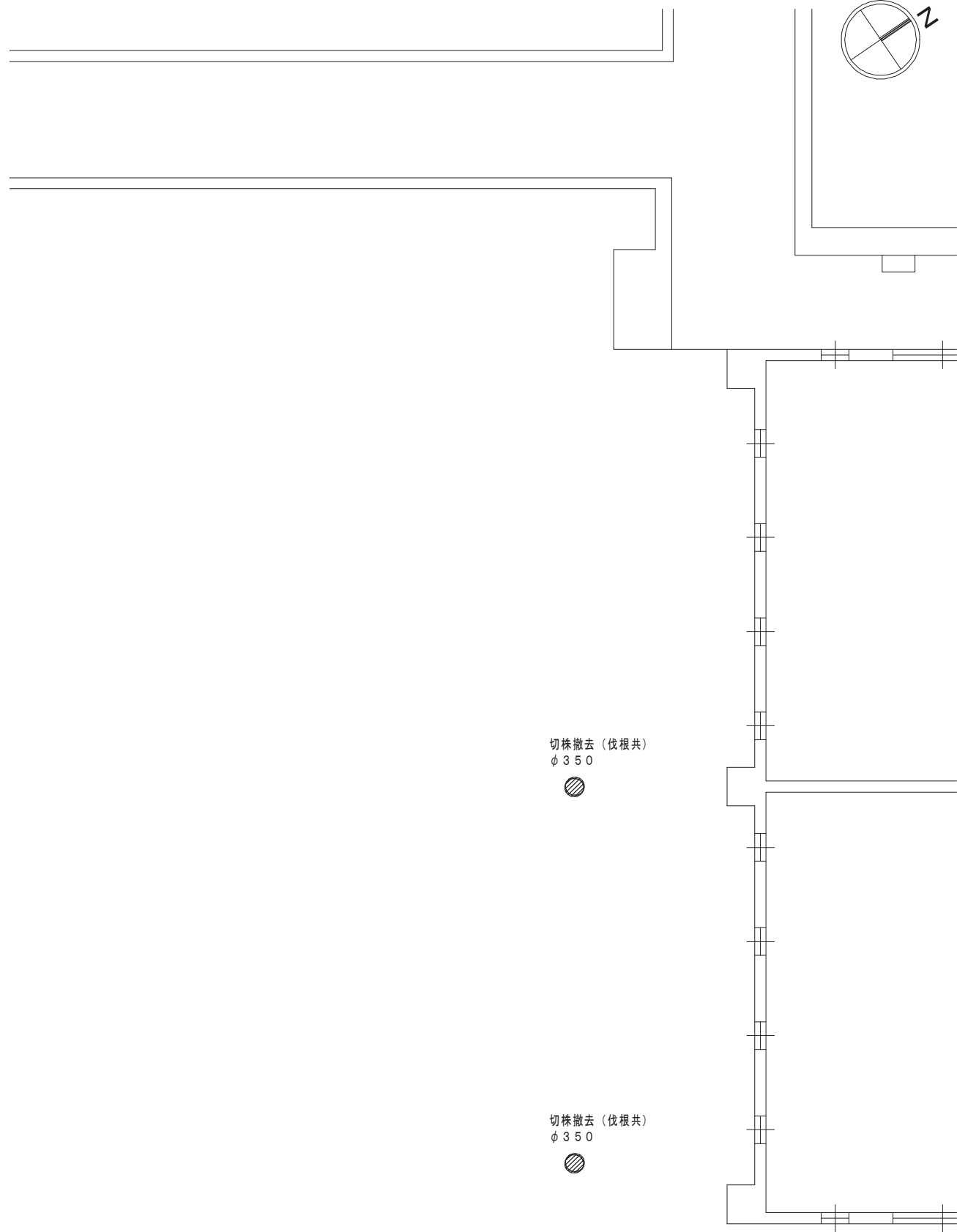




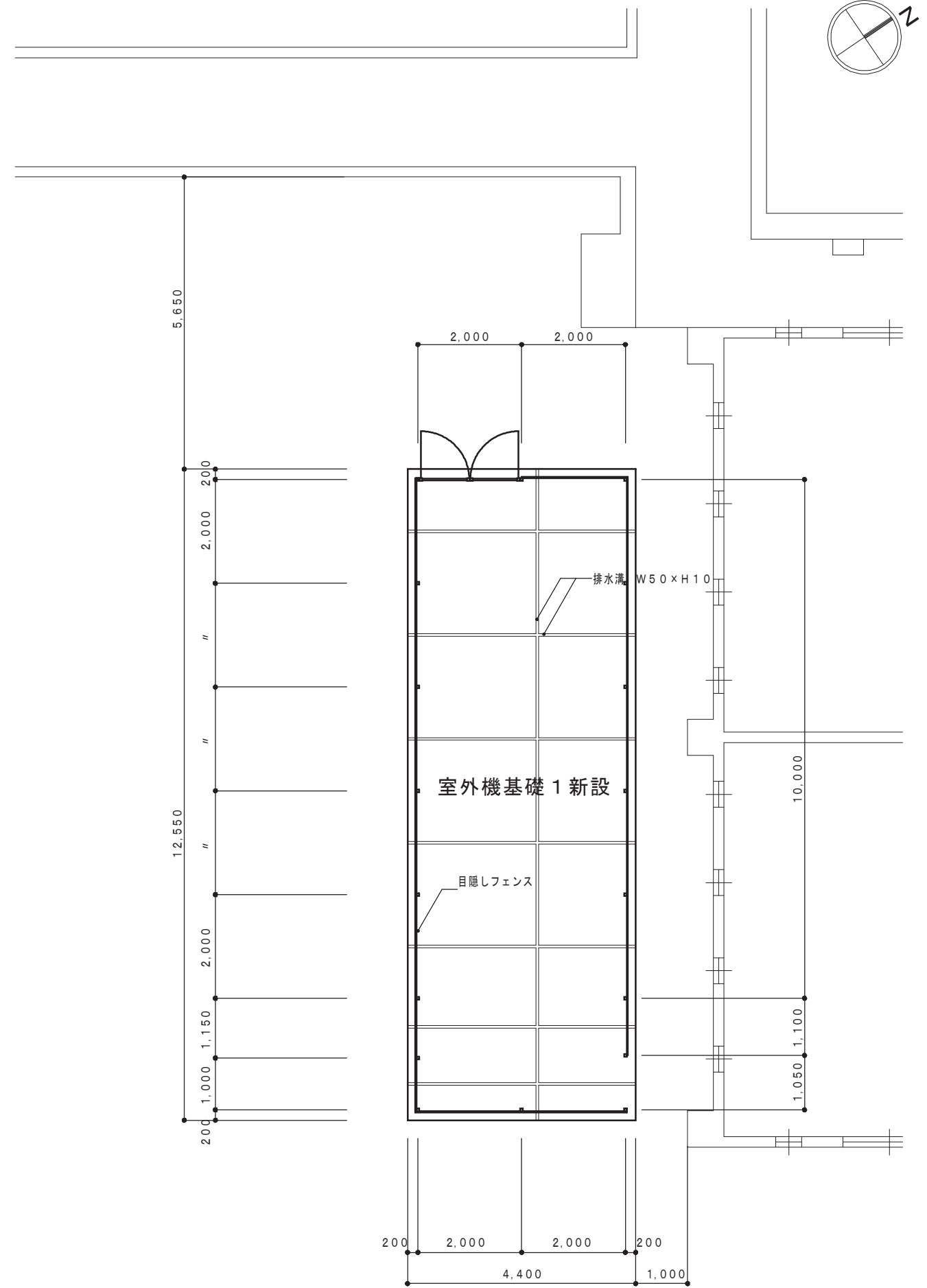
折上げ天井新設詳細図 1:50

略号表示 (天井仕上)		凡例		開口補強 (空調) リスト		
(A)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚9.5 捨貼)		天井 仕上材及LGS下地撤去及新設の範囲を示す	番号	既存開口寸法	改修後開口寸法
(B)	ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚12.5 捨貼)			①	1,100 x 150	1,100 x 150
(C)	有孔シナベニヤ 厚5.5CL塗 (ロックウール25mm充填) 仮撤去 → 仮撤去品復旧 (木製廻縁は既存のまま)		室名 改修対象室を示す	②	1,100 x 100	1,100 x 100
(D)	化粧石膏ボード 厚9.5		開口補強 (空調) (開口寸法はリストによる)	③	250φ	250φ
(E)	ケイカル板 厚6 AEP塗		既存埋込照明 (埋込穴寸法 220x1250) 16ヶ所	④	800 x 200	800 x 200
	天井と壁の取合いはアルミ製廻り縁新設		既存埋込照明 (埋込穴寸法 130x1250) ヶ所			
	LGS下地撤去部の吊ボルトは再利用とする。		既存埋込照明 (埋込穴寸法 150x2500) ヶ所			
	天井撤去及復旧部に掛かる点検口は取外し及再取付とする (開口補強新設)		既存埋込照明 (埋込穴寸法 260x1270) ヶ所			
	照明器具等設備器具の取外し、再取付は本工事 (電気設備) とし、		既存埋込照明 (開口寸法 150φ) 1ヶ所			
	開口 (補強共) は本工事とする		既存 スピーカー (開口寸法 150φ) 3ヶ所			
	標準細準図 3-01、11、12、21、41、42参照		既存 煙感知器 (開口寸法 120φ) 1ヶ所			
			点検口 アルミ製 600角 17ヶ所			

撤去



新設



※目隠しフェンスは積水樹脂製の目隠しフェンスP型又は同等品とし、  
H=2000 パンチングパネル パターンA ステンページュ  
門扉は両開き門扉 W=2000 (錠金具、落し棒付)

令和5年 3月 日

滋賀県立大学財務課

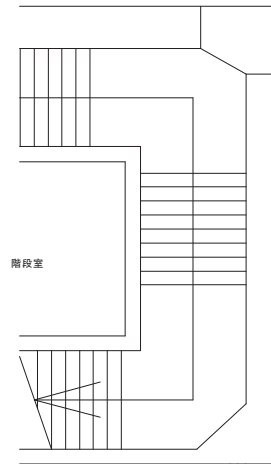
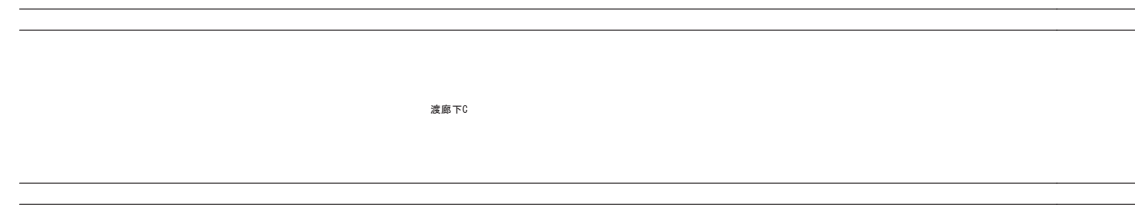
株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事  
図面名称 共通講義棟A4棟 1階平面図(西) (室外機基礎)

図番 A13  
縮尺 S=1/200  
図日 2023年3月



撤去



切株撤去 (伐根共)  
φ 300



切株撤去 (伐根共)  
φ 350



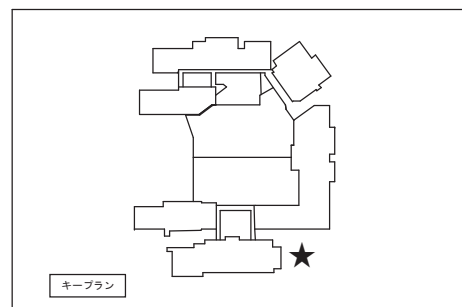
切株撤去 (伐根共)  
φ 350



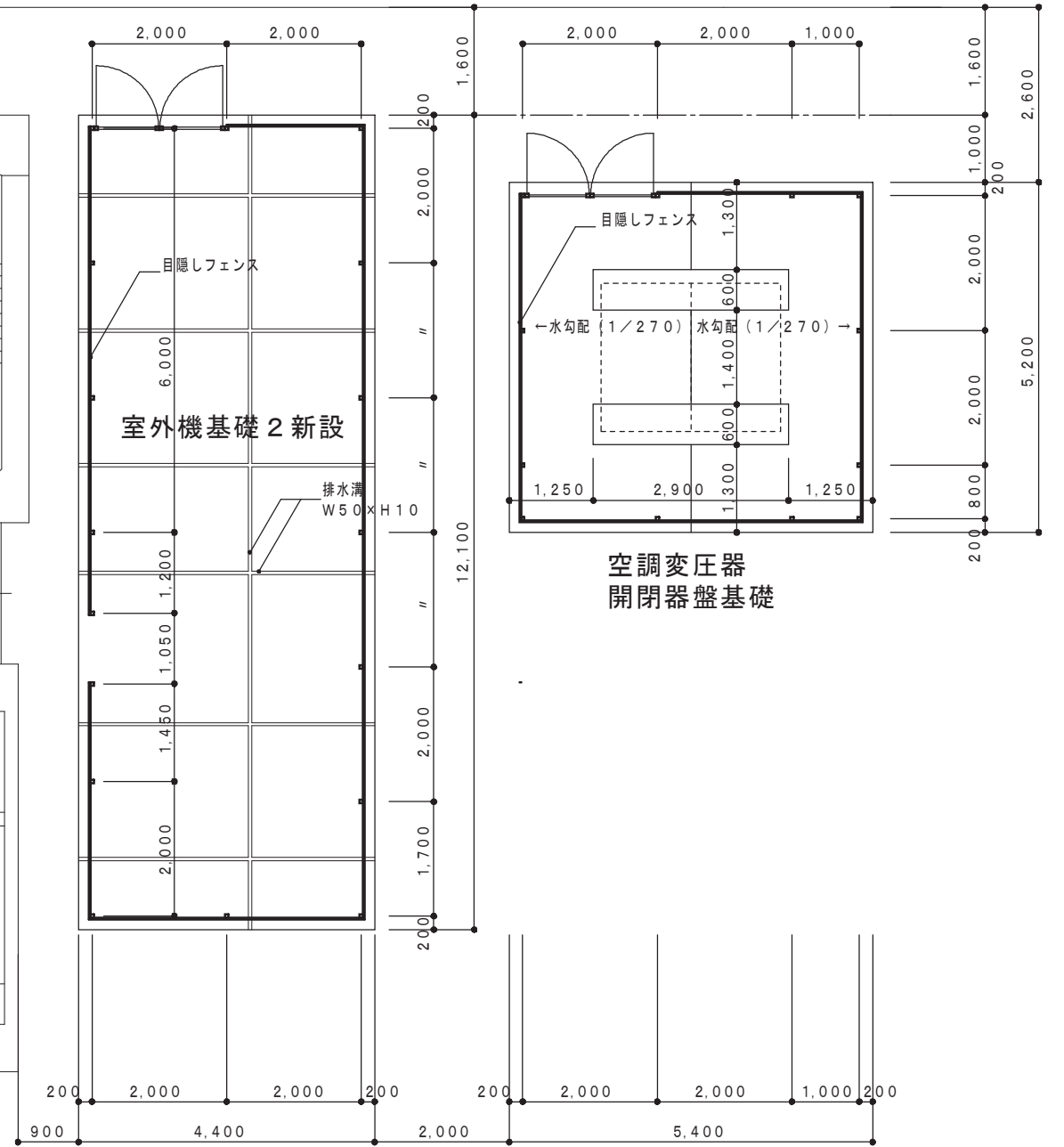
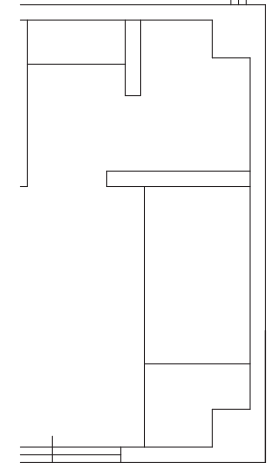
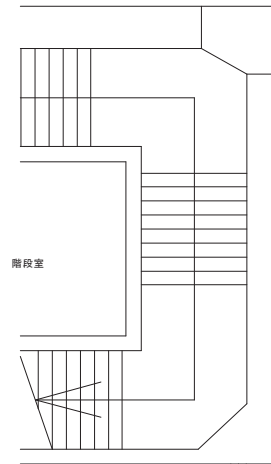
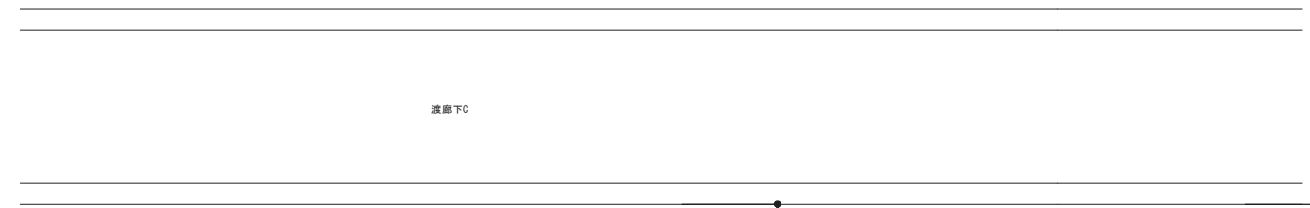
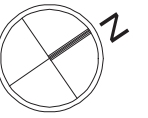
切株撤去 (伐根共)  
φ 300



切株撤去 (伐根共)  
φ 300



新設



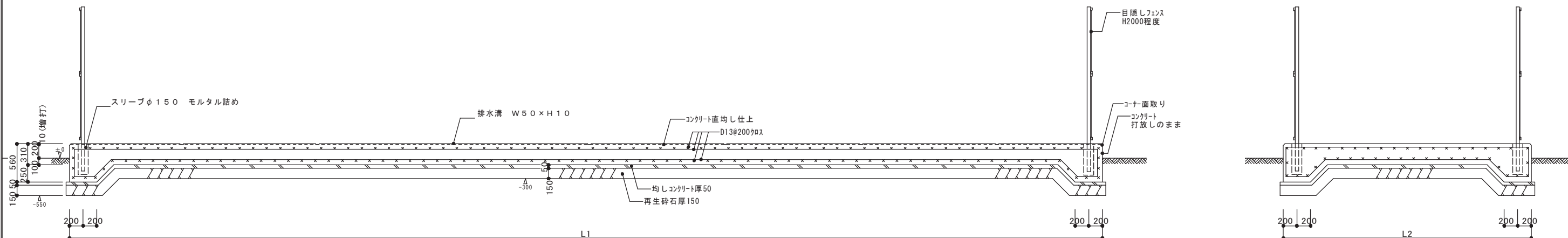
※目隠しフェンスは積水樹脂製の目隠しフェンスP型又は同等品とし、  
H=2000 パンチングパネル パターンA ステンページュ  
門扉は両開き門扉 W=2000 (錠金具、落し棒付)

室外機基礎 詳細図

縮尺：1/60

基礎コンクリート:Fc18N/mm<sup>2</sup> S=15cm  
 均しコンクリート:呼び強度18N/mm<sup>2</sup> S=15cm  
 鉄筋:SD295A  
 基礎スラブの巾止筋は1-D13@1000(タテヨコ共)

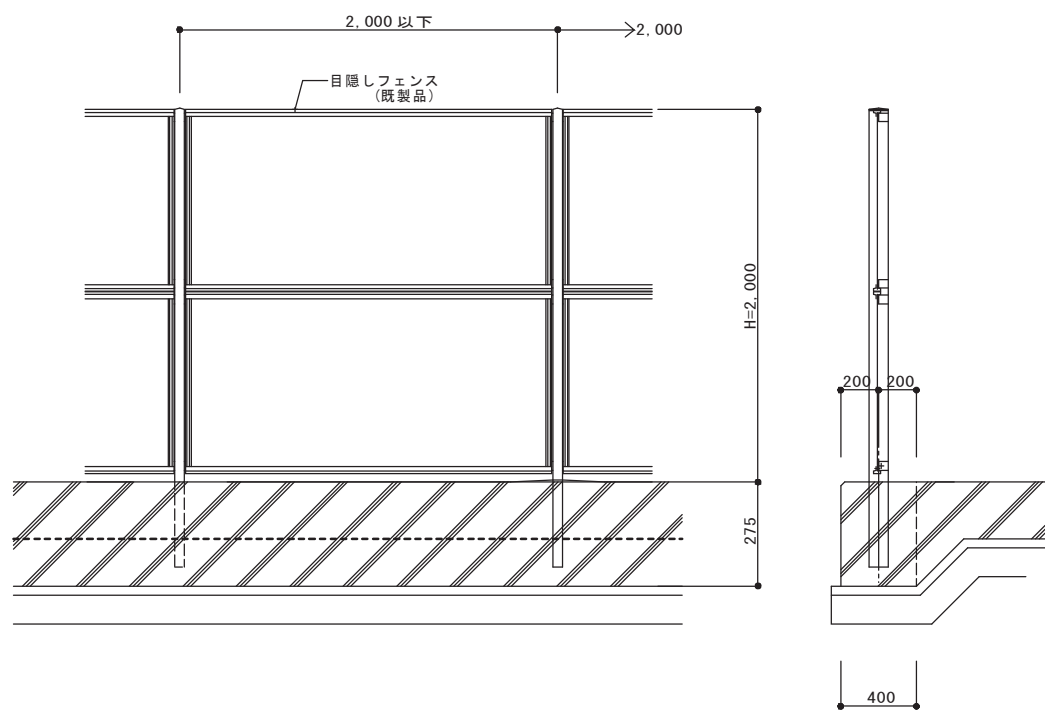
	L1	L2	
室外機基礎1	12,550	4,400	
室外機基礎2	12,100	4,400	



断面詳細図 1/60

目隠しフェンス詳細図

縮尺：1/40



姿図 1/40

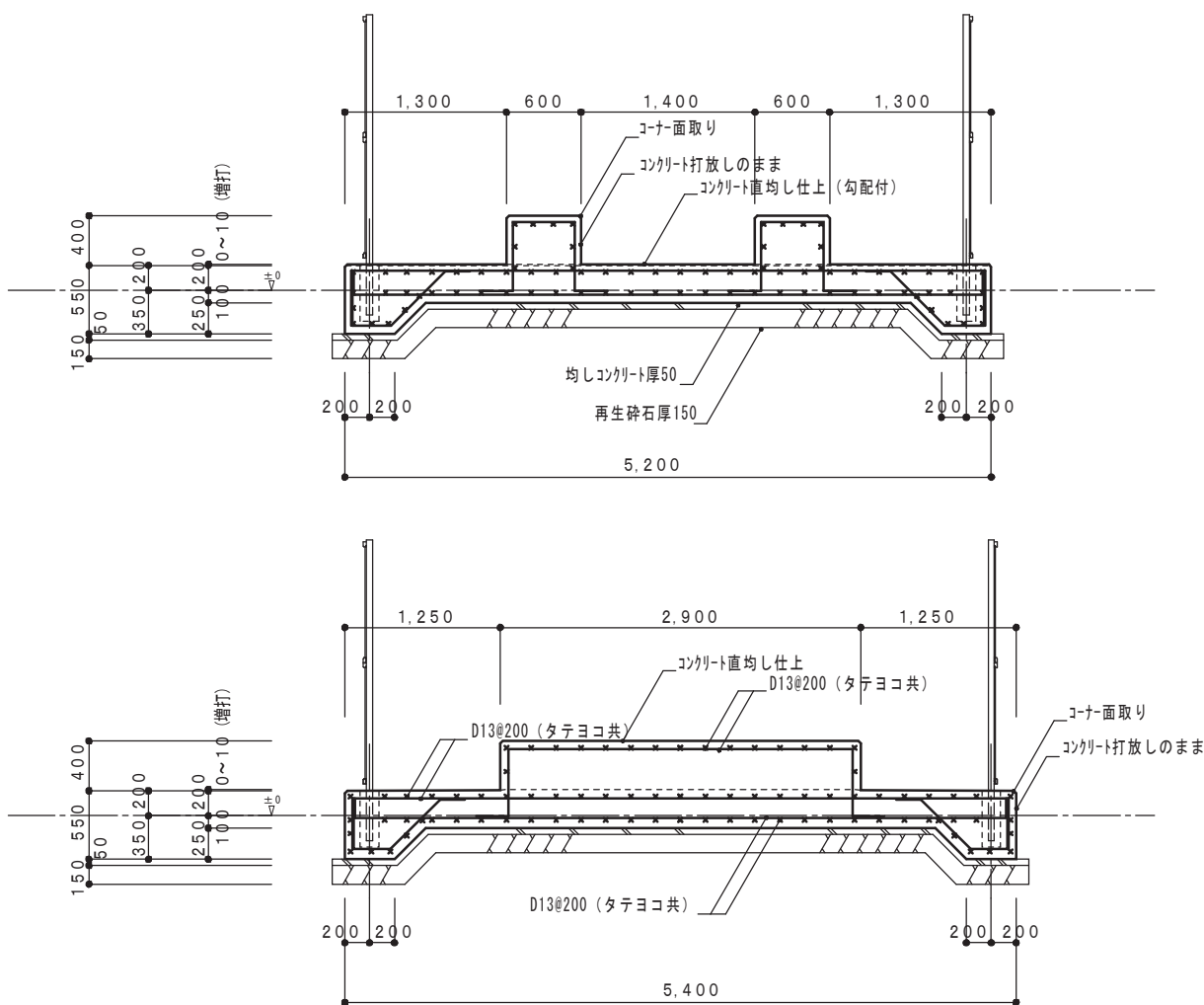
断面詳細図 1/40

※目隠しフェンスは積水樹脂製のめかくし塀P型又は同等品とし、  
 H=2000 パンチングパネル パターンA ステンパージュ  
 門扉は両開き門扉 W=2000 (錠金具、落し棒付)

空調変圧器開閉器盤基礎 詳細図

縮尺：1/60

基礎コンクリート:Fc18N/mm<sup>2</sup> S=15cm  
 均しコンクリート:呼び強度18N/mm<sup>2</sup> S=15cm  
 鉄筋:SD295A  
 基礎スラブの巾止筋は1-D13@1000(タテヨコ共)



断面詳細図 1/60